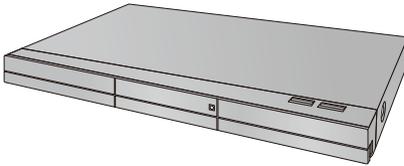


取扱説明書 活用ガイド ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-2W203
DMR-2W103

DIGA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～8ページ)を必ずお読みください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→5 ~8 ページ)

本機の特長とご案内.....	4
本書のご案内.....	9
付属品 / リモコンの準備.....	10
各部の働き.....	11

接続と設定を行う

接続の前に.....	13
テレビやアンテナと接続する.....	14
ネットワーク接続の準備をする.....	20
アンプ (スピーカー) と接続する.....	22
B-CAS (ビーキャスト) カードを挿入する.....	23
電源コードを接続する.....	24
かんたん設置設定をする.....	25

メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて.....	29
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて.....	31
USB-HDD の録画について.....	32
USB 機器について.....	35
本機の電源を入 / 切する.....	36
ホーム画面について.....	37

視聴

受信できるデジタル放送と 記録の制限について.....	39
テレビ放送を見る.....	40

録画

放送中の番組を録画する.....	43
番組表の見方.....	44
• 文字サイズを変更するには.....	44
番組表 (G ガイド) を使って	
予約録画する.....	46
• 録画中の予約録画を止める.....	49
番組を検索する.....	52
番組ニュースを確認する.....	54
新番組 / 特番 / 初放送の 確認や予約をする.....	55
日時を指定して予約録画する (時間指定予約).....	56
予約内容の確認、取り消し、修正など.....	57
自動予約する.....	58
• おまかせ録画する.....	58
• 関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約).....	60
• お録りおき番組を自動で予約録画する.....	62
• ニュース番組を自動で予約録画する.....	63
予約録画の便利な機能.....	64
録画 / 予約録画に関するお知らせ.....	65
スカパー! プレミアムサービス対応 チューナーから録画する.....	67
CATV (ケーブルテレビ) から録画する.....	68
録画モードについて.....	69
番組の同時録画について.....	70

再生・編集

録画一覧について.....	71
録画した番組を再生する.....	73
BD ビデオや DVD ビデオを再生する.....	79
再生中のいろいろな操作.....	80
再生設定をする.....	83
番組を消去する / 編集する.....	86
チャプターの作成・再生・編集.....	90

目次 (続き)

ダビング

番組のダビングについて	92
番組をダビングする	93
ディーガやビエラなど他機器から ダビングする	100

ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む	102
--------------------	-----

写真・動画・音楽

写真や動画を取り込む	106
写真や動画を再生する	107
写真や動画を書き出す	110
スマートフォンの写真や動画を 本機で受信する	111
音楽 CD を再生する /HDD に取り込む.....	112
音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す	113

便利機能

録画した番組をモバイル機器に転送する	116
ビエラリンク (HDMI) を使う	119
インターネットサービスを利用する	121
お部屋ジャンプリンクを使う	122
DIGA Drive 機能を使う	124

必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット)	127
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去	128
ファイナライズ	129
文字入力	130
設定を変える	131
● リモコンを使うと他機器が 同時に動作するのを防ぐ	143
● 本機のリモコンでテレビを操作する	144
ソフトウェアの更新について	149
取り扱いについて	150
同時操作について	153
こんな表示が出たら	156
表示マーカー一覧	157
故障かな! ?	161
仕様	169
著作権など	179
保証とアフターサービス (よくお読みください)	183
さくいん	184

本機の操作ができなくなったときは …



[]を
3秒以上押す

- ① 本体の [] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押し続けたままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
- ② 本体の [] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
故障かな! ? と思った場合 (→161)

本機の特長とご案内

便利に使えるスマホアプリ「どこでもディーガ」(→147)

- 本機で録画した番組をスマホ/パソコンで楽しめます。^{※1、※2、※3、※5、※6}
- 本機に取り込んだ音楽・写真・動画をスマホで楽しめます。^{※1、※3、※4、※5}
- 離れて暮らす家族がスマホで撮った子どもの写真・動画を、テレビの大画面で楽しめます。^{※1、※3、※4}

※1 スマホやタブレットに視聴アプリ「どこでもディーガ(無料)」のダウンロードが必要です。どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/



※2 パソコンに(株)デジオン製のWindows用視聴アプリ「DiXiM Play U Windows版」のダウンロードが必要です。DiXiM Play U Windows版に関する詳細は下記(株)デジオンのホームページをご覧ください。

「DiXiM Play U Windows版」

<https://www.digion.com/sites/diximplay/windows-u/>

※3 本機は日本国内に設置のうえ、私的利用の範囲その他法律において明示的に認められている範囲でお使いください。本機の使用状況によっては視聴できない場合があります。ご利用のネットワーク環境により、ファイアウォールや無線ブロードバンドルーターの設定が必要になる場合があります。共用設備などでセキュリティレベルが高く設定されている環境ではご利用にならない場合があります。携帯電話回線での宅外視聴では多くのパケットが必要となることがあります。パケット料金にお気をつけください。海外で視聴する場合は、上記のほか、お使いのスマートフォンやタブレットなどの携帯端末が各国の規制基準を満たしておらず使用が認められない場合がありますので、携帯端末の仕様と各国の法規をご確認ください。また、ネットワーク環境によっては視聴できない地域があります。詳しくは当社ホームページ(<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>)をご覧ください。

※4 スマートフォンやタブレットなどの端末と本機とをインターネットに接続した状態で、本機に表示される登録番号を視聴アプリに入力する必要があります。

※5 スマートフォンやタブレットなどの端末と本機を宅内ネットワークに接続して視聴アプリにて機器登録(ペアリング)することが必要です。本機に登録できる端末は最大6台ですが、外出先から同時に視聴できるのは1台のみです。

※6 ペアリングの最長期間は90日間となります。宅内ネットワークに接続して使用しなかった場合はペアリング期限の更新が必要です。放送制限によっては視聴できないチャンネルがあります。

ドラマ・アニメお録りおき(→62)

ドラマやアニメを予約いらずで約90日自動録画します。また、消去も自動で手間なく楽しめます。

録画番組を効率的に楽しめる

- 音声付き早見再生で効率的に番組を楽しめます。(→80)
- プレビューサーチで気になるシーンからパッと再生できます。(→81)

写真・動画、CD楽曲をためて家族で楽しめる

- スマートフォンの写真や動画を保存してテレビで楽しめます。(→107、147)
- ビデオカメラの動画をかんたんに取り込めます。(→103、106)
- CDを再生したり楽曲を本機に取り込んで楽しめます。(→112)

電源[切]時の動作について

本機は、電源[切]の状態でも、録画や番組表データの蓄積など内部で動作していることがあります。本体の上面や底面などが熱くなることがありますが、本機の性能・品質には問題ありません。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない
感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



戻る

次のページに続く



警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 15 cm 以上離す

無線 LAN からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

警告



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

無線 LAN からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

無線 LAN からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意



異常に温度が高くなる場所に置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

 **注意**



**長期間使わないときや、外装
ケースのお手入れのときは、**

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

●ディスクやUSB 機器は、保護のため取り出しておいてください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



指はさみ注意

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

●特にお子様にはご注意ください。



機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

●ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。

●リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。

●誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本書のご案内

機種名、ディスクなどのマーク表示について

機種によって機能の相違点がある場合は、以下のマークで機種マークを表示しています。

機種名	機種マーク
DMR-2W203	2W203
DMR-2W103	2W103

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE*	BD-RE
BD-R*	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R、+R DL、+RW	
CD	CD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・ AVCREC 方式の場合 : 例) **-R AVCREC**
 - ・ VR 方式の場合 : 例) **-R VR** **-RW VR**
 - ・ ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V**
(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクの場合は、**AVCHD** と表示
- MP4 の動画が記録された USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット) (→32) の場合は、**MP4** と表示

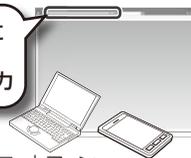
参照ページとイラストについて

- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- 本書における本体および画面のイラストは、DMR-2W203 のものです。

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



お持ちのパソコンまたはスマートフォンからご覧ください。



スマートフォンの場合は、左記のQRコードからご覧いただけます。

- よくあるご質問 : 困ったときはこちらをご確認ください。
- 動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書 活用ガイド : PDF 形式のデータをダウンロードできます。など

サポートサイトは以下のアドレスからもご確認いただけます。
<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



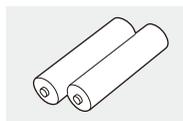
ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

付属品 / リモコンの準備

付属品



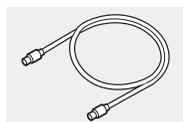
リモコン (1 個)
N2QAYB001299



リモコン用乾電池 (2 個)
単 3 形乾電池



電源コード (1 本)
K2CA2YU00402



アンテナケーブル (1 本)
(75Ω 同軸ケーブル)
K2KYYYY00040

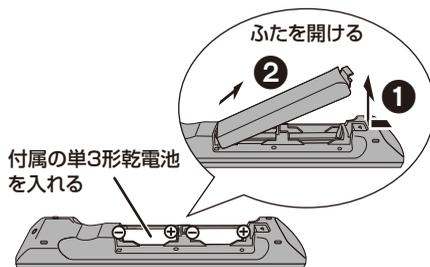


B-CAS カード (1 枚)
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
(→23)

- アンテナケーブルは、地上デジタル放送の接続で使用してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2025 年 1 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。

リモコンに電池を入れる



付属の単3形乾電池
を入れる

リモコンのふたを閉じるときは、
開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

- ⊕⊖を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

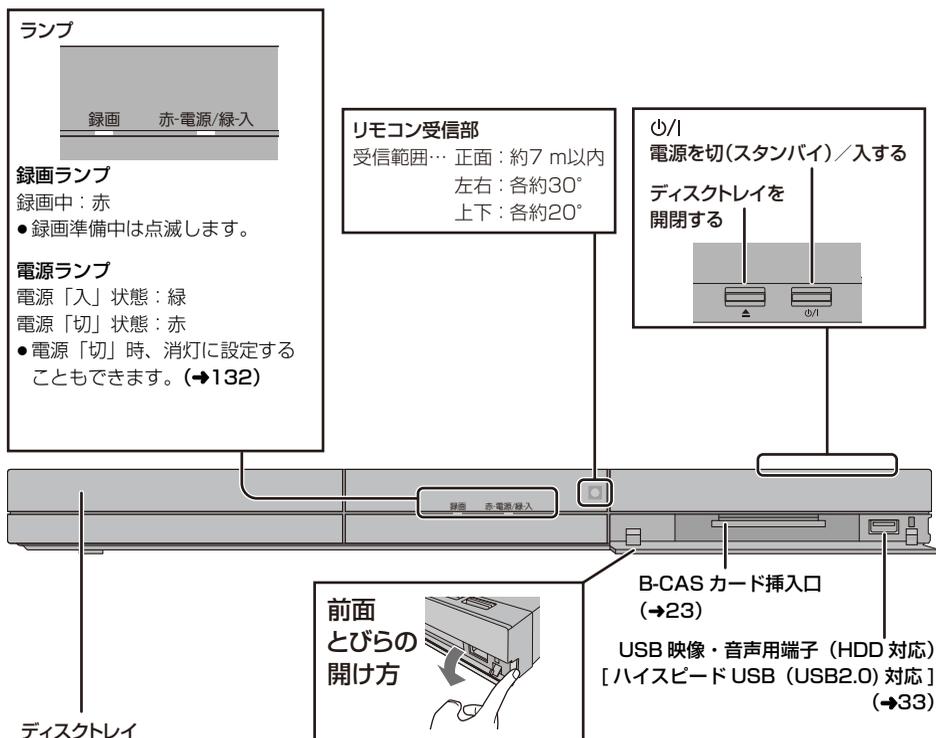
付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトを
ご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



各部の働き

本体前面



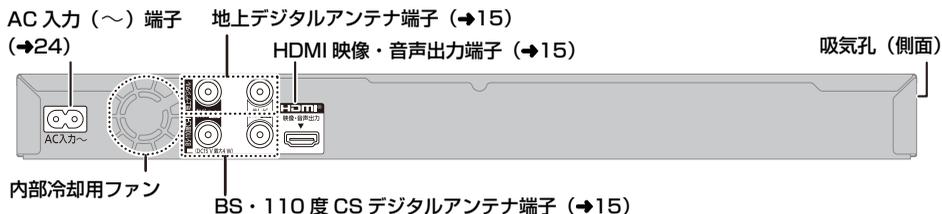
リモコンの  を押してディスクトレイを開き、ラベル面を上にしてディスクを入れる

- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の  でも操作できます。

 **お知らせ**

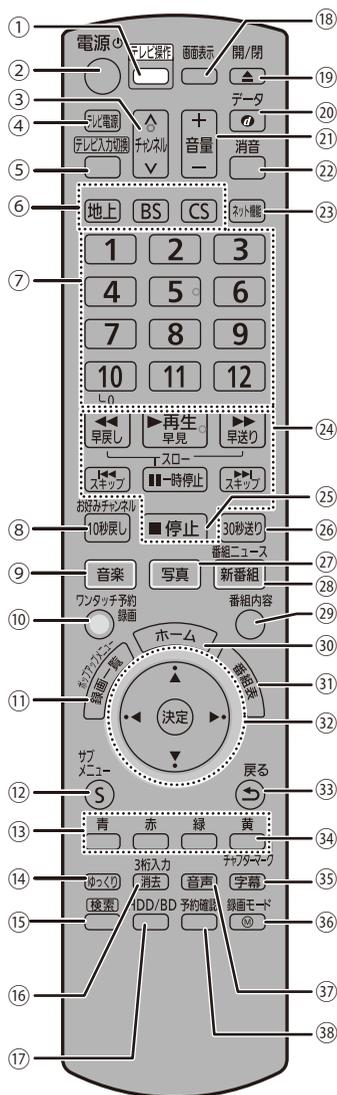
- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。
- かんたん設置設定が完了しないと、ディスクトレイの開閉はできません。

本体背面



各部の働き (続き)

リモコン



- ① テレビ操作モードにする (→145)
- ② 本機の電源を切/入する
- ③ チャンネルを順に選ぶ
- ④ テレビの電源を切/入する
- ⑤ テレビの入力を切り換える
- ⑥ 放送を切り換える (→40)
- ⑦ チャンネルなどを番号で選ぶ/文字を入力する
- ⑧ 約 10 秒前へ戻す (→80) / お好みチャンネルを表示する (→41)
- ⑨ HDD の音楽一覧を表示する (→113)
- ⑩ 録画する (→43) / ワンタッチ予約する (→46)
- ⑪ 録画一覧 / ポップアップメニューを表示する (→73、79)
- ⑫ サブメニューを表示する
- ⑬ 画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- ⑭ 番組をゆっくり再生する (→80)
- ⑮ 検索画面を表示する (→52)
- ⑯ 番組の消去をする/3桁番号を入力してチャンネルを選局する (→40)
- ⑰ HDD/BD を切り換える
- ⑱ 情報を表示する (→41、82)
- ⑲ ディスクトレイを開閉する
- ⑳ データ放送の画面を表示する
- ㉑ テレビの音量を調整する
- ㉒ 一時的にテレビの音を消す
- ㉓ お部屋ジャンプリンクサーバーを表示する (→123)
- ㉔ 録画や再生時の基本操作をする
- ㉕ 録画や再生を停止する
- ㉖ 約 30 秒先へ飛び越す (→80)
- ㉗ HDD の写真/動画一覧を表示する (→107)
- ㉘ 新番組 / 特番お知らせ画面を表示する (→55) / 番組ニュース画面を表示する (→54)
- ㉙ 番組内容を表示する (→81)
- ㉚ ホーム画面を表示する (→37)
- ㉛ 番組表を表示する (→46)
- ㉜ 選択および決定する
- ㉝ 前の画面に戻る
- ㉞ チャプターマークを作成・削除する (→90) / 番組の予約を取り消す
- ㉟ 字幕を切り換える (→41、81)
- ㊱ 録画モードを選ぶ (→43)
- ㊲ 音声を切り換える (→41、81)
- ㊳ 予約一覧画面を表示する (→57)

🔔 お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→143)
- 本機のリモコン受信部 (→11) にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の前に

接続の流れ

接続1 テレビやアンテナと接続する (→14)

接続2 ネットワーク接続の準備をする (→20)
必要に応じて

接続3 アンプ(スピーカー)と接続する (→22)
必要に応じて

接続4 B-CASカードを挿入する (→23)

接続5 電源コードを接続する (→24)

設定の流れ

リモコンの設定 (→25)

ネットワーク設定 (→26)

チャンネル設定 (→28)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置する。タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつき(結露)について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・ 急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・ 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・ 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2~3時間)、電源を切ったまま放置してください。

本機とテレビとの接続には、HDMIケーブル(別売)が必要です。接続するテレビに合わせてHDMIケーブルをご準備ください。

当社製HDMIケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。

- HDMIケーブルは、「ハイスピードHDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

接続1 テレビやアンテナと接続する

接続するご家庭のアンテナ端子や接続機器に合わせて接続を行ってください。

A

テレビと接続する場合



B

すでに別のレコーダーが
接続されている場合



別のレコーダー



C

4K8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続し、
すべての放送局をテレビで受信する場合



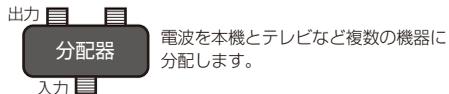
D

セットトップボックス
(CATV・光回線など)
を利用する場合



お知らせ

- アンテナケーブルを接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS・CSデジタルアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のプースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI端子のないテレビでは、ご利用になれません。

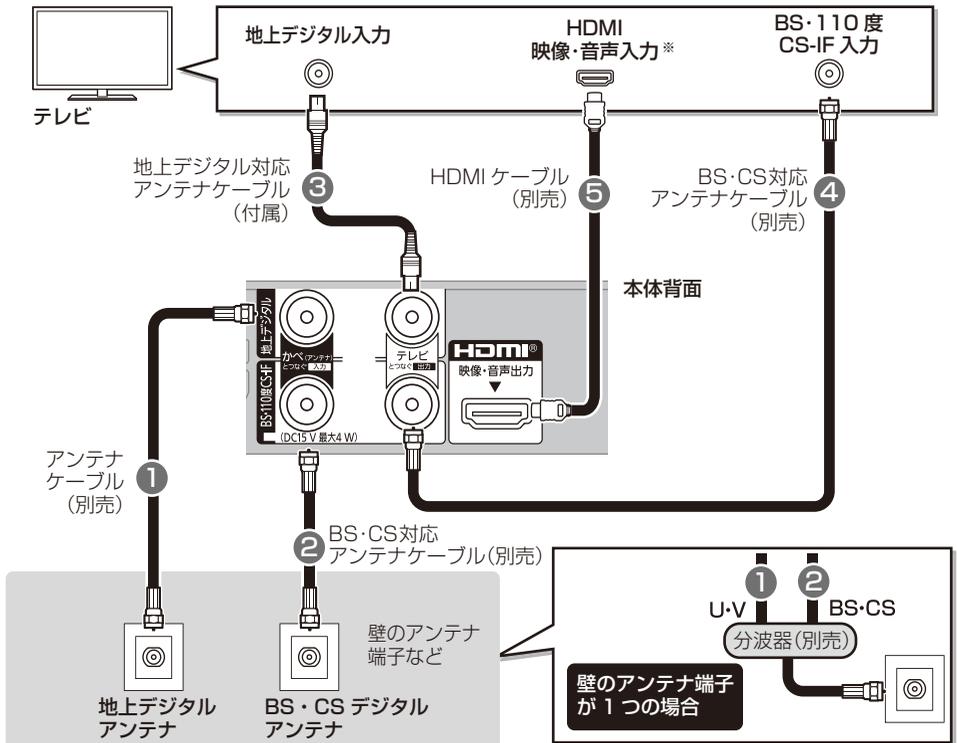
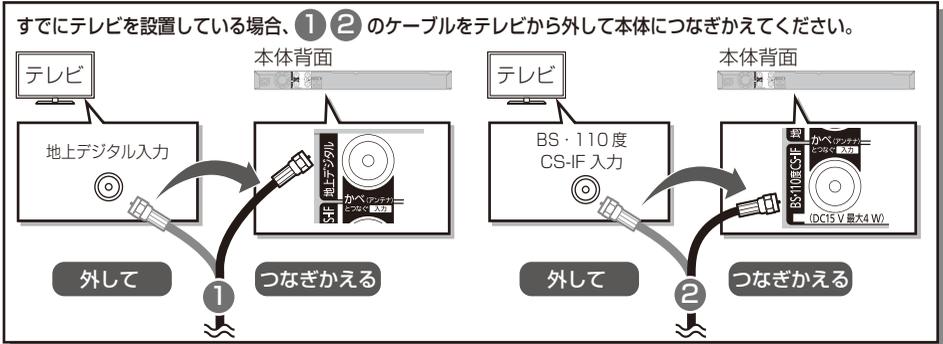
接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

A

テレビと接続する場合

①～⑤のケーブルを接続してください。
(BS/CS を視聴しない場合、②④の接続は不要です)

4K8K 衛星放送をテレビで受信する場合、下記の接続では一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は **C** (→17) の接続をしてください。本機で 4K8K 放送を受信することはできません。



※4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

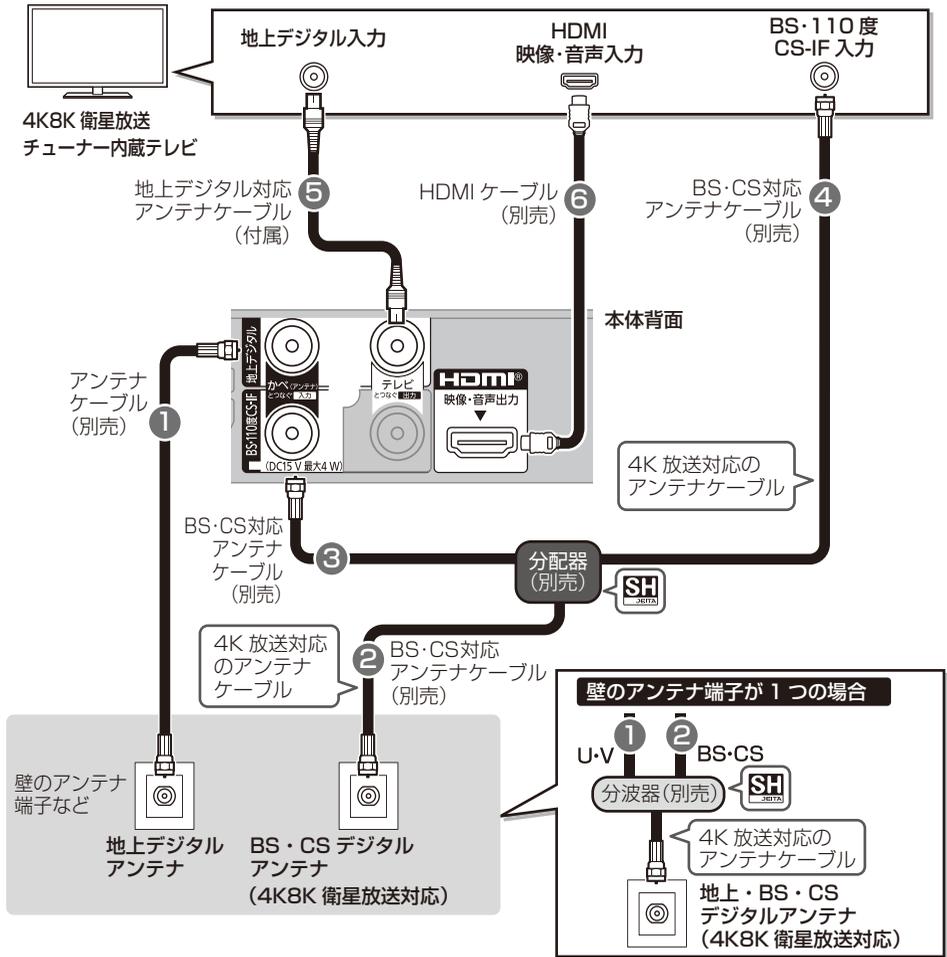
接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

C

4K8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続し、すべての放送局をテレビで受信する場合

①～⑥のケーブルを接続してください。

A の接続では 4K8K 衛星放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 4K8K 放送を受信することはできません。

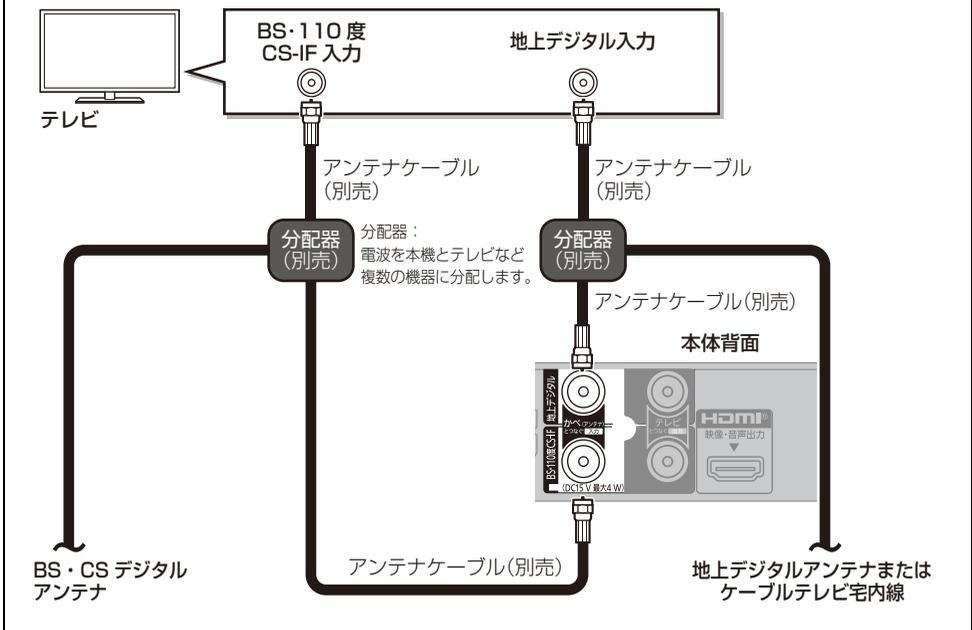


- 4K8K 衛星放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。
- 本機の BS・110度 CS-IF 出力端子からテレビの BS・110度 CS-IF 入力端子にアンテナケーブルを接続しないでください。

接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

本機が「節電待機」時にテレビを視聴する場合

「節電待機」(➔36) で電源を切ると、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、**A B C D** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる
ときがあります。[「節電待機モード」(➔132) が「モード2」のとき]
「節電待機」を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。



本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、下記接続とネットワーク設定 (→26) を行ってください。

本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを經由して接続してください。

宅内ネットワーク機能

- お部屋ジャンプリンク (→122)
- スカパー！プレミアムサービスの番組を録画 (→67)
- ネットワークを使って予約録画 (→68)
- ネットワークを使ってダビング (→101)
- DIGA Drive 機能 (→124)
- お引越しダビング (→100)

インターネット機能

- インターネットサービス (→121)
- どこでもディーガ (→147)
- 1 か月の番組表や注目番組を受信 (→45、50)
- デジタル放送の情報サービスを利用
- BD-Live を楽しむ (→79)
- 音楽タイトル情報やアーティスト情報の最新情報を取得 (→112)
- スマートフォンで撮影した写真や動画を受信する (→111)

📌 お知らせ

- 接続機器は、本機と同じブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使って接続する

接続機器 接続に関する詳細は、接続する機器の説明書をご覧ください。

接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

📌 お知らせ

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）は 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) のものをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>

- 本機では、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を經由せずに各機器と直接接続することはできません。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書をご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応の物をお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、設置設定後に機器パスワード初期化 (➔136) を実行し、「デモモード/使用情報の送信設定」(➔137) で機器登録の解除をしてください。再度ネットワーク機能を利用するためにはデモモードサービスへの登録が必要になる場合があります。
- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、「すべての設定リセット」(➔139) を実行してください。(機器パスワードが変更されます)
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

※無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。(➔147)

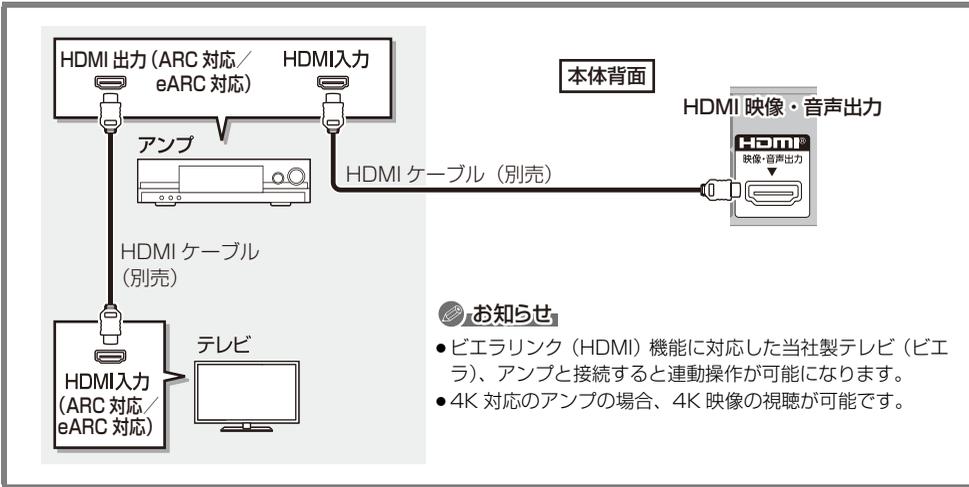
- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

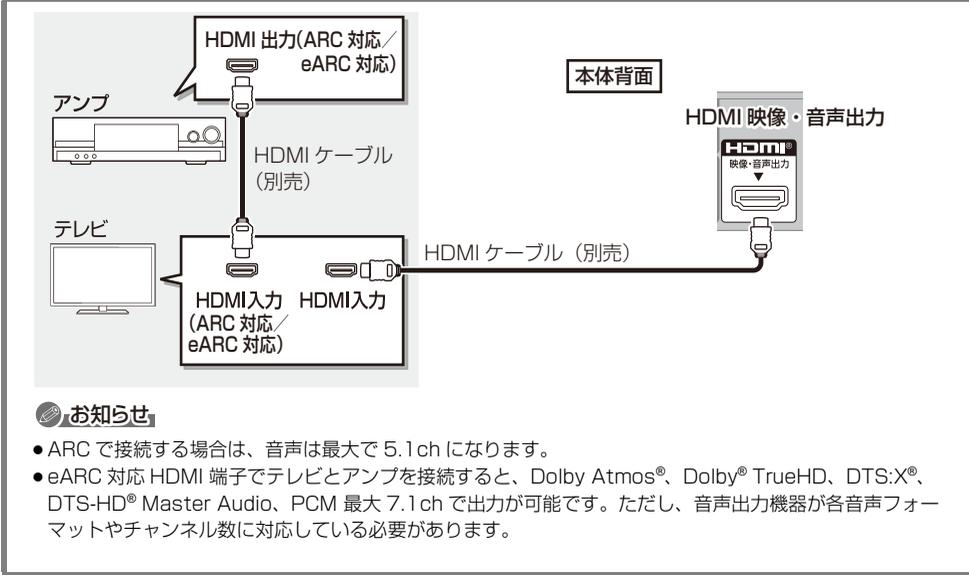
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元のない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに關する問い合わせには、当社ではお答えできません。

HDMI 端子にアンプを接続する

ビエラリンク（HDMI）機能を利用するには



4K 非対応のアンプと接続して、4K 映像を視聴するには



お知らせ

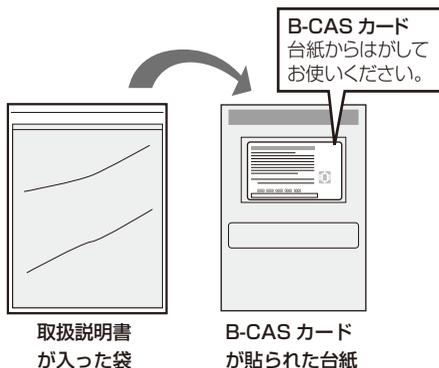
- HDMI 端子に「ARC 対応」または「eARC 対応」の表示がないテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

接続4 B-CAS (ビーキャスト) カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード(付属)の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。



- B-CASカードの裏面に記載されている番号は、NHKへのお知らせや有料放送の契約内容の管理や問い合わせに必要です。同梱取扱説明書の「保証とアフターサービス」ページに、B-CASカードの番号が記載できる「メモ」がありますのでご利用ください。
- 本機でも番号を確認できます。(→139)

挿入するときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

B-CASカードを奥まで差し込む

(B-CASカードは、奥まで差し込んでも少し出ている状態になります)



お知らせ

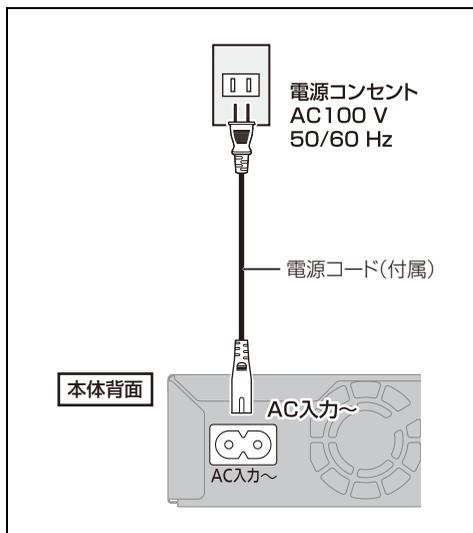
- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

お問い合わせは(紛失時など)

(株) ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



⚠️ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 → 169)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・ 自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・ テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

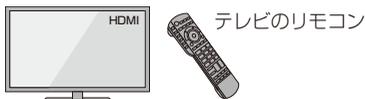
かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの電源^のを押す

- 本機の電源ランプが緑に点灯します。

4 画面の指示に従って設定をする

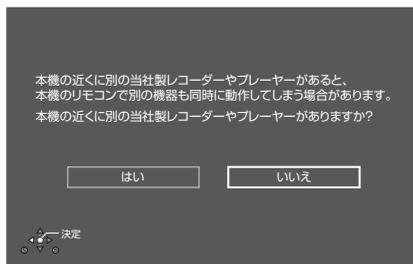
🔔お知らせ

- テレビに映像が映らない場合は
 - テレビの入力を確認してください。
 - HDMI ケーブルの接続を確認してください。
 - しっかりと差し込まれていない場合もありますので、つなぎ直してみてください。
 - 電源を入れ直してください。

リモコンの設定

リモコンモードの設定

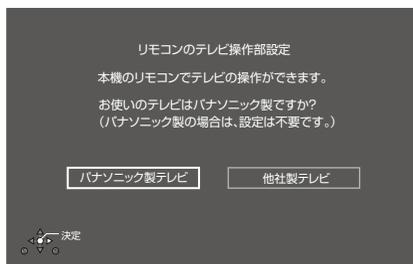
本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。



「はい」を選べると、リモコンの設定をすることができません。画面の指示に従って設定してください。

リモコンのテレビ操作部設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量+,-]、[消音]でテレビを操作できます。また、[テレビ操作]を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。(→145)



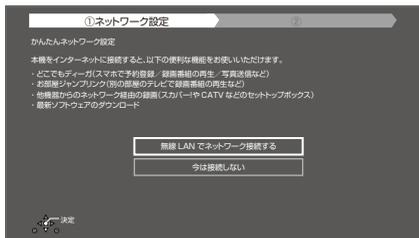
お使いのテレビを選んでください。画面の指示に従って設定してください。

🔔設定終了後にリモコンモードの設定やリモコンのテレビ操作部設定をやり直すには (→143)

かんたん設置設定をする (続き)

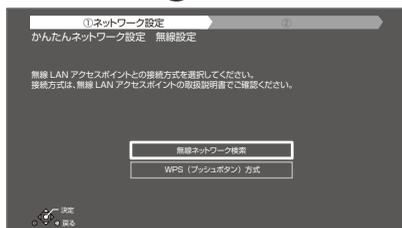
ネットワーク設定

例)



1 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、**決定** を押す

2 接続方法を選び、**決定** を押す



「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

1 接続したい機器を選び、**決定** を押す



2 暗号化キーを入力する

● 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



「WPS (プッシュボタン) 方式」を選んだ場合

1 無線ブロードバンドルーター(無線 LAN アクセスポイント) の WPS ボタンを押す

● 操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。



2 **決定** を押す

☞ 設定終了後にネットワーク設定をやり直すには (→136)

お知らせ

- インターネットに接続できる状態で、ネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
 - ・ ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク/スカパー! Link (録画) 設定」(→146) でアクセス許可を取り消してください。
 - ・ 「クイックスタート」(→132) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。
- ルーターについては、ルーターに付属の説明書をご確認ください。

かんたん設置設定をする (続き)

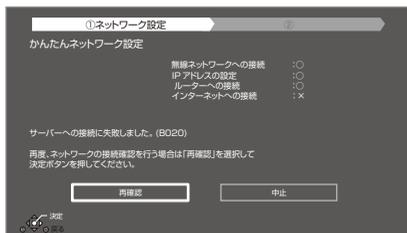
無線接続時のお知らせ

- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 無線設定 (→136) の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。
- お部屋ジャンプリンク機能 (→146) やどこでもディーガ (→147) をご利用になるには、802.11ac または 802.11n (5 GHz) をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例)



「×」の表示が出た場合

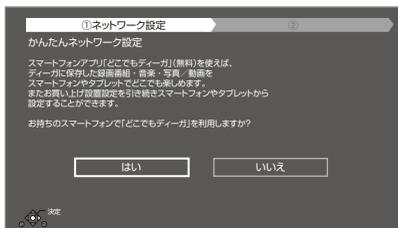
表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○	●ルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→136)
IP アドレスの設定：×	
ルーターへの接続：×	
インターネットへの接続：×	●ルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→136)
無線ネットワークへの接続：○	
IP アドレスの設定：○	
ルーターへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました。(B020)」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(→136) やルーターなどの設定 「サーバーが見つかりません。(B019)」表示時 ●「プライマリDNS」、 「セカンダリDNS」の設定 (→136) ●ルーターなどの設定
インターネットへの接続：×	
無線ネットワークへの接続：○	
IP アドレスの設定：○	
ルーターへの接続：○	
インターネットへの接続：×	

かんたん設置設定をする (続き)

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定する

「どこでもディーガ」(→4)を使って設定を行うことができます。

- ① 「はい」を選び、決定を押す



- 「いいえ」を選んだ場合は、「チャンネル設定」(→ 右記)を行ってください。

- ② テレビの画面表示内容に従って、スマートフォンの設定を行う

例)



上記画面の内容に従って、「どこでもディーガ」から本機を選択し、スマートフォン側で操作を行うと「チャンネル設定」が開始されます。その場合は、「チャンネル設定」(→ 右記)の表示はテレビ画面には表示されません。

「どこでもディーガ」から設定中は、テレビには以下の画面が表示されます。



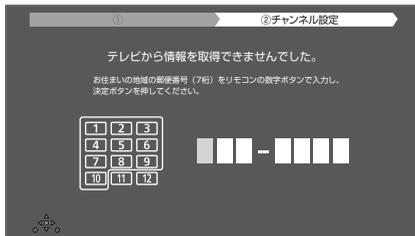
- 「どこでもディーガの設定を中止して次の設定へ」を選んだ場合、「チャンネル設定」(→ 右記)へ進んでください。

チャンネル設定

ビエラリンク (HDMI) Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。



テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。



- ③ 設定終了後にチャンネル設定をやり直すには (→142)

お知らせ

- BS・110度CS デジタル放送を受信できる状態で、チャンネル設定を行うと、以下のようになります。
 - ・「クイックスタート」(→132)が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。

商品登録を行う場合 (→裏表紙)

ディモラ会員登録

設定から「かんたんネットワーク設定」(→136)を行った場合、ディモラの会員登録の画面が表示されます。

ディモラのサービスの登録について
ディモラサービスに機器を登録すると、スマートフォンで宅外リモート視聴などの無料機能をご利用になります。シーン再生などの有料機能を利用するためには、CLUB Panasonic に会員登録が必要です。

ディモラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック テレビ番組情報ウェブサービス
ディモラ : <https://dimora.jp/>

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE	BD-R
	 繰り返し記録	 1 回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	番組、写真/動画(MP4)、音楽	
他の機器で再生するには	BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合、再生できないときがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5 ~ 15 倍録モードの番組 ・ 本機に取り込んだ動画 (AVCHD、MP4) ・ 無線 LAN 経由で録画した番組 ● LTH type の BD-R、DL や BDXL は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ● 2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ● BD-RE、BD-R に書き出した動画 (MP4) と音楽ファイルは再生保証していません。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0) の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) 	

記録できるディスクについて (続き)

ディスクの種類	DVD-R DVD-R DL (片面2層)  	DVD-RW 
記録可能なディスク	1回のみ記録 片面1層/片面2層	繰り返し記録 Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> ●AVCREC方式 ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格) 	<ul style="list-style-type: none"> ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格)
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには	<p>以下の条件に当てはまる機器で再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●記録したディスクの再生に対応 ●記録したディスクの記録方式の再生に対応 <p>・AVCREC方式の場合： 対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 [R]はファイナライズ(→129)が必要です。</p> <p>・VR方式の場合： VR方式の再生に対応している必要があります。</p> <p>・ビデオ方式の場合： 記録後にファイナライズ(→129)が必要です。</p> <p>●デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRMに対応している必要があります。</p>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。 ●ビデオ方式ではコピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●ビデオ方式ではデジタル放送は記録できません。 	

AVCREC™

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVDの記録方式は、本機でフォーマット(→127)することで設定されます。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

<p>BD ビデオ</p> 	<p>映像や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。 	<p>「A」または「A」を含むもの 例） </p> <ul style="list-style-type: none"> ●リージョンコードは国により異なります。
<p>DVD ビデオ</p> 	<p>映像や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。ただし、PAL方式のディスクは再生できません。 	<p>「2」（または「2」を含むもの）、 「ALL」が表示されたもの 例） </p> <ul style="list-style-type: none"> ●番号は国により異なります。
<p>CD</p> 	<p>音楽や音声が記録された市販ソフト (CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む) 写真が記録されたCD-RやCD-RW（JPEGフォーマット記録ディスク）</p>	
<p>+R +R DL (片面2層) +RW</p>	<p>他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。 	
<p>DVD-R DVD-RW</p>	<p>他機器でハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。 	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- BD-RE (Ver.1.0)
- DVD-RAM
- HD DVD
- ビデオCD
- SACD
- SVCD
- DVDオーディオ
- BDオーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト
- Ultra HD ブルーレイ
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式) など

USB-HDD の録画について

当社にて動作確認をしている USB-HDD をお使いください。

すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

動作確認機器については当社ホームページ (→9) をご覧ください。

本機は、USB-HDD に番組を録画できます。

- 複数番組の同時録画はできません。
- USB-HDD の説明書もご確認ください。

SeeQVault^{※1} 対応の USB-HDD を使用すると

- 番組の予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD を録画用フォーマットで使用すると他のディーガで使用できません)

ディーガ以外の機器で記録した SeeQVault 対応の USB-HDD の動作確認情報は当社ホームページで確認ください。(→9)



※1 「SeeQVault」(シーキューボルト) は、「さまざまな対応機器での再生互換性」と「強固なセキュリティー」を同時に実現するコンテンツ保護技術です。

USB-HDD の容量について

160 GB 以上 4 TB 以下

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

フォーマット コンテンツ	録画用	写真・ 音楽用	SeeQVault
番組	○	×	○ ^{※2}
撮影ビデオ (AVCHD)	×	×	○
動画 (MP4)	×	○	○
写真	×	○	○
音楽	×	○	○

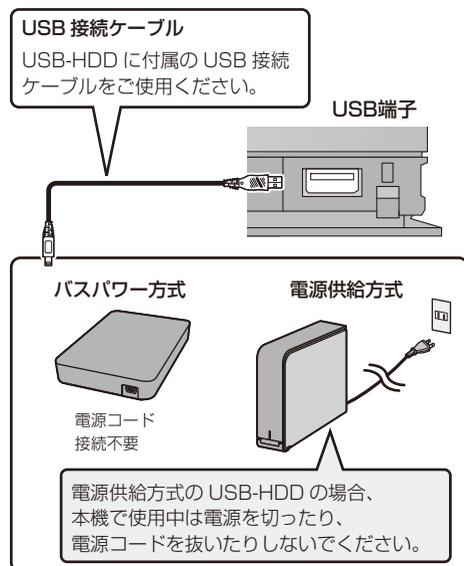
- ※2 ・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は1回になります。
- ・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」やまとめ番組の編集はできません。
 - ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去など再生以外の操作ができないことがあります。

USB-HDD の録画について (続き)

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

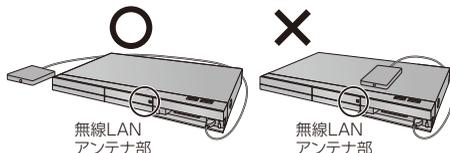
- USB-HDD は、本体前面の USB 端子に接続してください。



- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

- USB-HDD を使用時、無線帯域への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。以下のように設置してください。
 - ・ USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する
 - ・ USB-HDD は本機の上または前面に置かない



録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できるのは最大 8 台です。複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、画面に従って登録してください。

[ホーム] ボタン → 「設定・困ったときは」 → 「設定」 → 「HDD・USB-HDD・再生記録設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD の登録」で登録を行う

お知らせ

- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。

9 台目の USB-HDD を接続してください。

[ホーム] ボタン → 「設定・困ったときは」 → 「設定」 → 「HDD・USB-HDD・再生記録設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD の登録」で登録を行う

- ① 「はい」を選び、決定を押す
- ② 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定を押す
- ③ 「実行」を選び、決定を押す
- ④ 「登録」を選び、決定を押す
- ⑤ 決定を押す

USB-HDD の録画について (続き)

USB-HDD 登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：

登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

[ホーム] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：

「USB-HDD の取り外し」(⇒ 右記) を行ったあと、実行してください。

[ホーム] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「すべての USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外してください。

写真・音楽用フォーマットで使用する

写真・音楽用フォーマットした USB-HDD は他の写真・音楽用フォーマット対応のディーガに接続して動画や写真、音楽の再生や取り込みを行うことができます。

[ホーム] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」* で登録を行う

お知らせ

- SeeQVault 対応の USB-HDD は写真・音楽用フォーマットはできません。
- 写真・音楽用フォーマットをした USB-HDD は、番組を記録することはできません。

※ すでに他のフォーマットで使用している USB-HDD の場合、[サブメニュー] を押して登録画面を表示してください。

SeeQVault フォーマットで使用する

- 番組の予約録画はできません。番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD を録画用フォーマットで使用すると他のディーガで使用できません)

[ホーム] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「SeeQVault 対応のフォーマット」* で登録を行う

お知らせ

- 予約録画する場合は、「録画用フォーマットで使用する」(⇒33) で USB-HDD を登録してください。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

※ すでに他のフォーマットで使用している USB-HDD の場合、[サブメニュー] を押して登録画面を表示してください。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

[ホーム] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の取り外し」で取り外す

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。

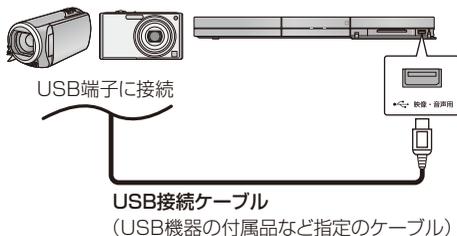
動作確認済みの機器については、当社ホームページ(→9)をご覧ください。

- USB リーダー& ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないください。
- USB ハブおよびUSB 延長ケーブルで接続した場合や USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB 接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

USB 機器を接続する



接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合があります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

USB 機器の取り外しについて

写真・動画・音楽の取り込み・書き込み中は、電源を切ったり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがあります。

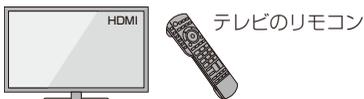
本機の電源を入 / 切する

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの を押す

- 本機の電源ランプが緑に点灯します。
- ☞テレビに映像が表示されない場合
 - テレビの入力を確認してください。
 - 接続を確認してください。(→14～24)

本機の電源を切る

本機のリモコンの を押す

- 本機の電源ランプが赤に点灯します。

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(消費電力→169)

1 テレビ視聴中に を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度「サブメニュー」を押してください。

2 「節電待機」を選び、 を押す

3 「はい」を選び、 を押す

お知らせ

- 電源「切」時に電源ランプ(赤)は消灯します。
- 「節電待機」中の制限について
 - ・起動が遅くなります。
 - ・以下の機能は働きません。
 - お部屋ジャンプリンク
 - 「どこでもディーガ」の機能(宅外リモート視聴、スマートフォンの写真や動画を受信する機能など)
 - スカパー!プレミアムサービス対応チューナーやCATVからの予約登録、または番組の時間変更に追従
 - ・アンテナケーブルを本機経由でテレビに接続している場合、「節電待機」で電源「切」にすると、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。
 - 「節電待機モード」(→132)が「モード1」の場合、テレビ側の設定でも衛星アンテナ電源を供給するようにしてください。
 - 「節電待機モード」(→132)が「モード2」の場合、本機を経由させずにアンテナケーブルをテレビに接続すると、改善させることができます。(→19)

ホーム画面について

本機で使用する主な機能はホーム画面から選ぶことができます。

- 1  を押す
- 2  で機能分類を選び、 を押す
- 3 機能を選び、 を押す

例)



録る	番組表を表示します。(→46) 録画の予約を行うことができます。
見る	録画一覧を表示します。(→73) 録画した番組を表示することができます。
ダビング・保存	かんたんダビングまたは詳細ダビングを行います。(→93、95) 録画した番組をダビングすることができます。
写真・音楽	写真や動画 (AVCHD、MP4) (→108) を視聴したり、音楽 (→112) を再生したりすることができます。
ディスク・USB	ディスクやUSB の操作をすることができます。
設定・困ったときは	各種設定の変更や、困ったときの対処方法を調べることができます。

ホーム画面について (続き)

ホーム画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。

機能名	参照ページ
録る	
番組表	44
予約一覧	57
スマホで予約 (どこでもディーガ)	4、147
おまかせ録画予約	58
カテゴリーまとめて検索	61
新番組 / 特番おしらせ	55
ディモラからのおすすめ* ディモラのサービスに登録すると、 おすすめ番組が配信されます。	— サービスの 登録につい て (→28)
ニュース録画設定	63
見る	
録画一覧	73
お部屋ジャンプリンク	122
検索	52
番組ニュース	54
スマホで見る (どこでもディーガ)	4、147
最新ニュース	63
ニューストピックス ディモラのサービスに登録すると、話 題のニュースをシーン一覧で表示し ます。	63 サービスの 登録につい て (→28)
ダビング・保存	
かんたんダビング	93
詳細ダビング	95
保存予約一覧	78
番組お引越シダビング	100

写真・音楽

写真 / 動画一覧	107
写真お引越シダビング	101
音楽	113
ディスク・USB	
ブルーレイ (BD) / DVD	79
USB 機器	35
USB - HDD	32
設定・困ったときは	
設定* 本機の設定 (放送設定 / HDMI 接続 設定 / ネットワーク設定 / メール・情 報 / 機器設定・診断コード) を変更や 確認することができます。	131
ヒント / 困ったときは* 本機の便利な使い方やよくあるご質 問・機器のお知らせが表示されます。 ご使用に困ったときやお知らせがあ るときなどにご覧ください。	—
スマホ転送番組の消去	118

※ 新着情報がある場合、(●) 新着お知らせアイコンが表示されます。(新着情報の更新は、電源「切」時に行います)



設定

受信できるデジタル放送と記録の制限について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110度CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CS デジタル放送の放送事業者「スカパー!」への加入申し込みと契約が必要です。

お知らせ

- B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。
- WOWOWなど有料の放送局とのご契約はB-CASカード単位でのご契約となります。テレビのB-CASカードでのご契約いただいている場合でも、本機付属のB-CASカードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。
- 本機で4K8K放送を受信することはできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRMに対応している必要があります。

パッケージに **CPRM対応** の記載のある DVDを準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先がHDDやUSB-HDDの場合は [10] または [1] を、ブルーレイディスクの場合は [1] を表示します。

[10] ~ [1] はダビングの残り可能回数を表します。DVDの場合は [x] を表示し、ダビングや移動はできません。

[1] の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・スマホ転送番組ともにダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)



- プロテクト設定 (→86) されている [1] の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<https://www.apab.or.jp>

テレビ放送を見る

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 **地上** **BS** **CS** を押す

2 **1** ~ **12** または **チャンネル** を押して、
チャンネルを選ぶ

お知らせ

- テレビ放送視聴中は 4K では出力されません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。

視聴中の番組の録画が始まると、データ画面が消えます。

- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→20、26)

1 データ放送のある番組を選局し、**データ** を押す

2 見たい項目を選び、**決定** を押す

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や数字ボタンで操作してください。

- ☞ データ画面を消すには
[データ] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

- 1 **番組表** を押す
- 2 放送中の番組を選び、**決定** を押す
 - ☞ 番組表の見方について (→44)
 - ☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS] を押す
- 3 「今すぐ見る」を選び、**決定** を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

- 1 テレビ視聴中に、**3桁入力** を押す
 - 押すごとに放送が切り換わります。
 - 2 **1** ~ **10** を押して、チャンネルを入力する
 - 例) 101 の場合 … [1] → [10] → [1]
 - 画面が表示されている間に入力してください。
- ☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
地上デジタル (→42「枝番選局」)

テレビ放送を見る (続き)

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

- 1 テレビ視聴中に、^{お好みチャンネル}  を押す
- 2 放送局を選び、 を押す
- チャンネルの登録
- 1 登録したい放送局を視聴中に、^{お好みチャンネル}  を押す
- 2 ^{サブメニュー}  を押す
- 3 「登録」を選び、 を押す
- 4 「はい」を選び、 を押す
 - リストの一番下に登録されます。(最大 48 チャンネル)

■ チャンネルの取り消し

- 1 ^{お好みチャンネル}  を押す
- 2 取り消す放送局を選び、^{サブメニュー}  を押す
- 3 「取消」を選び、 を押す
- 4 「はい」を選び、 を押す

お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示

 を押す (表示は約 20 秒後に自動消去します)

例)
リモコンの数字ボタン 受信中の番組名



放送の種類とチャンネル 放送開始時刻と終了時刻

番組の情報を消すときは

番組の情報を表示中に、[画面表示] を押す

番組内容

番組内容  を押す

音声を切り換える

 を押す (→42 「信号切換」)

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

 を押す (→42 「信号切換」)

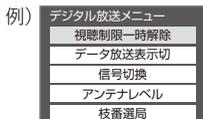
お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される字幕に影響はありません。

テレビ放送を見る (続き)

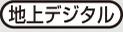
放送内容などの設定

- ① テレビ視聴中に、 を押す
 - サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。
- ② 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す
- ③ 設定項目を選び、 を押す (→ 下記)



お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (→138) を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目を選び、設定する  お知らせ ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは →69)
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例：「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、[決定]を押す  主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す

放送中の番組を録画する

HDD

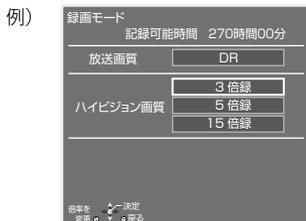
この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS CS を押す

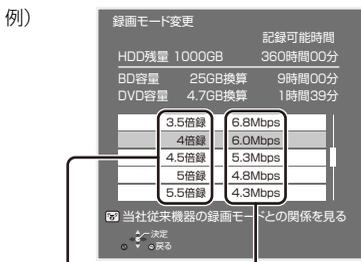
2 1 ~ 12 または 予約 を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モード 録画 を押す

4 録画モードを選び、決定 を押す



- ハイビジョン画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更できます。



記録時間の倍率 情報量(ビットレート)※

- ※ 数値が大きいくほど画質は良くなります。ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像(24 Mbps)をDRモードで録画した場合との比較を表します。

5 ワンタッチ予約録画 を押す

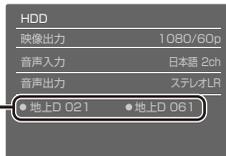
6 録画の終了方法を選び、決定 を押す

録画中の番組の確認

画素 を押す

例) 複数の番組を録画中

録画中の放送局



録画を止める

- 1 停止 を押す
- 2 「はい」を選び、決定 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

一時停止 を押す

- もう一度押す、または[ワンタッチ予約録画 ●]を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 172)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 66)
- CATV から録画する (→ 68)
- ディスクやUSB-HDD へは録画できません。
 - ・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割されます。
- 従来のアナログ放送と同様のDVD画質の番組は、選択した録画モードにかかわらず、画質はDVD画質相当で録画されます。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 複数の番組を録画するには
 - 手順 1 ~ 6 で別の番組を録画してください。
 - ・複数の番組を録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
 - ・番組の同時録画について (→ 70)

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示

選択中の番組紹介

放送の種類

放送局からのお知らせ

番組表・内容の問合せは当該局又はGガイド事務局へ0000

パネル広告: データを押すと詳細表示

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

文字サイズを変更するには [停止]を押す

現在の録画モード(→69) 選択中の番組

予: 録画予約中の番組(→157)

番組の色分け表示について
本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

お知らせ

●番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータとGガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・Gガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。(時間帯によっては受信できるまでに1日程度かかる場合があります)

●番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS CS を押す

番組表の見方 (続き)

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

■ 停止 を押す

文字のサイズを変更するには

[青][赤]を押す

表示チャンネル数を変更するには

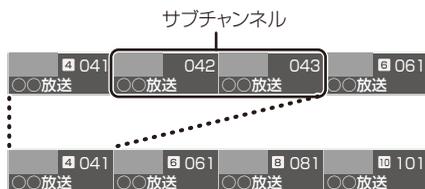
[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ]を押す

番組詳細の表示を切り換えるには

[緑]を押す

サブチャンネル表示を切り換えるには

[黄]を押す



お知らせ

- サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

- 全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

1 ■一時停止を押す

2 日付を選び、決定を押す

お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→138)を「入」にすると、1か月の番組情報を取得することができます。(2025年1月現在、1か月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

1 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

2 黄を押す

時間帯の切り換え

◀ スキップ または ▶ スキップ を押す

その他の表示設定

1 番組表表示中に を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(→51)
表示・文字サイズ変更	[青]または[赤]で、番組表の文字サイズを変更します。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。 ●全チャンネル表示時のみ
表示日数切換	1画面に表示する日数を変更します。 ●チャンネル別表示時のみ
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ●全チャンネル表示時のみ ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo1から36までのチャンネルを表示します。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ●全チャンネル表示時のみ
視聴制限一時解除	暗証番号(→138)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する

HDD [BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

[USB-HDD] (録画用フォーマット)

- DVD にデジタル放送を録画する場合、CPRM 対応のディスクをお使いください。
- ビデオ方式のDVD には予約録画できません。
- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には1日程度時間がかかる場合があります。

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、[戻る] を押して画面を消してください。

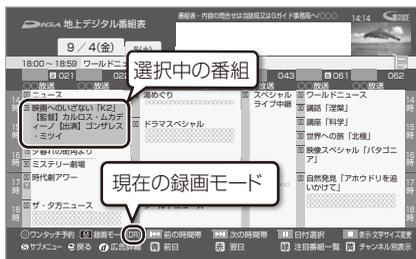
例)



ディスクへは、1番組のみ予約できます。

1 を押す

2 番組を選ぶ



別放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS] を押す

現在の録画モードを変更するには
[録画モード] を押す

番組を検索するには
(→51、52)

3 を押す

の代わりに を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(が表示されます)

- HDD に予約します。
- 手順4、5の操作は不要です。



4 「番組予約へ」を選び、 を押す



表示マークについては (→157)
多重音声の番組には以下のマークが
表示されます。

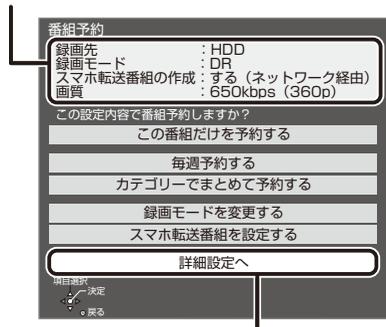
信号 : マルチ音声 : 二重音声

- 「関連情報」を選ぶと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。(→51)
- 「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

5 項目を選び、決定を押す

予約内容を確認してください。



- ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録 (→60)

録画モードを変更する：

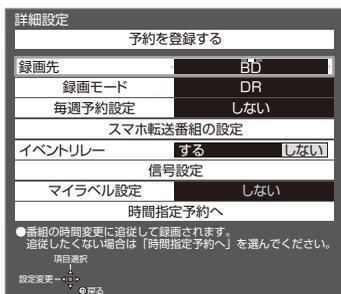
録画モードを変更 (変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

スマホ転送番組を設定する：

スマートフォンなどへ転送するための番組を作成 (→116)

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (→48)



録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→57)

■ **まとめ表示について** まとめ HDD USB-HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(→76)

(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■ **前回の番組を消去して録画するには**
(自動更新) HDD

「自動更新」(→48)を設定しておく、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、録画一覧表示中、HDD の番組を再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、46ページ手順1～5の操作を繰り返してください。予約済みの番組を重複して予約することはできません。
- 本機では128番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1番組として数えます)
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- 写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDには予約録画できません。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

詳細設定をする

47 ページ手順 5 など「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

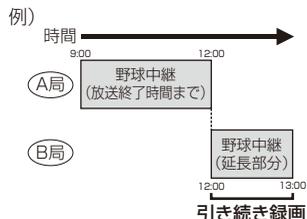
1 項目を選び、設定する (→ 下記)

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定** を押す

録画先	録画先を選びます。 ●DVD に予約録画する場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード (→69) を設定します。
毎週予約設定	「毎週予約」 (→47) を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。
スマホ転送番組の設定	録画時にスマホ転送番組も作成するよう設定をします。(→116) HDD

イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)



●お知らせ

- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が「BD」の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。
DVD に録画する場合などに設定してください。

- ①項目を選び、設定する
- ②[戻る]を押す

●お知らせ

- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。(詳しくは →69)
- 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

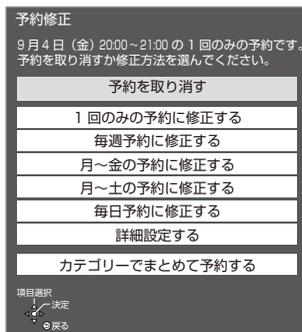
番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

マイラベル 設定 HDD	<p>録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。</p> <p>設定すると、録画一覧 (→71) で番組を探すのに便利です。設定は録画後に変更することもできます。(→88)</p> <p>ラベルを選び、[決定]を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択したラベルが録画一覧にならない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 マイラベル名は変更することができます。(→74「分類ラベル設定」)
時間指定予約へ	<p>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。(→56「時間指定予約」)</p>

番組表での予約の取り消し / 修正

1 **予**が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約録画を押す

2 項目を選び、決定を押す



☞「詳細設定する」を選んだ場合
「番組予約」のときは (→48「詳細設定」)
「時間指定予約」のときは (→56「時間指定予約」)

☞「カテゴリでまとめて予約する」を選んだ場合 (→60)

録画中の予約録画を止める

1 テレビ視聴中に

■停止を押す

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、決定を押す

番組表 (Gガイド) を使って予約録画する (続き)

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

緑 を押す

2 放送を選び、**決定** を押す

- 各放送の全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。



インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→138)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。

(2025年1月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、**決定** を押す



カテゴリー

☞カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

- [予] が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、**まとめ**番組になります。

☞放送を変更するには

[緑] を押す (→手順2へ)

4 番組を選び、**決定** を押す

カテゴリー

☞前後のページを見るには

[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ] を押す

☞他のカテゴリーを表示するには

[青][赤] を押す

([|| 一時停止] を押してカテゴリーを選択することもできます)

☞放送を変更するには

[緑] を押す (→手順2へ)

☞録画モードを変更するには

- ① [録画モード] を押す
- ② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す
(「番組予約」のときは→47手順5)
(「時間指定予約」のときは→56手順3)

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

「**検索**」を押す

「**検索**」の代わりに「**検索**」を押すと、

複数の検索条件を組み合わせ、番組を検索することができます。(→52)



2 「番組表の検索」を選び、「決定」を押す

3 検索方法を選び、「決定」を押す



ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

1 検索条件を選び、「決定」を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上][BS][CS]を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青] (前日) [赤] (翌日) を押す
(検索結果画面表示中に、[一時停止] を押して日付を選択することもできます)

2 番組を選び、「決定」を押す

3 「番組予約へ」を選び、「決定」を押す (→47 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件 (5 件まで) を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容 (→46 手順 4) の文字情報から検索します。

■ 検索条件を登録する

- 緑を押す
- 検索方法を選び、「決定」を押す
 - 「フリーワード」は、文字を入力し (→130)、登録してください。

上記手順 ①、② を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには

- 検索条件を選び、[決定] を押す
- 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
- 文字を入力する (→130)

登録した検索条件を削除するには

- 検索条件を選び、[黄] を押す
- 「はい」を選び、[決定] を押す

■ 検索する

1 検索する放送種別を変更する場合：

- 赤を押す
- 検索したい放送を「入」に設定し、「決定」を押す

2 青を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青] (前日) [赤] (翌日) を押す
(検索結果画面表示中に、[一時停止] を押して日付を選択することもできます)

3 番組を選び、「決定」を押す

4 「番組予約へ」を選び、「決定」を押す (→47 手順 5)

● お知らせ

- フリーワード検索結果は、40 件まで表示します。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 を押す

2 検索条件を設定する (→53)



- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤] を押して「指定しない」にすることもできます)

☑ 設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

3 すべての設定が終了したら、 を押す



☑ 再検索するには
[検索] を押す

お知らせ

- 録画中の番組やお録りおき番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、番組の検索ができません。

予約する (「番組表」選択時)

- 1 番組を選び、 を押す
- 2 「番組予約へ」を選び、 を押す (→47 手順 5)

再生する (「録画一覧」選択時)

番組を選び、 を押す

編集する (「録画一覧」選択時)

番組を選び、 を押す

(→86 「番組を編集する」手順 3)

- ☑ チャプターを編集するには
[サブメニュー] を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す (→91 手順 4)
- 番組を複数選択するには、番組を選んで [青] を押すを繰り返します。

消去する (「録画一覧」選択時)

- 1 番組を選び、 を押す
- 2 「消去」を選び、 を押す

番組を検索する (続き)

検索条件について

検索対象	予約録画したい番組を検索する場合は、画面上で「番組表」を選び、再生・編集したい番組を検索する場合は、画面上で「録画一覧」を選んでください。
録画先	録画番組のある録画先 <ul style="list-style-type: none"> 「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンクで接続された機器の中から番組を検索することができます。
検索単位	「番組」または「シーン」単位で検索
放送種別	放送の種類 <ul style="list-style-type: none"> 「お好み」は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード <ul style="list-style-type: none"> フリーワードの登録について(→右記) 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→46手順4)の文字情報から検索します。 インターネットに接続すると、ディモラから旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

フリーワードを登録する

フリーワードは20件まで登録することができます。

- 「新規登録」を選び、**決定**を押す
- 項目を選び、設定する
 - 文字入力(→130)



フリーワード：

入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：

入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：

検索時の組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか1つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

- 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定**を押す

インターネットから取得したキーワード(青色表示)を登録するには

キーワード(青色表示)を選び、[緑]を押す

登録したフリーワードを変更するには

- 変更したいフリーワードを選び、[緑]を押す
- 項目を選び、設定する
 - 文字入力(→130)

登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す

番組ニュースを確認する

番組ニュースでは、インターネットを利用して番組に関する記事を取得することができます。

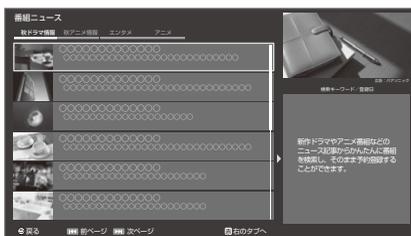
また、記事の中のキーワードを使って、関連する番組を検索することができます。番組ニュースに検索キーワードを登録しておくことで関連番組が見つかったときにお知らせします。

- 番組ニュースを利用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。
- ・ ネットワーク接続と設定をする (→20、26)

1 番組ニュース 新番組を押す

- 「新番組/特番おしらせ」画面が表示された場合、もう一度ボタンを押してください。

2 番組を選び、決定を押す



- ☑ 前後のページを見るには
[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ]を押す
- ☑ 他のジャンルを表示するには
[青][赤]を押す

3 記事の中のキーワードで番組を探すには 青を押す

- 検索に使用したキーワードは、検索キーワードとして登録されます。
- 登録できる検索キーワードは最大 100 です。最大数を超えた場合、古いキーワードから自動的に削除されます。

- ☑ 登録キーワードで番組を検索するには
検索したい登録キーワードを選び、
[決定]を押す
- ☑ 登録キーワードを削除するには
削除したい登録キーワードを選び、
[黄]を押す

4 番組を選び、決定を押す

- 決定の代わりに を押すと、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(HDD に予約します)

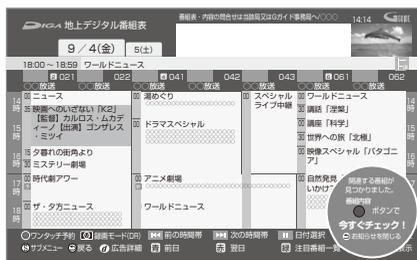


5 「番組予約へ」を選び、決定を押す (→47 手順 5)

登録キーワードに関連した番組が見つかったときのお知らせ

番組表を表示したとき、登録キーワードに関連した番組を見つけたことを通知する画面を数秒間表示します。

[ホーム] を押して「見る」→「番組ニュース」を選ぶと、番組ニュース画面で関連番組を確認することができます。



新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする

HDD BD-RE BD-R R AVCREC R VR RW VR

USB-HDD (録画用フォーマット)

本機は新番組や特番、テレビ初放送の映画を一覧で表示できます。

1 番組ニュース 新番組を押す

- 「番組ニュース」画面が表示された場合、もう一度ボタンを押してください。

2 番組を選び、決定を押す

決定の代わりにワンタッチ予約録画を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。

- HDD に予約します。



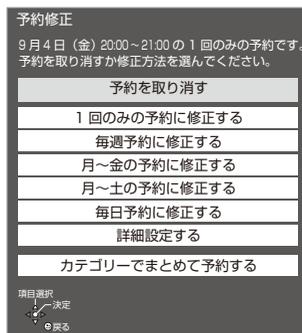
- 前後のページを見るには
[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ] を押す
- 他のジャンルを表示するには
[赤] を押す
- 放送を変更するには
[青] を押す
- 「新番組」、「特番 (地上 D)」、「初放送 (映画)」それぞれで表示するには
[緑] を押す
- 録画モードを変更するには
 - [録画モード] を押す
 - 録画モードを選び、[決定] を押す

3 「番組予約へ」を選び、決定を押す (→47 手順 5)

表示マーク	表示条件
新番組: 新	「新」、<新>、<新番組>、<新シリーズ>の表示がある番組
特番 (地上 D): 特	放送時間が 1 時間 45 分以上で、番組開始時刻が 18 時から 23 時 59 分までの地上デジタルの番組
初放送 (映画): 初	「初放送」、「地上波初」など「初」の表示がある映画の番組

■ 予約済みの項目を修正する

- 予が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約録画を押す
- 項目を選び、決定を押す



- 「詳細設定する」を選んだ場合
(→48 「詳細設定」)

● お知らせ

- 新番組を [ワンタッチ予約 録画 ●] で予約をした場合、第 1 話しか予約されません。毎週予約に変更する場合は、もう一度 [ワンタッチ予約 録画 ●] を押して毎週予約に修正をしてください。
- 表示条件が 2 つ以上重なる番組の表示マークは、「新番組」、「初放送 (映画)」、「特番 (地上 D)」の優先順位で表示します。

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R R AVCREC R VR -RW VR

USB-HDD (録画用フォーマット)

1 予約確認
を押す2 ワンタッチ予約
録画 を押す3 予約内容を設定する
(→ 右記「時間指定予約」へ)

時間指定予約		○放送
録画日	9月4日(金)	
毎週予約設定	しない	
放送種別 / チャンネル	地上D_061	
開始時刻	9月 4日	20:00
終了時刻	--	--
録画先	HDD	
録画モード	DR	
スマホ転送番組の設定		
番組名入力		
マイラベル設定	しない	
予約を登録する		
項目選択		
設定変更 ←		
戻る		

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」
を選び、を押す

「①」が表示されたときは、[決定]を押して、予約内容を確認してください。

お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴録画には暗証番号 (→138) の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。(→131「日時設定」)
- 番組追従機能 (→64) は動きません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

予約内容の設定

時間指定予約

- ① 項目を選び、設定する (→ 下記)
- ② 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 (→48「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード (→69) を設定します。
スマホ転送番組の設定 HDD	スマホ転送番組作成の設定をします。(→48)
番組名入力	● 文字入力について (→130) ● 入力なくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(→49)

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認

を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀] [▶] を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選び、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。
(→61「カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し」)



予約状況がマークで表示されます。

- 「」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
 - 毎日・毎週予約でHDDの残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
 - 表示マークについては (→158)
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

お知らせ

- [予約確認] を3秒以上長押しすると、音声ガイドの設定画面が表示されます。

予約の取り消し

を押す

- 「探して毎回予約」の場合、テレビ側の予約も取り消してください。

予約内容の修正

- 1 を押す
- 2 「修正」を選び、を押す
(「番組予約」のときは →48「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →56「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

- 1 を押す
 - 2 「毎週一覧」を選び、を押す
- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→65) 予約の修正をしてください。

予約の実行を止める (一時解除)

- 1 を押す
 - 2 「予約実行切」を選び、を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
 - [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[無線LAN経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)で録画中の番組を除く]
- お知らせ
- 「お録りおき録画」では予約の実行切ができません。

視聴制限の一時解除

暗証番号 (→138) を入力して視聴制限を一時解除します。

- 1 を押す
- 2 「視聴制限一時解除」を選び、を押す
- 3  1 ~  10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- 1 を押す
 - 2 「履歴一覧表示」を選び、を押す
- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- 1 を押す
 - 2 「履歴削除」を選び、を押す
 - 3 「はい」を選び、を押す
- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

自動予約する

おまかせ録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- **[HDD]** に 5 倍録モードで予約録画されます。
録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→59) で設定してください。
- おまかせ録画は最大 12 個まで登録できます。
 自動予約機能で予約可能な番組数について (→66)

1  を押す

2 「録る」を選び、 を押す

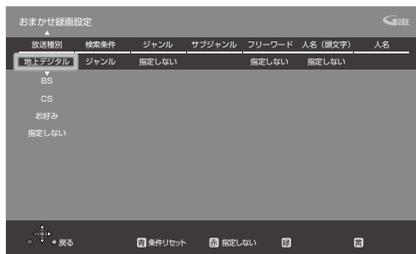
3 「おまかせ録画予約」を選び、 を押す

4 「未登録」を選び、 を押す

- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、[青] を押してください。



5 録画条件を設定する (→ 右記)



6 すべての設定が終了したら、 を押す

録画条件について

放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→41) で登録されている放送局です。
検索条件 ^{*1}	「ジャンル」、「カテゴリー」、「ディモラおまかせ」の切り換え ●「ディモラおまかせ」に設定すると、録画履歴の傾向からお客様の興味がありそうな番組や、ディモラのサービスに登録されたディーガで多く録画された番組または話題になった番組を自動で録画予約します。  サービスの登録について (→28)
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー ^{*2}	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード  フリーワードの登録について (→53) ●インターネットに接続すると、ディモラから旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名

※1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り換えはできません。

※2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

 お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→59)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→66 「自動予約する番組の優先順位について」)

自動予約する (続き)

自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。

自動消去は本機の電源「切」時に実行します。

58 ページ手順 3 のあと

- 1 **一時停止** を押す
- 2 項目を選び、**決定** を押す
 - 自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→ 右記) または「おまかせ録画から除外」(→ 60) を設定してください。
 - 「HDDの残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

お知らせ

- 本機の電源「入」時や予約録画中などは、自動消去は実行されません。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

58 ページ手順 3 のあと

- 1 登録したおまかせ録画を選び、**赤** を押す
- 2 録画モード (→ 69) を設定する

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

58 ページ手順 3 のあと

予約済み番組を確認する

- 1 確認したい項目を選び、**決定** を押す

サブメニュー

- 2 **S** を押す

- 3 「登録済み予約」を選び、**決定** を押す

- 予約番組を修正したい場合：
「登録済み予約」では確認のみできます。
予約された番組を修正したい場合は、
予約一覧 (→ 57) で修正してください。

登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

- 1 登録した項目を選び、**緑** を押す

- 2 「はい」を選び、**決定** を押す

- 予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→ 57) で取り消してください。

おまかせ録画した番組を再生する

- 1 **ホーム** を押す
- 2 「録る」を選び、**決定** を押す
- 3 「おまかせ録画予約」を選び、**決定** を押す
- 4 項目を選び、**決定** を押す
- 5 番組を選び、**決定** を押す

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 4 のあと

- 1 消去したい番組を選び、**黄** を押す
- 2 「消去」を選び、**決定** を押す
 - 他の録画条件に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。
再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 4 のあと

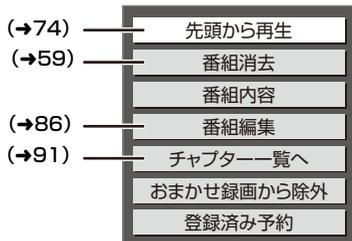
- 1 番組を選び、**緑** を押す
- 2 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す
 - プロテクト設定すると「**🔒**」が表示されます。
 - 他の録画条件に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

自動予約する (続き)

おまかせラベルの便利な機能

59 ページ「おまかせ録画した番組を再生する」の手順 4 のあと

- 番組を選び、 を押す
- 項目を選び、 を押す (→ 下記)



番組内容	番組の内容が確認できます。  画面を消すには [決定] を押す
おまかせ録画から除外	おまかせラベルで表示させなくします。 「すべて」ラベル (→72) からは番組を見ることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組を表示します。

 お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧 (→71) の「すべて」ラベルでは  番組として、まとめ表示されます。
・  の番組を消去した場合、おまかせラベルでも番組は表示されなくなります。

関連する番組を自動で予約録画する
(カテゴリーまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

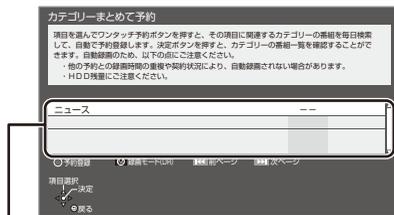
- **HDD** に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
-  自動予約機能で予約可能な番組数について (→66)

選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

- 番組予約画面 (→47 手順 5) 表示中に「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、 を押す
 - 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

- 表示されている項目を選び、 を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

- 「予約する」を選び、 を押す

自動予約する (続き)

カテゴリから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリの番組を自動で予約録画します。

- 1  を押す
- 2 「録る」を選び、 を押す
- 3 「カテゴリまとめて検索」を選び、 を押す
- 4 検索対象から項目を選び、 を押す
- 5 項目を選び、 を押す



- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

- 🔍 カテゴリの番組一覧を表示する場合
手順5で[決定]を押す

カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1  を押す
- 2 「録る」を選び、 を押す
- 3 「カテゴリまとめて検索」を選び、 を押す

■ 予約済み番組を確認する

確認したい項目を選び、 を押す

- 予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す

詳細設定について (→48)

(予約番組を修正すると、カテゴリまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

① 登録した項目を選び、 を押す

② 「はい」を選び、 を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→57) で取り消してください。

🔔 お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→66 「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約する (続き)

お録りおき番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

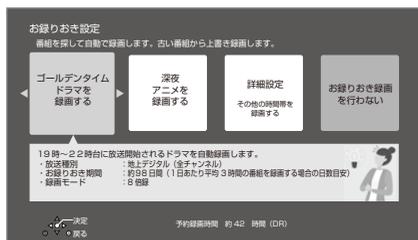
お録りおきを設定すると、設定したチャンネルや時間帯のドラマやアニメを自動で予約録画します。

- 録画先は [HDD] になります。
- お録りおき番組は、お録りおき用のHDD容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は、保存してください。(→77)

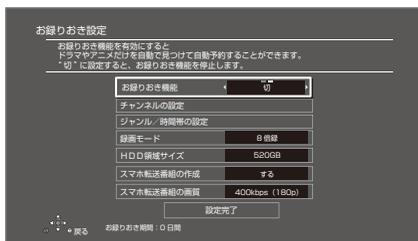
自動予約機能で予約可能な番組数について (→66)

お録りおきを設定する

- 1 ホーム を押す
- 2 「設定・困ったときは」を選び、設定 を押す
- 3 「設定」を選び、決定 を押す
- 4 「お録りおき設定」を選び、決定 を押す
- 5 項目を選び、決定 を押す



「詳細設定」を選びと、チャンネルや時間帯、録画モードなどの設定ができます。



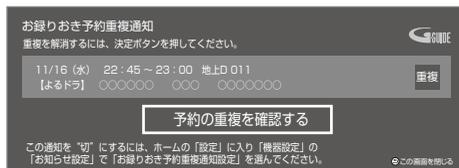
お知らせ

- お録りおきを使用しない場合は、「お録りおき機能」で「切」を選んでください。
- 「お録りおき機能」を「入」から「切」に変更すると、すでに録画済みのお録りおき番組は消去されます。必要な番組はあらかじめ保存を実行したあとで「お録りおき機能」を「切」に変更してください。
- お録りおきの期間は、設定したジャンルの各時間帯の平均的な放送時間を基にした予測目安です。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→66 「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。
- お録りおき録画で録画対象とする番組は以下になります。
 - ・ 選んだ番組の開始時刻の前後約3時間以内にある番組
 - ・ 選んだ番組と同じ放送局の番組

お録りおき予約の重複通知について

お録りおき予約が通常予約 (→46) など他の予約と重複している場合、重複する番組のお録りおきができません。

画面の指示に従って、予約重複確認画面 (→65) で重複を解消してください。



- 通知を表示しないようにするには、「お録りおき予約重複通知設定」(→132) で「切」を選んでください。

優先お録りおき

他のお録りおき予約よりも優先してお録りおき予約をするには、予約一覧画面 (→57) で予約番組を選び、「緑」ボタンで優先お録りおきを設定してください。

自動予約する (続き)

ニュース番組を自動で予約録画する

地上デジタル

指定したチャンネルのニュース番組を自動で予約録画することができます。

録画されたニュースは、「最新ニュース」や「ニューストピックス」として見ることができます。

- **[HDD]** に7倍録モードで予約録画されます。
- ニューストピックスをご利用になるには、インターネットに接続して、ディモラの会員登録が必要です。
サービスの登録について (→28)
- 自動予約機能で予約可能な番組数について (→66)

ニュース録画設定

- 1  を押す
- 2 「録る」を選び、 を押す
- 3 「ニュース録画設定」を選び、 を押す
- 4 項目を選び、設定する



ニューストピックスが利用できるチャンネルには、「*」が表示されます。
(インターネットに接続してディモラ会員登録済みの場合に表示されます)

ニュース録画機能：

「入」に設定すると、ニュース番組の自動録画を有効にします。

チャンネル：

チャンネルを選びます。

- 5 設定が終了したら、「設定完了」を選び、 を押す

最新ニュースを再生する

録画されたニュース番組の中から最新の番組を再生することができます。

- 1  を押す
- 2 「見る」を選び、 を押す
- 3 「最新ニュース」を選び、 を押す

ニューストピックスを再生する

録画されたニュース番組の中から話題のニュースを順番にシーン一覧で表示します。

- 1  を押す
- 2 「見る」を選び、 を押す
- 3 「ニューストピックス」を選び、 を押す
- 4 見たいシーンを選び、 を押す
 - 選んだシーンから再生されます。

お知らせ

- 録画されるニュース番組は以下のようになります。
 - ・ 放送時間が15分以上の番組が予約録画されます。
 - ・ 番組編集はできません。
 - ・ 録画後48時間以上経つと、自動で消去されます。番組を残したい場合は、ダビングなどで保存してください。(→95)
 - ・ 録画一覧 (→71) では以下のように表示されます。
 -  番組として、まとめ表示されます。
 - 番組には「」が表示されます。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→66「自動予約する番組の優先順位について」)
- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2025年1月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモラのホームページ(→28)をご覧ください。

予約録画の便利な機能

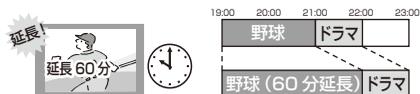
ディスクやUSB-HDDの残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクやUSB-HDDに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始からHDDに録画します。

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

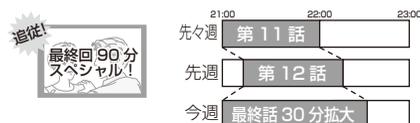
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の3時間までの変更に対応)



- 番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

🚫 番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→56)

🔔 お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD画質の予約を代替録画すると、HDDには3倍録モードで録画します。

🔔 お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は動きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

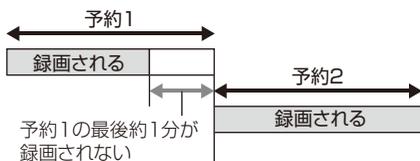
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることができます。(録画に影響はありません)

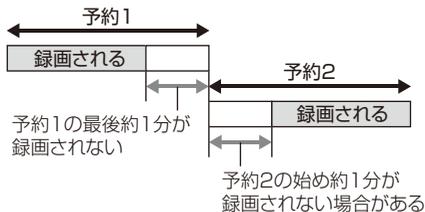
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき
- USB-HDD に予約しているとき



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。



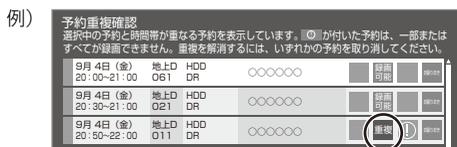
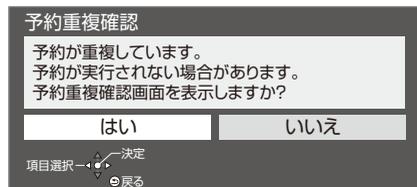
- 前の予約の録画終了時刻に近づくとき、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

HDDの残量が少なくなったときの予約録画について

HDD の残量が少なくなると、本機の電源状態 / 再生状態 / 同時録画数などの条件によっては、HDD 残量不足のために番組の途中までしか録画できない場合があります。HDD 残量が少なくなった場合は、不要な番組を消去して残量を増やしてお使いください。

予約番組が重なっているとき
(47 ページ手順 5 などのあと)

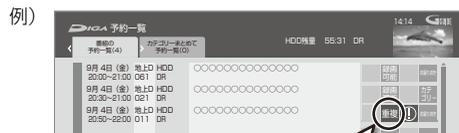
予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



予約一覧で「重複」が表示

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

- 無線 LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービスや CATV) の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 以下の録画予約は合計 128 番組まで可能です。
 - ・お録りおき録画 (→62)
 - ・おまかせ録画 (→58)
 - ・カテゴリまとめて予約 (→60)
 - ・ニュース録画 (→63)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。
予約の重複が起こった場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 優先お録りおきに変更、または毎回保存を登録済みのお録りおき録画
- ② 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリ」のおまかせ録画 (→58)
- ③ カテゴリまとめて予約 (→60)
- ④ お録りおき録画 (→62) (毎回保存未登録)
- ⑤ 検索条件が「ディモラおまかせ」のおまかせ録画 (→58)
- ⑥ ニュース録画 (→63)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (→70) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、地上デジタル、CS デジタルの順で番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「お録りおき録画」や「おまかせ録画」、「カテゴリまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組 (連続ドラマやアニメなど) を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。(ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します)

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」 (→133) を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード (4 倍録 ~ 15 倍録) で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR モードや 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

1.5 ~ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、お部屋ジャンプリnkなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。(電源「切」時に予約録画などで本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います)

変換が終了しているか確認するには (→89)

- 変換前に一部の編集を行うことはできません。

また、1.5 ~ 15 倍録モードで複数の番組を録画中、HDD の残量が少ないときは再生やダビングなどができない場合があります。

録画モードと記録時間の倍率について

例)

録画モード変更		記録可能時間
HDD残量	1000GB	360時間00分
BD容量	25GB換算	9時間00分
DVD容量	4.7GB換算	1時間39分
3.5倍録	6.8Mbps	
4倍録	6.0Mbps	
4.5倍録	5.3Mbps	
5倍録	4.8Mbps	
5.5倍録	4.3Mbps	

当社従来機器の録画モードとの関係を見る

記録時間の倍率 情報量(ビットレート)*

* 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安 (→172)

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから録画する

スカパー！プレミアムサービス
対応チューナー

接続は？

無線LAN接続

ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- サービスについては、当社ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

接続と設定

- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
 - お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link(録画)設定 (→146)

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体の録画ランプが赤点灯します。

- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応チューナーの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(→57)
 - ・ 録画モードを変更することはできません。
 - ・ 「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・ 視聴制限のある番組や接続しているチューナーによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・ 本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
- (→131「日時設定」)
 - ・ 予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。(本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります)
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する

ネットワークを使って録画できる CATV セットトップボックスについては、当社ホームページ (→9) をご覧ください。

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

ネットワークを使って予約する

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
 - お部屋ジャンプリンク/スカパー! Link(録画)設定 (→146)
- インターネットサービスの利用はできません。

HDD

CATV 側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体の録画ランプが赤点灯します。

- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATVセットトップボックスの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(→57)
 - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・視聴制限のある番組や接続している CATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

■ 停止 を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
- (→131「日時設定」)
 - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。(本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります)
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

録画モードについて

録画モード	DR	1.5～15倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～LPの中で画質を自動調整して記録 ^{*2}
	—			—
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R -R AVCREC USB-HDD	-R VR -R V ^{*3} -RW VR -RW V ^{*3}	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス2チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 →46)	複数の音声をすべて記録	音声は2つまで記録 ^{*4*5}		音声は1つだけ記録 ^{*4}
二重音声 (→46) ^{*6}	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{*4}	

● 録画モードと記録時間の目安 (→172)

● 録画モードを変更するには

・録画時 (→43) ・予約時 (→47) ・かんたんダビング時 (→94「画質変更」) ・詳細ダビング時 (→95)

※1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※2 番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

※3 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※4 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

・録画時：「信号切換」(→42) で選ぶ

・予約録画時：「信号設定」(→48) で選ぶ

・ダビング時：「信号切換」(→83) で選んだあと、ダビングを行う (→99)

※5 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

※6 **-R V** **-RW V** に記録する場合、音声は設定に従って記録されます。(「DVD-Video 記録の設定」(→133) の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

- 1～3番組目の録画順は自由です。

表の見方

地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続



※1 無線LAN経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の番組は、HDDにのみ録画できます。

※2 XP、SP、LP、FRモードでの録画はDVDにのみできます。



お知らせ

● 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。

- ・ ディスクからHDDへダビング中
- ・ HDDからHDDへダビング（複製）中
- ・ USB-HDDからHDDへダビング中
- ・ 無線LAN経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）で録画中に新たに無線LAN経由の録画はできません。
- ・ ビエラリンク（HDMI）を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- ・ USB-HDDに同時録画する場合

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R R RW USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

例)
ラベル

- [◀] [▶] を押しと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態
• 表示を変えるには (→74)

残量 / 録画モード
• 録画モードを変更するには (→43)

選択中のメディア

表示するラベルを変更するには (→74 「分類ラベル設定」)

録画番組の録画モード
• 「→○○倍録」が表示中は、録画モード変換が終了していません。(→89)

ページ数
• [◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] を押しと、前後のページに切り換わります。押しただまにすると、素早く切り換わります。

表示マークについては (→159)

選択中の番組 (番組消去 →86)

(番組の検索 (シーン一覧 →75) (ダビング →93) (番組編集 →86) →52)

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示 (画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには (→88 「サムネイル変更」)
- 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット) の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。

まとめ 番組を選び、決定 を押しと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される DR モードの残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものと計算されています。(→172)

録画一覧について (続き)

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう	「お部屋ジャンプリnk」(→123) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ●「家じゅうラベルの表示」(→137) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「通信 / 映像品質の設定」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、ホーム画面の「お部屋ジャンプリnk」から再生してください。 	
ディスク	ディスク内の番組 (ディスクが入っている場合のみ表示) <ul style="list-style-type: none"> ●BD-V DVD-V では表示されません。 	
USB-HDD	USB-HDD 内の番組 (USB-HDD が接続されている場合に表示)	
HDD	おまかせ	おまかせ録画 (→58) で録画された番組
	ドラマ お録りおき	お録りおき録画 (→62) で録画された番組 (お録りおき設定時のみ表示)
	アニメ お録りおき	
	よくみる お録りおき	
	すべて	すべての番組
	最新録画番組*	最新の録画番組から順に 24 番組まで表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未視聴*	録画してまだ見ていない番組 <ul style="list-style-type: none"> ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「未視聴」から除外されます。
	カテゴリー まとめて番組*	カテゴリーまとめて予約 (→60) で録画された番組
	ドラマ、映画などの 「ジャンル」*	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル*	「マイラベル設定」(→49、88) で設定した番組のみを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(→74「分類ラベル設定」)
撮影ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクや USB 機器から取り込まれた動画 (AVCHD) (→102) ●「動画の編集」を行った MP4 (→108) 	

※ 分類ラベル設定 (→74) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

録画した番組を再生する

録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、**[決定]**を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **録画一覧** を押す

2 **番組を選び、[決定]**を押す



- **[まとめ]** 番組を選んで、**[決定]**を押すと、**[まとめ]** 番組内の番組を表示できます。

● **お知らせ**

- 表示マークについては (→159)
- 録画中番組の再生について
 - ・ HDDやUSB-HDDに録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - ・ 録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生) ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。
- 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生
 - ① **[ホーム]**を押す
 - ② 「ディスク・USB」を選び、**[▼]**を押す
 - ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**[決定]**を押す
 - ④ 「プレイリストを見る」を選び、**[決定]**を押す
- **[録画一覧]**を押すと**[BD-V]**や**[DVD-V]**の再生が始まる場合、**[HDD/BD]**を押してドライブをHDDに切り換えてください。

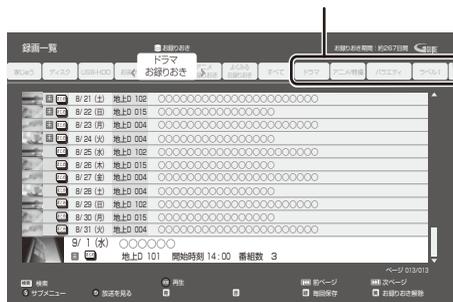
録画した番組を再生する (続き)

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

① 番組を選び、を押す

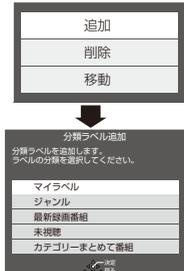
- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから [サブメニュー] を押してください。

② 項目を選び、を押す (→ 下記へ)

例)



先頭から再生 HDD USB-HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、スマホ転送番組も消去されます。 消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 「消去」を選び、 [決定] を押す
番組内容	番組の内容が確認できます。 ●リモコンの[番組内容]でも確認出来ます。

一覧を更新 更新を中止 ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。
並び替え* HDD USB-HDD (録画用フォーマット)	録画一覧に表示する番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
全番組表示へ* まとめ表示へ* HDD USB-HDD	表示を切り換えます。 ●SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDの場合はできません。
視聴制限一時解除* HDD USB-HDD	「HDD番組の視聴制限」(→134)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
分類ラベル設定* HDD	録画一覧に表示するラベルを追加・削除・移動します。  表示させたいラベルを選び、 [決定] を押す ●追加できるラベルは最大8個です。 ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、 [決定] を押す ② 「名称変更」を選び、 [決定] を押す (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください) ③ ラベル名を入力する (→130)

*番組に が付いているときは機能の実行はできません。

録画した番組を再生する (続き)

見たいシーンから再生する (シーン一覧)

HDD | USB-HDD (録画用フォーマット)

インターネットに接続すると、録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。デモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

🔗サービスの登録について (→28)

録画一覧画面上で

① 番組を選び、[一時停止] を押す

- シーン一覧が表示されます。



デモラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、[決定] を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

🔗見どころ一覧を表示するには

上記手順 ① のあと、[一時停止] を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

🔍お知らせ

- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2025年1月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、デモラのホームページ (→28) をご覧ください。
- 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・BD からダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、シーン一覧は表示できません。
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

録画した番組を再生する (続き)

まとめ 番組について

HDD USB-HDD (録画用フォーマット)

毎日・毎週予約や、カテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で「まとめ」番組として表示されます。

- 「まとめ」番組は、「まとめ」番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する (まとめ再生)

「まとめ」番組を選び、再生早見 を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、「まとめ」番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- 「まとめ」番組名を変更 (→86) しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

① 番組を選び、青 を押す

- が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

② すべて選んだあと、サブメニュー (S) を押す

③ 項目を選び、決定 を押す (→ 下記)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、「まとめ」番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

お知らせ

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

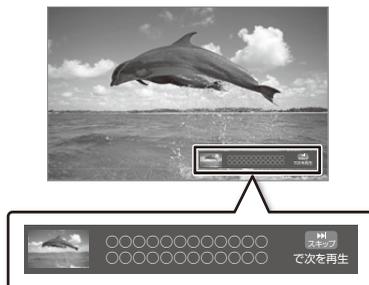
次エピソードを自動再生する

次に再生するシリーズ番組を通知してそのまま連続で再生します。

- 「次エピソード自動再生」 (→133) を「入」にする

① 録画一覧の「まとめ」番組内の番組を選び、決定 を押す

- 再生中の番組が終わりに近づくと、以下の画面が表示されます。



② 再生中の番組を最後まで再生する、または

スキップ を押す

- 次の番組が引き続き再生されます。

お知らせ

- リピート (→83) の設定が有効なときは表示されません。

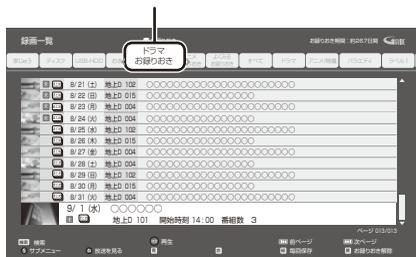
録画した番組を再生する (続き)

お録りおき番組を再生する

お録りおきした番組は、録画一覧から再生することができます。

1  を押す

2 「ドラマお録りおき」「アニメお録りおき」または「よくみるお録りおき」を選ぶ



3  番組を選び、 を押す

4 番組を選び、 を押す

お録りおきの解除と番組を消去する

お録りおきが不要な番組を選んで、お録りおきの解除と番組の消去をすることができます。

上記手順 2 のあと

① 解除したい  番組を選び、 を押す

② 「はい」を選び、 を押す

お録りおき番組を保存する

お録りおき番組は、お録りおき用の HDD 容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は保存してください。

■ コピー制限のある番組の保存について

お録りおき番組を保存する場合、ダビングの残り回数は以下ようになります。

- HDD、USB-HDD に保存する場合：
お録りおき番組は  になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。
- BD-RE、BD-R に保存する場合：
お録りおき番組の残り回数は 1 回減り、ディスク側では  になります。
-  の番組を保存する場合：
保存先の種類に関係なく、移動になります。
(お録りおき番組は消去されます)

ワンタッチ保存をする

お録りおき番組のワンタッチ保存は、本機の動作状況に合わせて電源「切」時に実行するため、ワンタッチ保存の予約状態となります。

保存先は     が選べます。

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD には保存できません。
- 新品のディスクに保存する場合は、フォーマットをしてください。(→127)

1  を押す

2 「ドラマお録りおき」「アニメお録りおき」または「よくみるお録りおき」を選ぶ

3  番組を選び、 を押す

4 番組を選び、 を押す

ワンタッチ保存が予約され、HDD に保存されます。

 保存先などを変更するには

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「ワンタッチ保存設定」を選び、[決定] を押す
- ③ 項目を選び、設定する

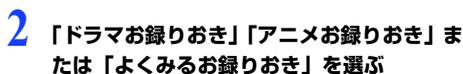
 ワンタッチ保存の状況を確認するには (→78)

録画した番組を再生する (続き)

毎回保存をする

選んだ番組を自動的に保存するようにします。
保存先は **HDD** **USB-HDD** が選べます。

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD には保存できません。



- 「保存先」で保存先を変更できます。
- 「スマホ転送番組の作成」で保存実行時にスマホ転送番組も作成できます。

毎回保存の状況を確認するには (→ 下記)

お知らせ

- 毎回保存で保存対象とする番組は以下になります。
 - ・ 番組内の番組
- 毎回保存の最大登録数は 64 です。

保存の確認、取り消しなど



「実行待ち」、「毎回保存登録」、「履歴」を切り換えるには
[◀▶] を押す

■ 実行待ち番組の取り消し

- 1 を押す
- 2 「はい」を選び、 を押す

■ 履歴の削除

保存に失敗した番組などの履歴を削除します。

- 1 を押す
- 2 「はい」を選び、 を押す

お知らせ

- 以下の動作中は、保存の実行はされません。(動作終了後に保存します)
 - ・ 電源「入」中
 - ・ USB-HDD や ディスクへの保存の予約と、録画先が USB-HDD や ディスクの録画の予約が重複した場合
 - ・ 録画先が HDD の録画を 2 番組以上実行している場合
- 保存を予約できる最大番組数は 99 です。
- 保存先の残量不足などで保存が実行できない場合は、HDD、または USB-HDD に代替で保存します。

BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V | DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、**[▶ 再生]**を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合 項目を選び、**[決定]**を押す



[決定]メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中：**[サブメニュー]**を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中：**[録画一覧]**を押す

DVD-V **[録画一覧]**を押す
(**[サブメニュー]**)を押して、「トップメニュー」を選ぶ

[決定]ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中：**[録画一覧]**を押す

- 停止中に**[1]**～**[10]**を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V：2桁入力 **BD-V**：3桁入力

[決定]お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは**[■ 停止]**を押して停止させてください。
- [録画一覧]**を押すと録画一覧が表示される場合、**[HDD/BD]**を押してドライブをBDに切り換えてください。
- Dolby Atmos®やDTS:X®, AURO-3D®に対応したBDビデオを楽しむには(→134)

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(→134)を「入」にしてください。
- 副映像が表示されないときは
 - 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→83)

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Liveは、外部メモリー(ローカルストレージ)に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージにUSB機器(USBメモリー)を利用します。

- 1 ネットワーク接続と設定をする(→20、26)
- 2 「BD-Liveインターネット接続」(→133)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する
- 3 1GB以上の残量があるUSB機器を接続する
- 4 ディスクを入れる

- USB機器に記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「BDビデオデータ消去」で消去することができます。

[ホーム] ボタン→**[ディスク・USB]** →
[USB機器] →**[BDビデオデータ消去]**で消去を行う

[決定]お知らせ

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

再生中のいろいろな操作

ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

停止

 **停止** を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(お部屋ジャンプリングで再生した場合も含む)

- **HDD** **USB-HDD** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク : 前回止めた位置のみを記憶
 - ・記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。(BD-V) の場合、前回止めた位置を記憶しているディスクもあります)
 - ・ **BD-V** / **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

 **一時停止** を押す

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 または  を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。(MP4 動画再生中、市販の BD ビデオや「1080/60p」の表示がある番組の再生中は音声は出ません)

スキップ

再生中または一時停止中に

 または  を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク (→90) がある場合は、その場面に飛びます。

30 秒先へ飛び越す / 10 秒前へ戻す

 または  を押す

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速)

再生中、 を押して、再生速度を選ぶ

- 以下の場合はできません。
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ **[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・ **[MP4]** (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- 同時動作や再生番組によっては 1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速再生ができない場合があります。
- **BD-V** 市販のディスクでは早見再生 (1.6 倍速 / 2.0 倍速) はできません。
- **BD-RE** **BD-R** **[R]** 早見再生 (2.0 倍速) はできません。
- **[RW]** 早見再生 (1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速) はできません。

スロー再生

一時停止中に

 または  を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- **BD-V**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ動きます。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

 (左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- **BD-V**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。

ゆっくり再生 (0.8 倍速)

再生速度を落とし、音声を聴き取りやすくします。

再生中、 を押す

- もう一度 **[ゆっくり]** を押すと、元の速度に戻ります。
- 以下の場合、ゆっくり再生はできません。
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ **[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・ **[MP4]** (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- ゆっくり再生中は、音声は PCM になります。

再生中のいろいろな操作 (続き)

音声や字幕の切り換え

🔊 または 🗣️ を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。

(詳しくは ➡83)

- **BD-V** **DVD-V** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **MP4** (取り込んだ動画も含む) できません。

🔔 お知らせ

- 他社製機器から記録したスカパー!プレミアムサービスの番組は、字幕表示の入/切ができない場合があります。

プレビューサーチ

HDD USB-HDD (録画用フォーマット)

録画番組の気になるシーンを探して見ることができます。

- 1 再生中に  を押す

- 2  で再生したい位置の画像を選び、 を押す

🔍 プレビューサーチを消すには
[戻る]、または [▼] を押す

🔔 お知らせ

- 編集した録画番組やダビングした番組は、シーン画像が未作成場合があります。
- 本機の動作状態によって、シーン画像が未作成場合があります。

番組内容

再生中に  または  を押す



🔍 番組内容を消すには
[戻る]、または [◀] を押す

シーン一覧

再生中の番組のシーン一覧を表示します。

(インターネット接続時のみ)

シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

ディモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

🔍 サービスの登録について (➡28)

- 1 再生中に  を押す

- 2 ディモラ会員登録している場合：
見たいシーンを選び、 を押す



- 再生が終了すると引き続き次のシーンを再生しません。

🔍 シーン地位欄を消すには
[戻る]、または [▶] を押す

🔔 お知らせ

- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2025年1月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ディモラのホームページ (➡28) をご覧ください。
- 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
 - ・ 番組結合した番組
 - ・ BD からダビングした番組
 - ・ シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

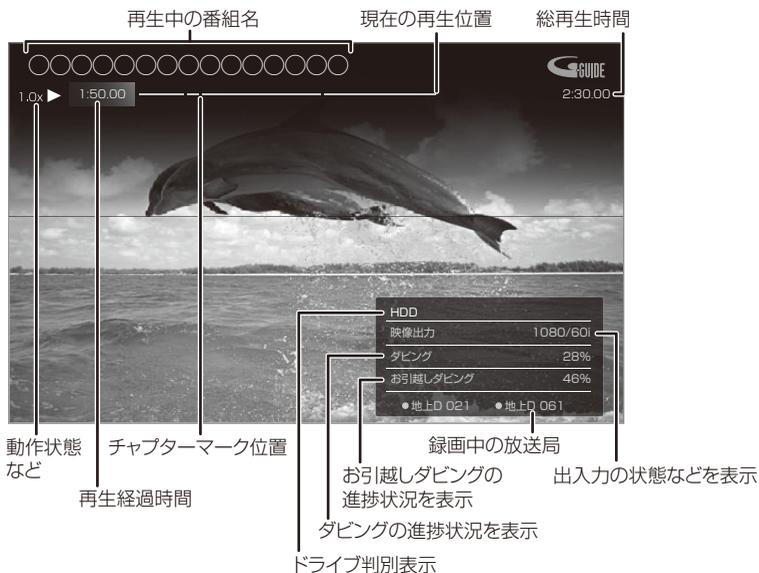
再生中のいろいろな操作 (続き)

操作の状態の表示

画面表示

を押す (表示は約 20 秒後に自動消去されます)

例) HDD



操作の状態を消すときは

操作の状態を表示中に、[画面表示] を押す

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中にメニューを押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) **BD-V**



4 設定項目を選び、決定を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

録画した番組の再生時の音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。字幕スーパーを切り換えたい場合は、「字幕設定」(→138) で設定してください。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声 (L/R) を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アンクル

アンクルを選びます。

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1 曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 **AVCHD**

情報の表示のみ

主映像情報 **BD-V**

副映像設定 **BD-V**

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

電波状態表示

再生設定をする (続き)

画質設定

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白/黒階調を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

色調整

色の濃さ、色あいを調整します。

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
 - ▶ 輝度水平帯域制限
 - ▶ 色垂直帯域制限
 - ▶ 色水平帯域制限
 - ▶ プログレッシブ処理
- プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
- 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
 - ▶ Auto
 - ▶ Video

24p / 30p 変換出力

- ▶ 切
- ▶ 24p [24p 対応のテレビと接続時のみ]

映画らしい動きで再生することができます。

 - 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→135)を「オート」に設定時に4K/24pで出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→135)を「オート」または「1080i 固定」「1080p 固定」に設定時に1080/24pで出力されます。
- ▶ 30p [4K/30p 対応テレビと接続時のみ]

「出力解像度」(→135)を「オート」に設定時に4K/30pで出力されます。

設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

この設定は再生中のみ有効です。

画質設定を標準に戻す

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

再生設定をする (続き)

音質設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶ 切

▶ ナイトサラウンド*

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ ハイレゾリマスター (弱 / 中 / 強)*

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

(サンプリング周波数が96 kHz以下で記録された音声に有効)

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ハイレゾリマスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

はっきり効果の強さ

聞こえにくい高音域を明瞭にし、音声をはっきりと聞き取りやすくします。

▶ 切

▶ 弱

▶ 強

DSD-PCM 変換周波数設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

- ▶ 176.4 kHz
- ▶ 88.2 kHz
- ▶ 44.1 kHz

DSD LPF 設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

自動音量調整*

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

- ※ 「HDMI 出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(→134)
(音声は2チャンネルになります)

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1  を押す

2 番組を選び、 を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→59)をご覧ください。
- 【まとめ】**番組内の番組を消去する場合、**【黄】**を押す前に、**【決定】**を押して、**【まとめ】**番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで**【青】**を押す操作を繰り返してください。(選んだ番組には**☑**が表示されます。もう一度**【青】**を押すと選択を取り消します)

3 「消去」を選び、 を押す

 **お知らせ**

- 【まとめ】**番組内の番組を消去して、残り1番組になった場合、**【まとめ】**番組は解除されます。
- HDD**の番組消去について
 - ・消去すると、スマホ転送番組も消去されます。
 - ・消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・**HDD** **BD-RE** **-RW VR** **USB-HDD**
 - 消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・**-RW V**
 - 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1  を押す

2 番組を選び、 を押す

3 項目を選び、 を押す (→下記)

例) **HDD**



(→117)

 **お知らせ**

- 編集量が多い場合、ディスクヘダピングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。
- 「部分消去」「番組結合」「番組分割」を実行するとスマホ転送番組も消去されます。

番組名編集

 文字入力 (→130)

 **お知らせ**

- 以下の番組は変更できません。
 - ・**【新】**表示の番組
- 番組名を変更すると、スマホ転送番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。

- R V** **-RW V** できません。
- 「番組を編集する」(→上記)手順3で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**【決定】**を押す
- プロテクト設定すると「」が表示されます。

番組を消去する / 編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

- 「R-V」「RW-V」できません。



「番組を編集する」(→86) 手順 1～3 のあと

- 1 「再生」を押して、再生を始める
- 2 「開始点」を選び、消去する部分の開始点*で「決定」を押す
- 3 「再生」を押して、再生を始める
- 4 「終了点」を選び、消去する部分の終了点*で「決定」を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、「決定」を押す(→手順2へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
- 5 「消去開始」を選び、「決定」を押す
- 6 「実行」を選び、「決定」を押す
 - 部分消去すると、スマホ転送番組は消去されます。
 - 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
 - 「シームレス再生」(→134)を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など(→80)を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で「一時停止」を押し、「◀」「▶」を押して場面を調整する

番組結合

HDD USB-HDD

同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1つの番組に結合することができます。

- 1.5～15倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

「番組を編集する」(→86) 手順 1～3 のあと

- 1 結合したい番組を選び、「決定」を押す



- 2 「結合」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- 結合した番組は以下ようになります。
 - ・録画モード：画質の高いほうの録画モード(ただし、画質は向上しません)
 - ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
 - ・番組名：最初に選択した番組名
 - ・おまかせ録画をした番組の自動消去の日時：最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去(→59)
 - ・チャプターマーク：結合した位置に作成(結合してチャプターマーク数が最大チャプターマーク数(→174)を超える場合、超えた分は削除されます)
 - ・番組の結合部分：映像や音声が入り切りすることがあります。
 - ・スマホ転送番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
 - ・DRモードの番組とそれ以外の番組
 - ・ハイビジョン画質(1.5～15倍録モード)の番組とそれ以外の番組
 - ・録画時間の合計が8時間を超える場合
 - ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組
 - ・無線LAN経由(スカパー！プレミアムサービスやCATV)で録画した番組
 - 録画モード変換(→89)を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
 - ・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組を消去する / 編集する (続き)

番組分割

- **[R V]** **[RW V]** できません。



「番組を編集する」(→86) 手順 1～3 のあと

- ① 「分割」を選び、分割する場面*で **決定** を押す
 - 「プレビュー」を選び、**決定** を押すと、分割する場面を確認することができます。
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① 「分割」を選び、**▶再生** を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、**決定** を押す
- ② 「終了」を選び、**決定** を押す
- ③ 「分割」を選び、**決定** を押す
 - 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
 - 分割すると、スマホ転送番組は消去されます。
 - 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
 - **[BD-RE]** **[BD-R]** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

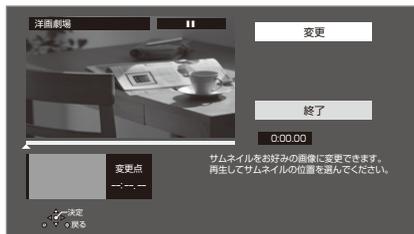
- ① 早送りやスロー再生など (→80) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[||一時停止]** を押し、**[◀▶]** を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD **[R V]** **[RW V]** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)を変更します。

- **[R V]** **[RW V]** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



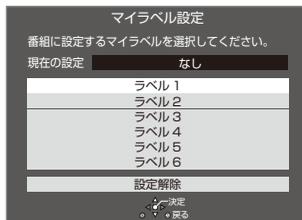
「番組を編集する」(→86) 手順 1～3 のあと

- ① **▶再生** を押して、再生を始める
- ② 「変更」を選び、お好みの場面*で **決定** を押す
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、**▶再生** を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、**決定** を押す
- ③ 「終了」を選び、**決定** を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



「番組を編集する」(→86) 手順 1～3 のあと

- ① ラベルを選び、**決定** を押す
- ② 「マイラベル設定」を選び、**決定** を押す
 - 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**決定** を押してください。
 - マイラベル名は変更することができます。(→74 「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

録画モード変換

HDD USB-HDD

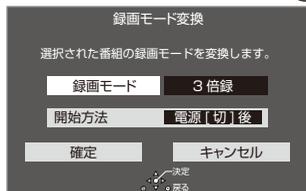
録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。

「番組を編集する」(→86) 手順 1 ～ 3 のあと

- 1 画面上で「録画モード」を選び、**決定**を押す



- 2 倍率を選び、**決定**を押す

- 3 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

- すぐに：

「決定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

- 電源 [切] 後：

電源 [切] 後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- 4 「確定」を選び、**決定**を押す

- 5 「すぐに」開始する場合：

- 「開始」を選び、**決定**を押す

- ☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：

- 決定**を押す

- ☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

- ① 86 ページ「番組を編集する」手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
- ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す

- ☞ 変換が終了しているか確認するには



「→○○倍録」が表示中は、変換は終了していません。

お知らせ

- 15倍録モードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→133) で記録したい音声を選んでください。

CHAPTERの作成・再生・編集

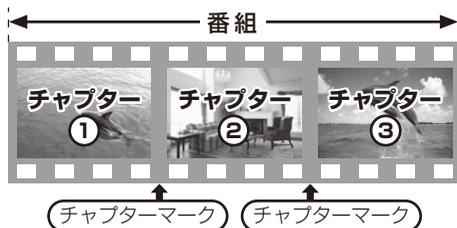
HDD | BD-RE | BD-R | R AVCREC | R VR | RW VR

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

CHAPTERとは

CHAPTERマークで区切られた区間のことです。スキップ (→80) すると、CHAPTERマークを作成した場面に飛ぶことができます。



CHAPTERの自動作成について

- 「自動CHAPTER」(→133) を「入」にすると、デジタル放送の録画時にCMなどの場面で自動的にCHAPTERマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

CHAPTERマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にCHAPTERマークを作成したい場面で

黄 [] を押す
CHAPTERマーク



削除

一時停止中に

- ① [SKIP] または [SKIP] を押して、削除したい場面に飛ぶ
- ② 黄 [] を押す
CHAPTERマーク
- ③ 「はい」を選び、[決定] を押す



前後のCHAPTERが結合されます。

CHAPTER一覧からCHAPTERマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「CHAPTER一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



- ⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

お知らせ

- HDD | USB-HDD CHAPTERマークが最大数まで作成された番組は、CHAPTERマークの作成 (→右記) や「サムネイル変更」(→88) ができなくなります。

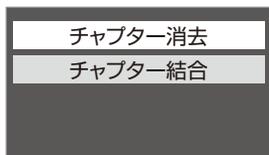
CHAPTERの作成・再生・編集 (続き)

CHAPTERを再生・編集する

- 1  を押す
- 2 番組を選び、 を押す
番組を検索するには (→52)
- 3 「CHAPTER一覧へ」を選び、 を押す
- 4 再生する：
CHAPTERを選び、 を押す
編集する：
CHAPTERを選び、 を押す
(→手順5へ)



- 5 編集する項目を選び、 を押す
(→右記)



CHAPTER消去

指定したCHAPTERの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
(元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定]を押す

- CHAPTERをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- スマホ転送番組も消去されます。
- CHAPTER消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、CHAPTER消去ができません。

CHAPTER結合

選択中のCHAPTERと次のCHAPTERの間のCHAPTERマークを削除して、1つにつなぎます。



前後のCHAPTERが結合されます。

「結合」を選び、[決定]を押す

番組のダビングについて

本機では、HDD、USB-HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
	<ul style="list-style-type: none"> かんたんダビング 詳細ダビング 再生中番組の保存
	<ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング

高速ダビングができない条件
(1 倍速ダビングになる)

- VR 方式・ビデオ方式の DVD にダビングする場合

お知らせ

- 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。
 - ・ ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) の場合
 - ・ USB-HDD が SeeQVault フォーマットの場合
- DR モードの番組や無線 LAN 経由で録画した番組を DVD (AVCREC 方式) でダビングする場合、画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。
 - ・ 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
 - ・ 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。

 他機器での再生については (→29)

ダビング方向	ダビング方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細ダビング
	

録画用フォーマットの USB-HDD の場合、移動のみ可能です。

- ダビング元の番組は消去されます。
- HDD のスマホ転送番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・ AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組
 - ・ XP、SP、LP、FR モードの番組

SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合：

- コピー制限のある番組について
 - ・ HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。
 - ・ HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。
- XP、SP、LP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向	ダビング方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細ダビング

高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる)

- BD に記録した XP、SP、LP、FR モードの番組をダビングする場合
- DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合

お知らせ

デジタル放送のダビングについて (ムーブバック)

- DVD からはダビングできません。
- BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし **BD-R** のディスク残量は増えません)



- **BD-RE** **BD-R** 以下の番組は移動できません。
 - ・ ディスク内で番組分割した番組
 - ・ 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
 - ・ **BD-R** ファイナライズしたディスク
 - ・ 録画時間が 8 時間を超える番組

ダビング方向	ダビング方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細ダビング ・ SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。
	

番組を複製して同じ番組を 2 つにします。

お知らせ

- お使いのテレビによっては、ダビング画面で表示解像度が低くなるため文字などがぼやけて表示される場合があります。ダビング終了後に元に戻ります。
- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD はダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → [BD-RE] [BD-R] [R] [RW]

HDDにある番組をディスクにダビングします。

●操作の前に記録可能なディスクを入れてください。

1 [ホーム] を押す

2 「ダビング・保存」を選び、 を押す3 「かんたんダビング」を選び、 を押す

●[R] 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。

画質を選び、[決定] を押してください。

4 番組を選び、 を押す

●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。

(選んだ番組には が表示されます。

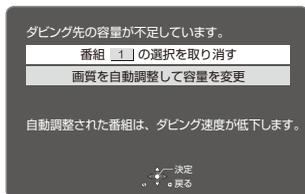
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します)



☑かんたんダビングの画面の見方については (→94)

☑選んだ番組がディスク残量を超える場合 確認画面が表示されます。

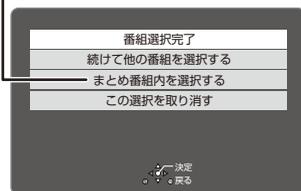
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、 を押す

手順4でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→手順4へ)

6 「ダビング開始」を選び、 を押す

●オプション設定について (→94)

7 「はい」を選び、 を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

☑ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作 (→98)

☑ダビングの進行状況を表示するには

テレビ視聴中に [画面表示] を押す

お知らせ

●「DVD画質」で未フォーマットの [R] [RW] にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。

・[10]～[1]の番組が含まれている場合：VR方式

・[10]～[1]の番組が含まれていない場合：ビデオ方式

●1回にダビングできる番組は99番組までです。

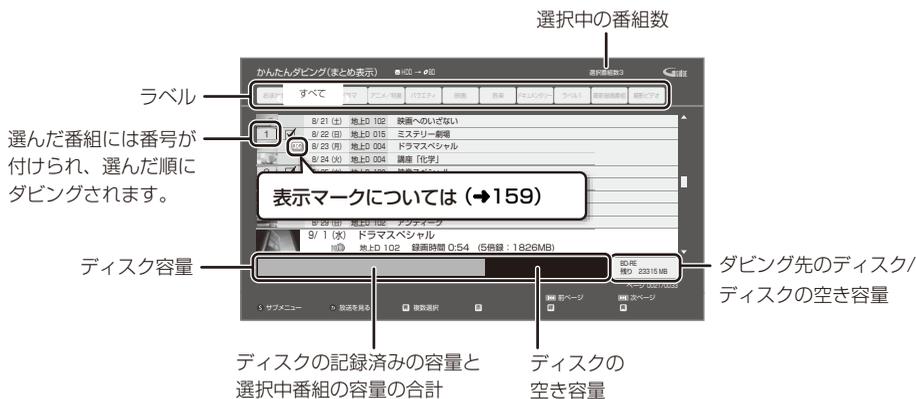
●プロテクト設定 (→86) されている [1] の番組はダビングできません。

●[まとめ] 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

●ダビング中に電源を切ることはできません。

番組をダビングする (続き)

かんたんダビングの画面の見方



- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→93 手順 4) で

- 番組を選び、**サブメニュー** (S) を押す
- 項目を選び、**決定** (決定) を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
画質変更	<input checked="" type="checkbox"/> が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ ([R] [RW] のみ)
並べ替え*	番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
まとめ表示へ* 全番組表示へ*	表示を切り換えます。
視聴制限一時解除*	「HDD番組の視聴制限」(→134) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

※ 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

お知らせ

- [R] [RW] 「オプション設定」(→左記)の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(→129)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

- **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**
USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
- **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR** → **HDD**
- **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット) → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC**
USB-HDD (録画用フォーマット)
 (SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です)
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→127)

1 を押す

2 「ダビング・保存」を選び、 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、 を押す

4 項目を選び、 を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、 を押す

☞ダビングを実行中に中止するには

- [戻る] を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→98)

☞ダビングの進行状況を表示するには

テレビ視聴中に [画面表示] を押す

ダビング方向

- 1 「ダビング元」を選び、 を押す
- 2 ダビング元を選び、 を押す
- 3 「ダビング先」を選び、 を押す
- 4 ダビング先を選び、 を押す

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は **まとめ** 番組になります)
- ・ コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
- ・ **[12]** 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。
- ディスクから **HDD** への画質変更ダビング中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- 1 「録画モード」を選び、 を押す
- 2 録画するモードを選び、 を押す

記録先の空き容量に合わせて、録画モードを自動で選択してダビングします。

元の画質	高速
ハイビジョン画質	3 倍録
	5 倍録
	15 倍録
	オート (自動調整)
DVD画質	XP
	SP
	LP
	FR (自動調整)

- ハイビジョン画質を選択時に [サブメニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→ 66)

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→172)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート (自動調整) を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

番組をダビングする (続き)

リスト作成 (番組を選択する)

- 「新規登録」を選び、**決定**を押す
- 番組を選び、**青**を押す
 - が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
 - ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。
 - 選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す
- 選び終わったあと、**決定**を押す

お知らせ

- 録画用フォーマットの USB-HDD には、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません。
- ダビングリスト容量について (ダビング先に記録される容量)
 - 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

(**R** **RW**) へダビングするときのみ)

- 「ファイナライズ」を選び、**決定**を押す
- 「入」または「切」を選び、**決定**を押す

(**BD-RE** **BD-R** **R AVCREC**) へ 1.5 ~ 15 倍録モードを選んでダビングするときのみ)
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

- 「音声・字幕の記録」を選び、**決定**を押す
- 「モード 1」または「モード 2」を選び、**決定**を押す
 - モード 1: 再生時に音声や字幕の切り換えができます。
 - モード 2: 再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(**83**) で記録する内容を設定してください。

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (**129**) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」手順 ① のあと) で



- 番組を選び、**サブメニュー**を押す

- 項目を選び、**決定**を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除 HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」(→134) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並べ替え HDD USB-HDD	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。 ● SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

番組に が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」) で



- 登録されたリストや設定を取り消す: 「すべて取消し」を選び、[決定]を押す
- リスト項目を入れ替える: 番組を選び、[決定]を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの全消去や追加、消去、移動をする: [サブメニュー]を押したあと、項目を選ぶ

番組をダビングする (続き)

ファイナライズ後のディスク
(DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V (ファイナライズ後の **-R V** **-RW V**、
+R、+R DL、+RW) → **HDD**

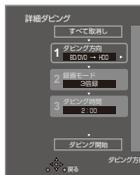
1 を押す

2 「ダビング・保存」を選び、 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、 を押す

4 項目を選び、 を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(→95)をご覧ください。



- ダビング方向
BD/DVD → HDD
- 録画モード
3倍録
- ダビング時間
2:00

以下のように設定してください。

- ・「ダビング方向」：「ダビング元」→「BD/DVD」
- ・「録画モード」：「録画モード」を選ぶ
(1.5～15倍録のみ選べます)
- ・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
(→右記)

5 「ダビング開始」を選び、 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源
[切]」を選び、 を押す

- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は
番組を選び、**[決定]**を押す

好みの番組を再生するには

- ① **[録画一覧]**を押す
- ② 番組を選び、**[決定]**を押す

ディスクの再生が始まらない場合は

- ① **[▶再生]**を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、**[決定]**を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る]を3秒以上、もしくは**[■停止]**を押す

お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(→80)で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定」(→133)の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

① 「時間設定」を選び、 を押す

② 「入」または「切」を選び、 を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

③ 「録画時間」を選び、 を押す

④ “時間” または “分” を選び、 で設定し、
 を押す

番組をダビングする (続き)

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にディスクへダビングすることができます。(1番組のみダビングが可能)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向: **HDD** ➔ **BD-RE** **BD-R** **R** **RW**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➔127)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:

- **R VR** **RW VR** **音声** または **字幕** を押し、表示された再生設定画面(➔83)で、記録したい音声や字幕を設定する。

2 サブメニューを押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **サブメニュー** を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、**決定**を押す

4 「保存開始」を選び、**決定**を押す

Ⓞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る]を3秒以上押す

- 中止時の動作(➔右記)

お知らせ

- **R VR** **RW VR** 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

- ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
 - ・ **音声** または **字幕** を押し、表示された再生設定画面(➔83)で、記録したい音声や字幕を設定する

- ② かんたんダビング(➔93)、もしくは詳細ダビング(➔95)を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合



番組 A・Bのみダビングされます。

番組 Cはダビングされず、ダビング元に残ります。

ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R **R** 番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組Cがダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

R V **RW V** に画質変更ダビングするときの動作

HDDの残量が少ないときは、ダビングできません。

HDDの不要な番組を消去(➔86)してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➔174)を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
- **BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

番組をダビングする (続き)

3D 対応の番組のダビングについて

- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ ダビング先の **[BD-RE]** **[BD-R]** の残量が少ない
 - ・ **[BD-RE]** **[BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下ようになります。

- **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R-AVCREC]**
(高速、1.5～15 倍録モードでダビング時)
複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- **[R-VR]** **[RW-VR]** (HDD からダビング時)
複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
再生中番組の保存 (→98) でダビングしてください。

🔔 お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
[BD-RE] **[BD-R]** **[R-AVCREC]** 詳細ダビングの詳細設定 (→96) で、「音声・字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(→83) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入/切はできなくなります)

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下ようになります。

- **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R-AVCREC]** **[USB-HDD]** **[R-VR]** **[RW-VR]**
両方の音声を記録
- **[R-V]** **[RW-V]** 以下の設定に従って記録：
「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」(→133) を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→133) に従って記録します。**[R-V]** **[RW-V]** へ記録するときには有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(→133) に従って記録します。480i の映像を 1.5～15 倍録モードで記録するときには有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・ ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

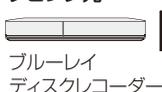
ディーガやビエラなど他機器からダビングする

お引越シダビング

お引越シダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- 対応機器については、当社ホームページ(→9)をご覧ください。
- お引越シダビング非対応のディーガの場合、お引越シダビングは利用できません。その場合は、BD-RE などのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。
- 写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット対応のディーガから写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされた USB-HDD を使用して写真を移動することができます。
- ネットワーク接続と設定をする(→20、26)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合(→146)

ダビング元



ダビング先



番組ダビングの設定をする

- 1 **ホーム** を押す
- 2 「ダビング・保存」を選び、**決定** を押す
- 3 「番組お引越シダビング」を選び、**決定** を押す
- 4 接続する機器を選び、**決定** を押す
- 5 ダビング元を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、**決定** を押す

6 番組を選び、**決定** を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで【青】を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。
もう一度【青】を押すと選択を取り消します)
- 他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)

番組お引越シダビング		番組一覧(全番組表示)	
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。			
<input checked="" type="checkbox"/>	現特ビジネス	8:28 (8)	地上D 101 開始時間 22:00 終了時間 1:00
<input type="checkbox"/>	エレキキター入門	8:29 (4)	地上D 101 開始時間 8:07 終了時間 0:28
<input type="checkbox"/>	タカニュース	8:30 (8)	地上D 101 開始時間 17:03 終了時間 1:00

- ☞ **まとめ** 番組を選んだ場合は
まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。
- ☞ すべての番組をダビングしたい場合は
「一括ダビング」(→下記)してください。

7 接続機器がディーガの場合： 「ダビング元機器の番組」を 「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順8へ

8 「設定する」を選び、**決定** を押す (→101「ダビングを実行する」)

- 番組ダビング時の便利な機能
番組お引越シダビング画面(上記手順6)で

- 1 番組を選び、**メニュー** を押す
- 2 項目を選び、**決定** を押す(→下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	すべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで【決定】を押したあと→上記手順7へ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

* 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

ディーガやビエラなど他機器からダビングする (続き)

お知らせ

- 写真・音楽用フォーマット、または SeeQVault フォーマットの USB-HDD からはダビングできません。
- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - プロテクト設定 (→86) されている 100 の表示がある番組
 - ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - XP、SP、LP、FR モードの番組
- 100 の表示がある番組は以下ようになります。
 - 100 ページ手順 7 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- 100 ~ 120 の表示がある番組は、ダビング先で「1 回だけダビング可能」の番組になります。
- ダビング元の番組のデータ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」や「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 (100 ~ 120) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

- HDD 内のすべての写真をダビングします。写真を選んでダビングすることはできません。
- 接続する機器が写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット非対応機器の場合のみ操作できます。

1 を押す

2 「写真・音楽」を選び、 を押す

3 「写真お引越シダビング」を選び、 を押す

4 接続する機器を選び、 を押す

5 「ダビングする」を選び、 を押す
(→ 右記「ダビングを実行する」)

お知らせ

- ダビング元の写真は削除されません。

ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。

ダビングの進行状況を表示するには
テレビ視聴中に [画面表示] を押す

ダビングを中止するには

- [ホーム] を押す
- (録画番組の場合) 「ダビング・保存」→ 「番組お引越シダビング」を選び、[決定] を押す
(写真の場合) 「写真・音楽」→ 「写真お引越シダビング」を選び [決定] を押す
- [黄] を押す

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラ*

HDD内蔵CATVデジタル
セットトップボックス

スカパー! プレミアムサービス
対応チューナー



ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機の HDD にダビングすることができます。
※USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

- 対応機器については、当社ホームページ (→9) をご覧ください。
- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
お部屋ジャンプリングの設定を変更する場合 (→146)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオカメラから取り込む

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む

USB

ディスク

当社製デジタルハイビジョン
ビデオカメラAVCHD、MP4、
MP4(4K動画)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 対応機器については、当社ホームページ (→9) をご覧ください。

- 「1080/60p」* の表示がある番組は

HDD | **BD-RE** | **BD-R** にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p(1920×1080/60 プログレッシブ)記録の番組

- MP4の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。

取り込む動画

AVCHD



再生方法

写真／動画一覧
および
録画一覧*¹
(→73、107)

動画の編集*³

MP4



写真／
動画一覧*²
のみ
(→107)

※1 録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- AVCHD (1080/60p) : 「AVCHD PRO」
- 写真／動画一覧で編集した MP4*³ : 「AVC VIDEO」

※2 取り込んだ MP4 が本機で再生できない場合があります。

※3 「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式が H.264、解像度が 1920×1080 以下の MP4 動画のみ

🔍 お知らせ

- DVD に取り込んだ AVCHD 動画を他の AVCREC 非対応機器で再生したい場合

・一度 HDD に取り込んだあと、DVD 画質 (XP、SP、LP、FR モード) でディスクにダビングしてください。

- ファイル取り込みした MP4 を他の機器で再生するには

① 「動画の編集」(→108) で動画を変換する

② ディスクにダビングする

・「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式が H.264、解像度が 1920 × 1080 以下の MP4 動画のみです。



戻る

次のページに続く

ビデオカメラから取り込む (続き)

かんたん取り込み

USB

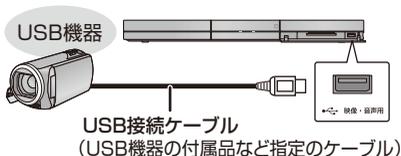
USB 機器に記録された写真や撮影ビデオを一括で取り込むことができます。

取り込み方向：

USB → HDD

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する (→35)



●お知らせ

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、USB 機器は1台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除します。
- AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」(→134)を行うと、削除されます。
- AVCHD** 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(→104)を行ってください。
- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

2 USB 機器側で設定が必要な場合：
USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ①【ホーム】を押す
- ②「ディスク・USB」を選び、【▼】を押す
- ③「USB 機器」を選び、【決定】を押す

3 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、

決定を押す

4 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取り込みを設定する」を選び、決定を押す

ビデオカメラから取り込む (続き)

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [ホーム] を押す
- ② 「ディスク・USB」 を選び、[▼] を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」 を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」 を選び、決定 を押す

3 動画を選び、青 を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。
- ☒ 選択を取り消すには
動画を選び、[青] を押す

4 選び終わったあと、決定 を押す

5 「取り込み開始」 を選び、決定 を押す

📢お知らせ

- 1つの動画に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画として表示されます(ただし99シーンを超えるときは分割します)。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ディスクから[HDD]への取り込み中は、予約録画は実行できません。

ネットワークを使って取り込む (コピー)

ネットワーク接続

HDD

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD



本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ (AVCHD) と写真を本機の HDD に取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合(→146)

カメラ側でコピー操作を行う

- 「DIGA コピー」の機能については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

📢お知らせ

- 本機が以下の場合は取り込みません。
 - ・無線 LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリnk機能など、ネットワークを利用する機能を使用中等

写真や動画を取り込む

本機では、写真や動画（AVCHD、MP4）の取り込みや再生をすることができます。

写真について

HDD **BD-RE** **BD-R** **R** **RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生します。
 - ・「出力解像度」(→135)を「オート」に設定してください。

動画（AVCHD、MP4）について

デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- ビデオカメラなどから HDD に取り込んだ動画 (→102)
- ディスクやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに記録された AVCHD
- BD-RE、BD-R、写真・音楽用フォーマットやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに記録された MP4
- 再生できる MP4 動画については(→170「MP4 動画」)

写真や動画を取り込む

写真・撮影ビデオかんたん取込

USB → **HDD**

USB 機器を接続 (→35) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)



下記の手順 4 に進みます。

1 を押す

2 「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 「USB 機器」を選び、 を押す

4 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、 を押す

5 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取り込みを設定する」を選び、 を押す

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- 既に取り込んだ写真や動画は、重複して取り込めません。(内蔵 HDD に記録された写真や動画のディレクトリ名／ファイル名／ファイル更新日／ファイルサイズがすべて一致するファイルは取り込めません)

写真／動画一覧から取り込む

BD-RE **BD-R** **R** **RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW → **HDD**

1 を押す

2 「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 ディスク・**USB**・**USB-HDD** : 「ブルーレイ (BD) / DVD」、**USB 機器** または **USB-HDD** を選び、 を押す

4 「写真／動画を見る」を選び、 を押す

5 写真／動画一覧から写真や動画を選び、 を押す

- 選んだ写真や動画には が表示されます。操作を繰り返します。

6 選び終わったあと、 を押す

7 「取り込み開始」を選び、 を押す

写真や動画を再生する

- 1 **HDD** :
写真 を押す (→ 手順 5 へ)
 ディスク・**USB**・**USB-HDD** :
ホーム を押す
- 2 ディスク・**USB**・**USB-HDD** :
「ディスク・USB」 を選び、 を押す
- 3 ディスク・**USB**・**USB-HDD** :
「ブルーレイ (BD) / DVD」、**「USB 機器」**
 または **「USB-HDD」** を選び、 を押す
- 4 **「写真 / 動画を見る」** または **「撮影ビデオ (AVCHD) を見る」** を選び、 を押す
- 5 再生する写真または動画を選び、 を押す
 例) **HDD**



HDD 下記から表示したい項目を選んでください。

-  : すべて (日付順)
-  : お気に入り (→109)
-  : 作成したアルバム (→109)
-  : 登録したスマートフォン (→111)

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」で本機を機器登録すると、自動で項目が追加されます。(スマートフォンから受信した写真や動画はこの項目に保存されます)「ニックネームの変更」(→108)で好みの名称に変更することができます。

- メディアから画面を表示させた場合は、フォルダ表示の画面になります。
- AVCHD** トップメニューもしくは撮影ビデオ (AVCHD) 一覧が表示されます。

 動画再生中の操作については (→80)

 再生中の写真を回転させるには

- ①再生中に [サブメニュー] を押す
- ②「右 90° 回転」または「左 90° 回転」を選び、
[決定] を押す

 再生を止めるには

- 写真 / 動画一覧に戻るには、**[■ 停止]** を押す
- 静止画にするには、**[■ 一時停止]** を押す

 写真や動画の書き出しや取り込みをするには
[緑] を押す (→106、110)

 写真や動画をお気に入り登録 / 解除するには
[緑] を押す

 写真や動画を消去するには
消去したい写真や動画を選んで、[黄] を押す

お知らせ

- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- ビットレートが100 Mbpsを超えるMP4動画は正しく再生できない場合があります。
- メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD に写真や動画を取り込むと安定して再生することができる場合があります。
- 写真 / 動画一覧から「AVCHD 3D」を再生すると 2D で再生します。
- 本機では 3D 写真は 2D で表示します。
- 本機では写真の編集はできません。

写真や動画を再生する (続き)

写真／動画一覧のいろいろな機能

写真／動画一覧表示中に操作します。

1 写真、動画または日付などの項目を選び、


 を押す
2 項目を選び、**決定**を押す

内容確認	写真や動画の情報を表示します。
情報を更新	選択したフォルダ内に記録された写真／動画の表示内容を更新できます。
書き出し	写真や動画をディスクなどに書き出します。
取り込み	写真や動画を HDD に取り込みます。
消去	写真や動画、アルバムを消去します。
アルバムへの追加	選択した写真や動画をアルバムへ追加します。
アルバム名の変更	選択したアルバムの名前を変更します。
動画の編集	選択した動画を編集可能な形式に変換します。 ●録画一覧で編集ができるようになります。(→86) ●MP4 (4K) は変換できません。
ニックネームの変更	選択したスマートフォンの登録名を変更します。
スマホ登録の解除	選択したスマートフォンの登録を解除します。
パスワード入力	プライベートモードで送信された写真や動画を一時的に表示させることができます。 ●どこでもディーガで設定したパスワードを入力してください。
連続再生の設定	写真や動画の連続再生に関する設定を変更します。 「写真の表示間隔」「表示効果」「リピート設定」「メッセージ表示」の設定ができます。
写真／動画切換	「写真と動画を表示」「写真のみ表示」「動画のみ表示」に切り換えることができます。
コンテンツ表示の設定	ネットワーク経由で取り込んだ写真や動画を「すべて (日付順)」に表示するかどうかを設定します。

あとから取り込みの設定取り消し	あとから取り込みの設定を取り消します。
撮影時刻の表示設定	撮影時刻を表示するかどうかを設定します。
フォルダ表示へ	フォルダ表示に切り換えます。
日付順表示へ	日付順表示に切り換えます。

写真や動画を再生する (続き)

写真や動画をお気に入りに登録する

写真や動画をお気に入りに登録すると、「お気に入り」にまとめて表示することができます。

写真 / 動画一覧表示中に

写真や動画を選び、**緑** を押す

- 選んだ写真や動画には **♡** が表示されます。

解除 お気に入りを解除するには

写真や動画を選び、**緑** を押す

- 選んだ写真や動画からは、**♡** が消えます。

アルバムを作成する

写真 / 動画一覧ではお気に入りの写真や動画を集めてアルバムを作成することができます。

アルバムを新規に作成する

写真 / 動画一覧表示中に

1 「アルバムを作成する」を選び、**決定** を押す



「アルバムを作成する」

2 アルバム名を入力する

解除 文字入力 (→130)

写真や動画をアルバムに追加する

写真 / 動画一覧表示中に

1 写真や動画を選び、**青** を押す

- **✔** が表示されます。操作を繰り返します。

解除 選択を取り消すには

写真や動画を選び、**青** を押す

2 **S** を押す

3 「アルバムへの追加」を選び、**決定** を押す

4 追加したいアルバムを選び、**決定** を押す

アルバムの編集や消去

作成したアルバムの削除や名前の変更をすることができます。

- 「消去」 (→108)
- 「アルバム名の変更」 (→108)

写真や動画を書き出す

写真や動画を書き出す

写真を書き出す場合：

HDD → **BD-RE** | **BD-R** | **USB**[※]
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
 SeeQVault フォーマット)

動画を書き出す場合：

HDD → **BD-RE** | **BD-R** | **USB**[※]
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
 SeeQVault フォーマット)

※ USB 機器は USB メモリーのみ

1 **写真** を押す

2 写真／動画一覧から写真または動画を選び、
青 を押す

- 選んだ写真や動画には が表示されます。
 操作を繰り返します。

3 選び終わったあと、**赤** を押す

4 書き出し先を選び、**決定** を押す

5 「書き出し開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 書き出し先にすでに同じ名称のディレクトリおよびファイルが存在する場合は、そのファイルは書き出されません。

スマートフォンの写真や動画を本機で受信する

本機をインターネットに接続すると、スマートフォンの写真や動画を本機で受信することができるようになります。

■「スマホを登録する」を利用するには

- ネットワークの接続と設定をする (→20、26)
- デイモラサービスで機器登録をする (→28)
- 「宅外リモート接続機能」(→136)を「入」にする

スマートフォンから写真や動画を送信するには、スマートフォンでスマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」のインストールと本機の登録が必要です。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

4 画面の表示に従って、スマートフォンを登録する

スマートフォンで以下の操作を行ってください。

- ① スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」をインストールする
- ② アプリで登録番号を入力する
 - 離れた場所に住む人のスマートフォンから写真や動画を受け取りたい場合は、送信する相手に上記の手順をお伝えください。
 - 登録番号を誤って入力すると、スマートフォンから送信した写真や動画が意図しない相手へ送信されてしまう場合がありますので、登録番号入力の際はご注意ください。

スマートフォンを登録する

1 写真を押す

写真を押す

2 「スマホを登録する」を選び、決定を押す



「スマホを登録する」

3 「はじめる」を選び、決定を押す

写真や動画を受信する

登録した離れた場所に住む人のスマートフォンから送信された写真や動画を本機が受信すると、新着コンテンツをお知らせする画面を数秒間表示します。



受信した写真や動画は、写真/動画一覧で確認することができます。

プライベートモードの写真や動画を表示する

どこでもディーガのプライベートモードで送信された写真や動画は、写真/動画一覧画面やDIGA Drive機能で表示されません。どこでもディーガで設定したパスワードを入力すると、一時的に表示制限が解除され、写真や動画が表示されるようになります。プライベートモードで送られてきた写真や動画は、「」マークが表示されます。

●お知らせ

- 「機器パスワード初期化」(→136)を行うとスマートフォンからの写真や動画を本機で受信できません。その場合は一度ディーラの機器登録の解除(→137)を行ったあと、「スマホを登録する」を利用するには、[こちら](#)をご確認ください。(→左記)

音楽 CD を再生する / HDD に取り込む

CD

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD を入れる

- 本機をネットワークに接続すると Gracenote サーバーから最新のタイトル情報を自動で取得します。(ネットワークに接続していない場合は、本機内蔵の Gracenote データベースからタイトルを取得します)

2 「音楽を再生する」を選び、**決定**を押す

音楽CDの1曲目から自動的に再生が始まります。

表示マークについて (→114)



🔍 別の曲を再生するには

数字ボタン (1 ~ 10) を押して曲を選ぶ

例 5 曲目 : [5] → [決定]

10 曲目 : [1] → [10]

12 曲目 : [1] → [2]

🔍 音楽を停止するには

[■ 停止] を押す

🔍 テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには

[ピエラリンク対応のテレビ (ピエラ) とアンプ

(スピーカー) を接続している場合のみ表示]

[青] を押す

🔍 シャッフルの設定をするには

[赤] を押す

🔍 リピートの設定をするには

[緑] を押す

🔍 ハイレゾリマスターの設定をするには

[黄] を押す

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



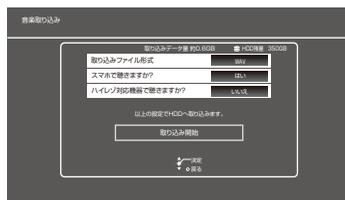
- 以下の「再生設定」を行うことができます。
音楽一覧表示中に、[サブメニュー]を押して、「再生設定」を選び、[決定]を押す
・「基本設定」(→83)の「リピート」「シャッフル」
・「音質設定」(→85)の「音質効果」「自動音量調整」

HDD に取り込む

1 音楽 CD を入れる

2 「HDD へ取り込む」を選び、**決定**を押す

3 項目を設定する



- ハイレゾで聴く場合は、「ハイレゾ対応機器で聴きますか?」を選び、[データ①]を押して「ハイレゾで聴くための詳細設定」を行ってください。
- 取り込んだ曲をスマートフォンで再生する場合は、スマートフォンに「どこでもディーガ」をインストールしてください。(→4)

4 「取り込み開始」を選び、**決定**を押す

🔍 お知らせ

- HDDに取り込んだ曲は DIGA Drive 領域に保存されます。

タイトルの自動取得について

- タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」として表示されます。
- 情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することがあります。

録音について

- CDの全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピーコントロールCDなど、CD規格外ディスクの再生および録音は保証していません。
- CDからHDDへのデジタル録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。著作権保護のため、この制限があるCDからHDDへのデジタル録音はできません。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す

音楽ファイルを再生する

HDD

【USB-HDD】（写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット）

1 HDD :

音楽 を押す
（→手順5へ）

USB-HDD :

ホーム を押す

2 USB-HDD :

「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 USB-HDD :

「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、

 を押す

4 USB-HDD :

「音楽を聴く / 音楽を取り込む」を選び、

 を押す

5 曲を音楽一覧から選び、 を押す

●【HDD】【▶】（リモコンの右ボタン）を押すと「次の曲」の内容を表示することができます。

「次の曲」には「音楽一覧」から選んだ曲や再生した曲が登録されます。またこれから再生される曲の順番を確認することができます。

表示マークについて (→114)



🔊別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、【決定】を押す

🔊音楽を停止するには
【■ 停止】を押す

🔊テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには
【青】を押す
（ピエラリンク対応のテレビ（ピエラ）とアンブ（スピーカー）を接続している場合のみ表示）

🔊シャッフルの設定をするには
【赤】を押す

🔊リピートの設定をするには
【緑】を押す

🔊ハイレゾリマスターの設定をするには
【黄】を押す

🔊曲もしくはアルバムを「次の曲」のリストに追加するには
【ワンタッチ予約 録画 ●】を押す

🔊お知らせ

●ファイルによってはアルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報が登録できない場合があります。その場合は、フォルダから該当の曲を選んで再生してください。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

いろいろな操作や設定

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の項目の設定を行うことができます。

① 曲やフォルダ、プレイリストなどを選び、



② 項目を選び、設定する

- 設定できる項目は、音楽CDや音楽ファイルによって異なります。

次に再生	選択した曲を「次の曲」で、現在再生している曲の次に再生するよう設定します。
あとで再生	選択した曲を「次の曲」のリストに追加します。
「次の曲」から除外	選択した曲を「次の曲」から除外します。
プレイリストに追加	選択した曲やアルバムをプレイリストに追加します。
プレイリストの名前を変更	プレイリストの名前を編集します。
曲の情報編集	曲の情報を編集します。
消去	選択したアルバム、曲、フォルダ、プレイリストを削除します。
情報を更新	アルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報を更新します。
状態を更新	アルバム、曲、フォルダを消去した場合に、プレイリストの情報を更新します。
メディアへ書き出す	曲をHDDからディスクや写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに書き出します。
HDDに取り込む	曲をHDDに取り込みます。(→115)
スマホ再生用ファイル(AAC)作成	選択したアルバム、曲をスマートフォンで再生できるようにします。 ●音楽CDから取り込んだ曲のみ可能
ハイレゾリマスターファイル作成	選択したアルバム、曲をハイレゾ音源で再生できるようにします。 ●音楽CDから取り込んだ曲のみ可能
再生設定	再生設定を表示します。(→83)
テレビのみ電源 [切]	ピエラリンク対応のテレビ(ピエラ)とアンプ(スピーカー)を接続している場合、テレビの電源を切った状態でアンプから音楽の再生を続けることができます。

表示マークについて

	シャッフル [切]
	シャッフル [入]
	リピート [切]
	リピート [1 曲]
	リピート [全曲]
	音質効果 [切]
	ナイトサラウンド
	ハイレゾリマスター [弱]
	ハイレゾリマスター [中]
	ハイレゾリマスター [強]

※1 ハイレゾ対応機器接続時にハイレゾ音源を出力した場合に表示

※2 ハイレゾ対応機器からの音声出力時に表示

📢お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→171)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

音楽ファイルを取り込む / 書き出す

- **BD-RE** **BD-R** **USB***1 **USB-HDD***2 → **HDD**
- **HDD** → **BD-RE** **BD-R** **USB***1 **USB-HDD***2

※1 USB 機器は USB メモリーのみ

※2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD

音楽ファイルを本機 HDD に取り込んだり、HDD からディスクなどに書き出したりすることができます。

- ディスクや USB-HDD に書き出す場合はバックアップ用としてお使いください。
- HDD に取り込んだ音楽ファイルは DIGA Drive 領域に保存されます。

音楽ファイルを取り込む

- 1 **ホーム** を押す
- 2 「ディスク・USB」を選び、**決定** を押す
- 3 **BD-RE** **BD-R** : 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**決定** を押す
USB、**USB-HDD** (写真・音楽用フォーマット) : 「USB 機器」を選び、**決定** を押す
USB-HDD (SeeQVault フォーマット) : 「USB-HDD」を選び、**決定** を押す
- 4 「音楽を聴く / 音楽を取り込む」を選び、**決定** を押す
- 5 フォルダや音楽一覧から曲を選び、**サブメニュー** を押す
- 6 「HDD に取り込む」を選び、**決定** を押す
- 7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

音楽ファイルを書き出す

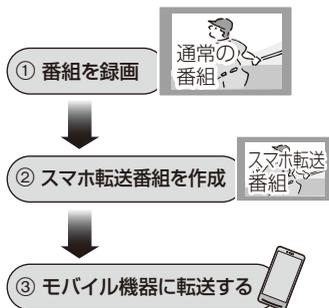
- 1 **音楽** を押す
- 2 「フォルダ」を選び、**決定** を押す
- 3 曲を選び、**サブメニュー** を押す
- 4 「メディアへ書き出す」を選び、**決定** を押す
- 5 書き出し先を選び、**決定** を押す



- 6 「書き出し開始」を選び、**決定** を押す

録画した番組をモバイル機器に転送する

モバイル機器（スマートフォンなど）に転送するには、HDD に録画した番組からスマホ転送番組を作成する必要があります。



スマートフォンを使って外で番組視聴するには外出先から、番組の視聴や録画予約などができます。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については当社ホームページをご覧ください。(→4)

画質について

再生できる画質は転送する機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。

選択できる画質

3.5 Mbps(720p)
1.5 Mbps(720p)
650 kbps(360p)
400 kbps(180p)
150 kbps(180p)

●お知らせ

●スマホ転送番組について

- ・通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、スマホ転送番組は消去されます。
- ・本機では、スマホ転送番組の再生・編集はできません。

●多重音声の記録について

- 多重音声の番組からスマホ転送番組を作成する場合、以下のようになります。
- ・マルチ音声の番組
 - 「信号切換」の「音声」(→83) で設定した音声 1 つ
 - 二重音声の番組
 - 「ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定」(→133) の設定に従う

スマホ転送番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

スマホ転送番組の設定 HDD

番組の予約録画時にスマホ転送番組を作成する場合、以下の画面でスマホ転送番組の設定を行ってください。

- 番組予約 (→47 手順 5)
- 詳細設定 (→48 手順 1)
- 時間指定予約 (→56 手順 3)

●お知らせ

- スマホ転送番組は、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
- 作成されるスマホ転送番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組をモバイル機器に転送する (続き)

録画した番組から作成する

スマホ転送番組の作成 **HDD**

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

- ①  を押す
- ② 作成する番組を選び、 を押す
- ③ 「スマホ転送番組の作成」を選び、 を押す
- ④ 「画質」を選び、設定する
- ⑤ 「開始方法」を選び、設定する

● すぐに：

下記手順⑦の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

● 電源 [切] 後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

- ⑥ 「作成する」を選び、 を押す
- ⑦ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、 を押す

 作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

 を押す

 作成の設定内容を変更・取り消しするには
再び手順①～③の操作をし、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

 作成が終了しているか確認するには



スマホ転送番組の消去 (→118) で「作成待ち」が表示されている場合、スマホ転送番組の作成は終了していません。

● お知らせ

- ダビングできない番組の場合、スマホ転送番組は作成できません。
- HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、スマホ転送番組は作成できません。
- スマホ転送番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・ 二重音声：「ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定」(→133)
 - ・ マルチ音声：「信号切換」の「音声」(→83)
 - ・ チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
 - ・ 字幕：「信号切換」の「字幕」(→83)
(「電源 [切] 後」作成する場合、電源 [切] 時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

録画した番組をモバイル機器に転送する (続き)

ネットワーク経由で転送する

スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」で持ち出して視聴する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
 - お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合(→146)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、ご使用になるモバイル機器のアプリなどをご確認ください。

スマホ転送番組の確認と消去

- 1 ホーム を押す
- 2 「設定・困ったときは」を選び、設定 を押す
- 3 「スマホ転送番組の消去」を選び、決定 を押す
- 4 番組を選び、サブメニュー を押す



- 5 項目を選び、決定 を押す (→ 下記)

スマホ転送番組消去	スマホ転送番組を消去します。
番組内容	番組の情報を確認します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(→134)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているので、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合やスマホ転送番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- [1]表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組・スマホ転送番組はHDDから消去されます。



ダビングの残り可能回数は同じです

お知らせ

- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送するスマホ転送番組の合計より少し大きくなります。
- 通常の番組を再生中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(→80「続き再生メモリ機能」)とチャプターマーク(→90)を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(→86)されている「1回だけ録画可能」のスマホ転送番組は、転送できません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは本機と HDMI ケーブル (別売) を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- すべての操作を保証するものではありません。

■ 設定

- ①「ビエラリンク制御」(→135) を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)
- ②接続した機器側 (テレビなど) で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する
- ③すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

● お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器とのすべての動作を保証するものではありません。
- 本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

テレビ (ビエラ) 側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■ 録画モード・録画先

- 録画 (「見ている番組を録画」など) :
 - ・本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
- 録画予約 / 番組キープ :
 - ・DR モードで HDD に録画

■ 録画予約の登録の確認

- 本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先 (ディーガなど) が正しいか確認してください。

■ 探して毎回予約の取り消し

- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■ 録画ができない場合

- 「見ている番組を録画」では同時録画はできません。
- 本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

本機のリモコン : 本機のリモコンで操作できます。

テレビのリモコン : テレビのリモコンで操作できます。

Ver.○以降 : 接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク (HDMI) に対応している場合に操作できます。
(テレビによっては、対応していない機能もあります)

ビエラリンク (HDMI) を使う (続き)

入力自動切り換え / 電源オン連動

- テレビの電源が待機状態のときのみ

本機のリモコン

Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

▶ 再生	[予約確認]	[検索]*
[録画一覧]	[ホーム]	[ネット機能]*
[新番組]	[番組表]	[写真]
[音楽]		

※ 本機の電源「切」時は働きません。

電源オフ連動

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.1以降

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

- ダビング、ファイナライズ、消去、書き出し、取り込み、**[ワンタッチ予約録画 ●]**を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

テレビのリモコン

Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

- 本機の再生中に、テレビのリモコンの**[サブメニュー]**を押すと、右記の画面で本機を操作できます。



テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.2以降

テレビとアンプと接続した場合、テレビの電源を切った状態で音楽再生を続けることができます。

音楽再生中に、**青**を押す

- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

番組ぴったりサウンド (オートサウンド連携)

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.3以降

テレビとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

- 「オートサウンド連携」(➡135)を「入」にする

番組キープ

テレビのリモコン

Ver.3以降

視聴中の番組を HDD に一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。

(番組キープ終了後は削除されます)

お知らせ

- チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
 - 番組キープと番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - 番組キープが8時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ビエラリンク (HDMI) Ver.5 のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。

ECO スタンバイ

テレビのリモコン

Ver.4以降

リモコンを使ってテレビの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 電源「切」時に電源ランプ (赤) は消灯します。

設定を有効にするには

- 「ECO スタンバイ」(➡135)を「入」にする

インターネットサービスを利用する

本機では、インターネットを利用してディモラなどのサービスを楽しむことができます。

- 以下の場合は利用できません。また、サービス利用中に以下の状態になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
 - ・ 録画中
 - ・ ダビング中
- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。制限機能を使用する場合は、「制限項目設定」(→138)の「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

- インターネットサービスを利用するには、設定した暗証番号の入力が必要になります。

お部屋ジャンプリnkを使う

お部屋ジャンプリnk機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。
- 当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

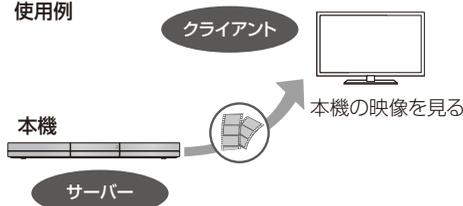
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組・写真・音楽の再生や USB-HDD に録画した番組の再生ができます。また、本機が受信する放送の視聴もできます。

- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
 - お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合(→146)
- 「お部屋ジャンプリnk/スカパー! Link (録画) 設定」の「サーバーモード」(→137)の設定によって、クライアント側で再生できるコンテンツは異なります。

使用例



録画番組や AVCHD の再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→137)を「モード 1」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

録画番組・AVCHD・動画・写真や音楽を再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→137)を「モード 2」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。

「ビデオを見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- 取り込んだ MP4 は再生できません。(→102)

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定 (→142) で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 本機が番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
- スカパー! プレミアムサービスのチャンネルを視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

映像が途切れたり、停止する場合

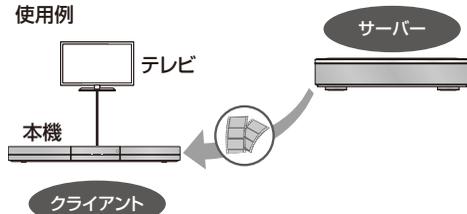
- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。
「通信 / 映像品質の設定」(→146) を「オート」または「5 倍録画質」や「10 倍録画質」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかつたり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

お部屋ジャンプリnkを使う (続き)

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からお部屋ジャンプリnk対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする (→20、26)
- 接続した機器側で、本機を登録する (当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリnk」または「ピエラリnk (LAN)」で登録する)
(本機の手順を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～4の操作を行ってください)

1 ホームを押す

- [ネット機能] を押して、手順4のお部屋ジャンプリnkサーバー一覧を表示することもできます。

2 「見る」を選び、を押す

3 「お部屋ジャンプリnk」を選び、を押す

4 接続する機器を選び、を押す

例)



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- お部屋ジャンプリnk対応ディーガの番組を再生する場合、[音声] または [字幕] を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」を行うことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリnkで接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→72)
- 再生機器によっては、早送りなど再生中の操作が正しく働かない場合があります。

よくあるご質問

お部屋ジャンプリnkがつかない

- お部屋ジャンプリnkを使うためにはネットワーク接続が必要です。ネットワーク設定を行い、画面の案内に従って操作してください。(→26)

パソコンや他社機器とお部屋ジャンプリnkはできますか

- DLNA に対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。パソコンはデジタル放送番組を再生するための専用ソフトが必要です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

録画中でもお部屋ジャンプリnkはできますか

- 同時動作の制限によりお部屋ジャンプリnkができない場合があります。(→155)

お部屋ジャンプリnk再生画面が途中で止まったり、動いたりする

- 電波状態によっては安定した再生ができない場合があります。「通信 / 映像品質の設定」(→146) を「オート」または「5 倍録画質」や「10 倍録画質」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。

DIGA Drive 機能を使う

HDD

DIGA Drive 機能を利用すると、お使いのパソコンのブラウザで以下の操作ができます。

- パソコンから本機に写真 / 動画、音楽をアップロードする。
- 本機に取り込んだ写真 / 動画、音楽をパソコンにダウンロードする。
- DIGA Drive 機能に関する情報は、下記サポートサイトをご覧ください。

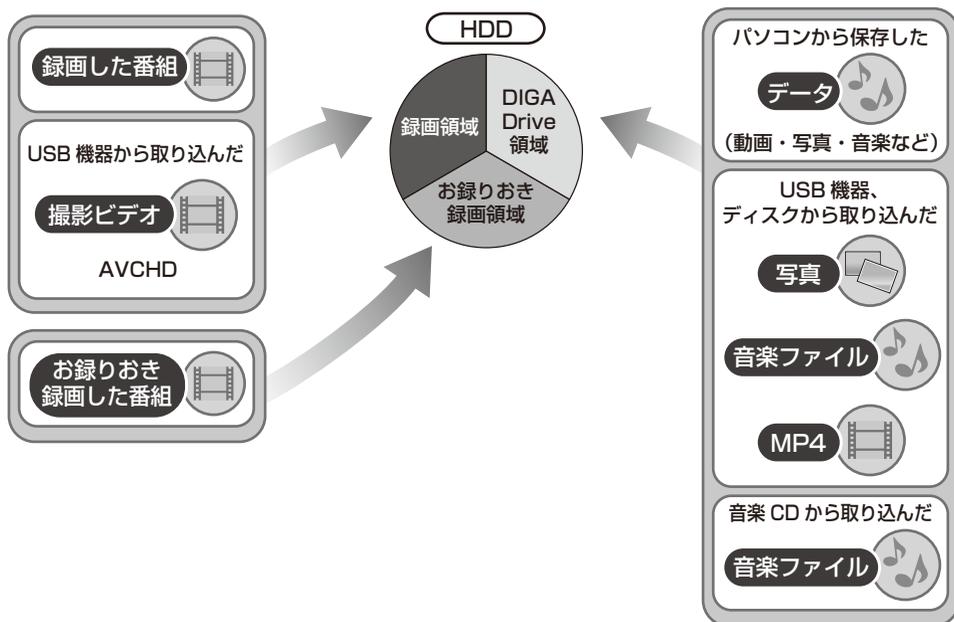
<https://panasonic.jp/support/av/diga132/>

DIGA Drive 機能を利用するには

- ネットワーク接続と設定をする(→20,26)
- 「DIGA Drive 機能」(→137)を「入」にする
「入」に設定時には、ユーザー ID とパスワードが表示されます。
ユーザー ID とパスワードはあとから変更することができます。(→137)

HDD の領域について

本機の HDD には 3 つの領域があり、保存する領域ごとに動画や写真の再生方法などが異なります。



DIGA Drive 機能を使う (続き)

各領域の特徴について

	録画領域	お録りおき録画領域	DIGA Drive 領域
記録できるコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画番組 ● 撮影ビデオ (AVCHD) 	<ul style="list-style-type: none"> ● お録りおき番組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真 ● MP4 ● データ (動画・写真・音楽など)
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画 ● ダビング ● 動画の取り込み (→102) 	<ul style="list-style-type: none"> ● お録りおき録画 (→62) 	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンから保存 ● 動画の取り込み (→106) ● 音楽ファイルの取り込み (→115) ● 音楽 CD の取り込み (→112) ● 写真の取り込み (→106) ● スマートフォンで撮影した写真・動画を受信 (→111)
本機での再生方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 「録画一覧」 (→73) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「録画一覧」 (→73) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「写真／動画を見る」 (→107) ● 「音楽を聴く／音楽を取り込む」 (→113)
パソコンからの表示	×	×	○
ディスクへの書き出し	○ (→93、95)	○ (→77)	○ (→110、115)
USB-HDD への書き出し	○*1 (→95)	○ (→77)	○*2 (→110、115)
他の DIGA Drive 機能対応機器での再生	×	×	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (→137) が「モード1」のとき)	○	○	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (→137) が「モード2」のとき)	○	○	○

※1 撮影ビデオ (AVCHD) は SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

※2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

DIGA Drive 機能を使う (続き)

パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

1 ブラウザを起動する

2 アドレスを入力する

- アクセス用のアドレスは、「アクセス用 URL 表示/ユーザー ID 表示」(→137) で確認してください。

3 ユーザー名とパスワードを入力する

- ユーザー名とパスワードは以下のように入力してください。

ユーザー名：

「アクセス用 URL 表示/ユーザー ID 表示」(→137) に表示されるユーザー ID

パスワード：

「DIGA Drive 機能」(→137) を「入」設定時に表示されるパスワード

パスワードを忘れた場合は、「パスワード変更」(→137) で再設定してください。

4 本機にパソコンのデータを保存する

ブラウザ上での操作方法は、ブラウザ右上にあるメニューの「ヘルプ」をご確認ください。



お知らせ

- DIGA Drive 領域に保存できるフォルダとファイルの合計は、60000 までです。
- 本機が自動的に作成したフォルダ内のデータを編集すると正しく表示されない場合や本機で再生できない場合があります。

保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生します。

- ファイルによっては再生できないものもあります。

「写真や動画を再生する」(→107) をご覧ください。

保存した音楽ファイルを本機で再生する

「音楽ファイルを再生する」(→113) をご覧ください。

ミュージックサーバー機能を利用する

ミュージックサーバー機能は、本機の HDD の DIGA Drive 領域に保存した音楽ファイルを、本機と宅内ネットワーク接続した DLNA 対応のオーディオ機器で再生できる機能です。

- ネットワーク接続したパソコンから本機の HDD の DIGA Drive 領域に音楽ファイルをコピーしてください。(→左記)
- オーディオ機器の再生方法は、再生する機器の説明書をご覧ください。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

BD-RE BD-R R RW

新品または他の機器で使っていたディスク



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。



フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

- **ディスクの記録方式とフォーマットについて**
ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→30）

1 ホーム を押す

2 「ディスク・USB」を選び、 を押す

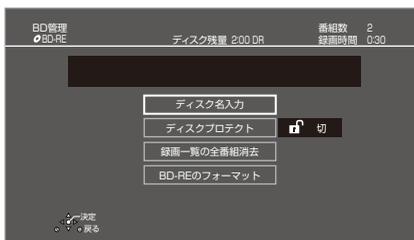
3 「ブルーレイ（BD）／DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の[R]を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順6へ）

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

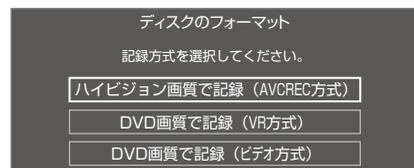
例) BD-RE



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) R



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
- [R] 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→128)を行うと記録方式を変更できません。
- [RW] 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- [HDD] フォーマットは「HDDのフォーマット」(→134)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

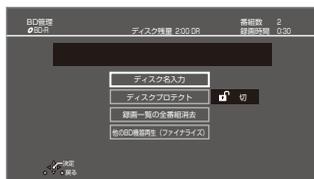
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE | BD-R | -R | -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

- 1  を押す
- 2 「ディスク・USB」を選び、 を押す
- 3 「ブルーレイ(BD) / DVD」を選び、 を押す
- 4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、 を押す
- 5 操作したい項目を選んで、 を押す (→ 下記)

例) **BD-R**



ディスク名入力

BD-RE | BD-R | -R | -RW

文字入力については (→130)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V | -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



ディスクプロテクト

BD-RE | BD-R | -R AVCREC | -R VR | -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、 を押す

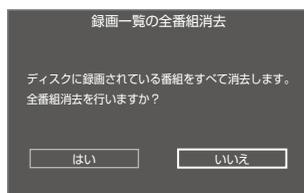
プロテクト設定すると  入 が表示



録画一覧の全番組消去

BD-RE | BD-R | -R AVCREC | -R VR | -RW VR

例) **BD-RE**



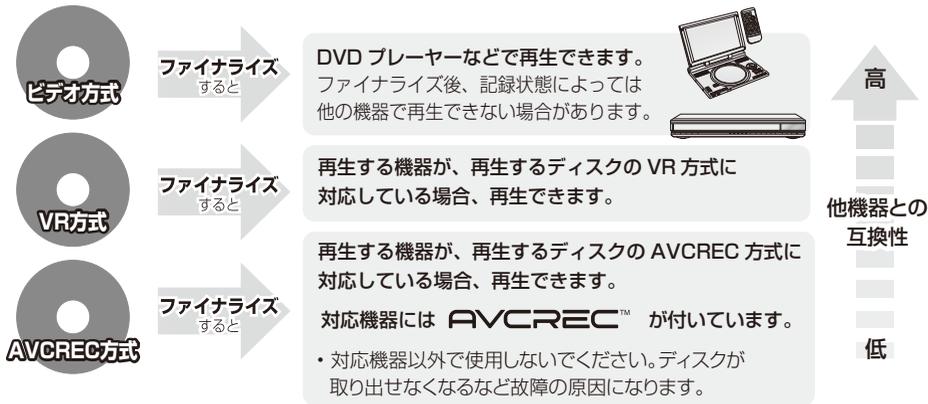
- 1 「はい」を選び、 を押す
- 2 「実行」を選び、 を押す

お知らせ

- **BD-RE** | **BD-R** 写真は消去されません。
- **BD-R** | **-R AVCREC** | **-R VR** 消去しても残量は増えませんが、

ファイナライズ

BD-RE ファイナライズは不要です。



128 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

お好みの背景を選び、**決定** を押す



● トップメニュー内に表示される画像 (サムネイル) は変更できます。(→88 「サムネイル変更」)

ファーストプレイ選択

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
 タイトル1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生 (ファイナライズ) 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)

-R -RW BD-R

① 「はい」を選び、**決定** を押す

② 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW V** フォーマット (→127) すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW VR** 「ファイナライズ解除」(→ 下記) を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようになります。

① 「はい」を選び、**決定** を押す

② 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



入力できる文字の種類

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ
 ●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、**決定**を押す
 ●この手順を繰り返し、文字を入力します。
 ●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
 ●文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで**決定**を押すと、その文字が入力されます。

3 入力が終わったら、**一時停止**を押す

4 「はい」を選び、**決定**を押す

数字ボタン [1] ~ [9]、[11] でも文字を入力できます。
 例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① **[3]** を押す
 - 「さ」行に移動します。
- ② **[3]** を 2 回押し、**決定** を押す
 - 「す」が入力文字表示欄に表示されます。

お知らせ

- ピエリンクで操作した場合は、**[再生]**などのアイコンが表示されないことがあります。その場合は**[▲]****[▼]****[◀]****[▶]** ボタンで機能を選択してください。

ひらがなを確定する

[再生 早送り] を押す

ひらがなを漢字変換する

[再生 早見] を押したあと、変換候補を選び、**決定** を押す

- [戻る]** を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、**決定** を押す
- ② 「登録」を選び、**決定** を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、**決定** を押す
- ② 語句を選び、**決定** を押す

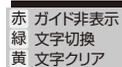
語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、**決定** を押す
- ② 語句を選び、**黄** を押す
- ③ 「消去」を選び、**決定** を押す

リモコンボタン方式で文字入力する

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 ~ 12 で文字を入力する

- ボタンを押すたびに、文字が変わります。
 (例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押し)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押ししてください。

設定を変える

1  を押す2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す3 「設定」を選び、 を押す4 変更したい項目を選び、 を押す5 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

機器設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ

【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の操作が終了してから2時間後または6時間後に電源が切れます。(電源は、録画など本機が動作中は切れません)

リモコン設定 (→143)

リモコンモード

【リモコン1】

リモコンのテレビ操作設定

リモコンモード不一致お知らせ

【入】

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「HDMI出力」(→134)は自動的に「PCM」になります。「切」に戻しても「PCM」のままです

音声ガイド機能

【切】

読み上げ音量

【標準】

読み上げ速度

【標準】

設定を変える (続き)

クイックスタート設定

クイックスタート 【切】
「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- 待機時消費電力は増えます。
- 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は電源以外のボタン操作が数分間できません)
- 「クイックスタート」を「切」に設定すると、以下の設定は自動的に「切」になります。
 - ・「宅外リモート接続機能」(→136)
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」(→137)
 - ・「DIGA Drive 機能」(→137)
 - ・「HDD バックアップ案内のお知らせ設定」(→右記)

「切」にすると、電源「切」時に電源ランプ(赤)は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。

- 「標準」の場合
 - ・ テレビの無信号自動オフ機能が動作しなくなる場合があります。
- 「省エネ」の場合
 - ・ 「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 - ・ 電源「切」時に電源ランプ(赤)は消灯します。

節電待機モード

【モード1】

「節電待機」(→36)で電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

画面表示動作【オート】

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。

お知らせ設定

「入」にすると、電源「入」時に便利なお知らせを表示することができます。

HDD バックアップ案内のお知らせ設定

【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→左記)は自動的に「入」になります。

ディーガの便利なお知らせ設定

【入】

録画一覧や番組表を表示するときにお知らせを受けることができます。

お録りおき予約重複通知設定

【入】

お録りおき予約(→62)で予約重複のお知らせを受けることができます。

電源(赤)ランプ表示

【入】

「切」にすると、電源「切」時に電源ランプ(赤)は消灯します。

認証IDについて

ソフトウェア更新(ネットワーク)

インターネットに接続しているとき、本機のソフトウェアが最新かどうかを確認して、ソフトウェアの更新を行います。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・ 本機の電源を切る
 - ・ 電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【入】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。(更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

診断コード(→161)

設定を変える (続き)

HDD・USB-HDD・再生記録設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定

DVD-Video の視聴制限^{*1} 【8 すべて視聴可】

DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。

設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} 【無制限】

年齢制限がある BD ビデオの視聴可能な年齢を設定できます。

この設定した年齢によって制限対象となる BD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続^{*1} 【有効 (制限付き)】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

音声言語^{*2} 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2} 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2} 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **-R AVCRC**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画 (AVCHD) が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画 (AVCHD) を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

次エピソード自動再生 【入】

(録画一覧のまとめ番組内から番組の再生を開始したときのみ)

「入」にすると、毎週放送されるシリーズ番組の再生が終了すると、自動で次回放送話の番組が引き続き再生されます。

- ※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って【1】～【10】で暗証番号を入力してください。

暗証番号は忘れないでください。

- ※2 「その他****」の場合、*には【1】～【10】で言語番号 (→148) を入力してください。選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ言語を切り換えるものもあります。

記録・ダビング設定

ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声 (二カ国語) 番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **-RV** **-RWV**

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声 (二カ国語) 番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

ムーブバックエラー制御 【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM など自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

動画編集時の変換画質 【高画質モード】

動画の編集 (→108) を行うときの画質を設定します。

再放送の録画 【録画しない】

「おまかせ録画」 (→58) や「カテゴリまとめて予約」 (→60)、「お録りおき予約」 (→62) で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

設定を変える (続き)

HDD 番組の視聴制限*

【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は録画一覧で表示されなくなります。表示するためには視聴制限一時解除 (→74) で暗証番号の入力が必要です。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

録画した番組をすべて消去します。

ユーザ共有フォルダの全消去

DIGA Drive 機能 (→124) でパソコンから本機に保存したファイル、取り込んだ写真、取り込んだ MP4 動画ファイル、音楽 CD から取り込んだ曲をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録 (→33)

USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し (→34)

USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

USB-HDD のフォーマット

写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット

SeeQVault 対応のフォーマット (→34)

USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し (→34)

USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し (→34)

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

* 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ~ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は忘れないでください。

映像・音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

- 音声は Dolby Audio™ (Dolby® Digital、Dolby Digital Plus™、Dolby® TrueHD) のときに有効です。
- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

HDMI 出力

Dolby Audio

【オート】

DTS/DTS-HD

【オート】

AAC

【オート】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→177) をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む **BD-V**)

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入/切を設定します。

- Dolby Atmos® や DTS:X®, AURO-3D® に対応した BD ビデオを楽しむには上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。
 - ・ Dolby Audio : 「オート」
 - ・ DTS/DTS-HD : 「オート」
 - ・ BD ビデオ副音声・操作音 : 「切」

設定を変える (続き)

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「HDMI 出力」(→134) が「オート」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、「ノーマル」で出力されます。
 - ・ **AVCHD** 再生時
 - ・ **BD-V** 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

HDMI 接続・ピエラリンク設定

【 】は買い上げ時の設定です

ピエラリンク設定

ピエラリンク制御

【入】

ピエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

オートサウンド連携

【入】

ピエラリンク (HDMI) Ver. 3 以降に対応したピエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ

【入】

ピエラリンク (HDMI) Ver. 4 以降に対応したピエラと接続時、ピエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ピエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(→132) が「切」のときと同じように動作します。
ピエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

HDMI 接続設定

出力解像度

【オート(※)】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート(※)」を選択してください。

※ 最高解像度を表示します。

24p 出力 **BD-V** **AVCHD**

【切】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記)を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記)を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

カラースペース

【YCbCr (4:4:4)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

Deep Color 出力

【オート】

Deep Color 対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V**

【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

設定を変える (続き)

ネットワーク設定

かんたんネットワーク設定 (→26)

無線通信

【入】

無線機能を「入」「切」します。

「切」を選ぶと、ネットワークに関係する機能は使えなくなります。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

無線ネットワーク検索

WPS (プッシュボタン) 方式

WPS (PIN コード) 方式

手動設定

無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との接続を行います。

IPアドレス / DNS / プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IPアドレス自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP* サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

* サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

【0】

接続テスト

宅外リモート接続設定 (→147)

宅外リモート接続機能

【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→132) と「お部屋ジャンプリンク機能」(→137) は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「DIGA Drive 機能」(→137) は自動的に「切」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

設定を変える (続き)

お部屋ジャンプリンク／スカパー! Link (録画) 設定 (→146)

- お部屋ジャンプリンク機能** 【切】
- 「入」にすると、「クイックスタート」(→132)は自動的に「入」になります。
 - 「切」にすると、「宅外リモート接続機能」(→136)と「DIGA Drive 機能」(→右記)は自動的に「切」になります。

本機の名称

サーバーモード 【モード2】

アクセス許可方法 【自動】

通信／映像品質の設定 【オート】

詳細設定

- 画質を優先する場合は「オリジナル画質」を、通信安定性を優先する場合は「10倍録画質」を選んでください。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

- 家じゅうラベルの表示** 【切】
- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

- 自動更新** 【入】
- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。(更新は1日に1回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ディモラー／使用情報の送信設定

ディモラーの機器登録を解除します。

DIGA Drive 設定

- DIGA Drive 機能** 【切】
- 「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、写真や動画 (MP4)、音楽などのファイルを本機の HDD に保存することができます。
 - 「入」にすると、「クイックスタート」(→132)と「宅外リモート接続機能」(→136)と「お部屋ジャンプリンク機能」(→左記)は自動的に「入」になります。

アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示

- 本機の DIGA Drive にアクセスするための URL とユーザー ID を確認することができます。

ユーザー ID 変更

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのユーザー ID を変更します。

パスワード変更

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを変更します。

DIGA Drive の HDD 使用量確認

- DIGA Drive 領域で使用している HDD の容量を確認します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号が表示されます。

設定を変える (続き)

放送設定

【 】はお買い上げ時の設定です

かんたん設置設定

チャンネル設定などの設置設定をやり直すことができます。(→25)

放送受信設定

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS
CS

チャンネル設定 (→142)

地上デジタル / BS / CS

番組表設定

Gガイド地域設定

「かんたん設置設定」の「チャンネル設定」(→28)を行うと、自動的に設定されます。

Gガイド受信確認

Gガイドの受信スケジュールを確認できます。

通信によるGガイド受信

【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1か月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定(→20、26)が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2025年1月現在、番組情報を取得できる放送局はNHK、スター・チャンネル、WOWOWのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→141)

地上デジタル
アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル(→141)を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力

【入】

本機のBS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

B-CAS カードテスト

NGの場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

【切】

字幕言語

【日本語】

文字スーパー

【切】

文字スーパー言語

【日本語】

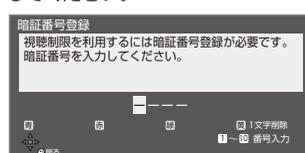
制限項目設定

画面の指示に従って[1]~[10](0はリモコンの[10]で入力できます)を押し、暗証番号を入力する。

- [1]を押すと、入力した数字を取り消します。
- 暗証番号を入力後、各項目の設定を行ってください。

放送内容などの設定 (→42)中など、[サブメ

ニュー]からの操作で「視聴制限一時解除」を選択すると、暗証番号が未設定の場合は下記画面が表示されます。画面の指示に従って、暗証番号を入力してください。



- 上記画面は、10秒間ボタン操作がないと元の画面に戻ります。

設定を変える (続き)

視聴可能年齢 【無制限】
年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示され、視聴するためには暗証番号の入力が必要です。

ブラウザ制限 【しない】
ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

選局対象 【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▼】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約 【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
(→149)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→下記「放送メール」)

メール・情報

放送メール

放送局からのお知らせ(それぞれの B-CAS カードに対し、最大 31 通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の 1 通のみ保存)を確認することができます。

確認したいメールを選び、を押す

 お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができます。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報 (ネットワーク)

ネットワークからダウンロードした日付を確認できます。

B-CAS カード

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

 その他の情報を見るには

- [青] : 本機のソフト情報を表示
- [赤] : データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

お録りおき設定

ドラマやアニメ番組を探して、自動で録画することができます。(→62)

設定リセット

すべての設定リセット

日時設定以外の設定をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や録画・予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!？」(→161)に記載された対応以外には、実行しないでください。

本機の「リモコンモード」はお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンの【決定】と【1】を同時に3秒以上押してから、すべての設定リセットを行ってください。

 お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDD や USB-HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD 設定」や「USB-HDD 設定」(→134) でフォーマットを行ってください。

設定を変える (続き)

部分リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・日時
- ・DVD-Video の視聴制限
- ・BD-Video の視聴可能年齢
- ・HDD 番組の視聴制限
- ・USB-HDD の登録
- ・無線設定
- ・IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定
- ・お部屋ジャンプリンク / スカパー! Link (録画) 設定の本機の名称
- ・家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧

本機の「リモコンモード」はお買い上げ時の設定 (リモコン1) に戻ります。リモコンの [決定] と [1] を同時に3秒以上押ししてから、部分リセットを行ってください。

利用規約 / プライバシーポリシー

本機の利用規約 / プライバシーポリシーを確認することができます。

アンテナレベルを確認する

アンテナレベルについて

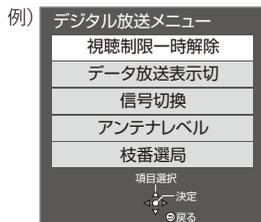
アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質 (信号と雑音の比率) を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 視聴中に

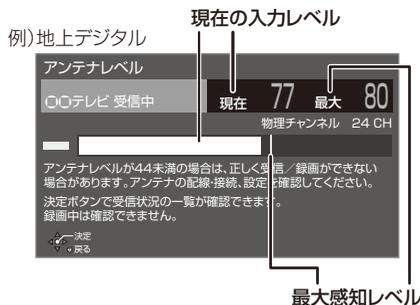
サブメニュー
S を押す

2 「デジタル放送メニュー」を選び、決定を押す

3 「アンテナレベル」を選び、決定を押す



4 アンテナレベルを確認する



設定を変える (続き)

受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナの説明書をご覧ください。

1  を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 「放送設定」を選び、 を押す

5 「放送受信設定」を選び、 を押す

6 「受信アンテナ設定」を選び、 を押す

7 修正したい放送を選び、 を押す

地上デジタル

「受信アンテナ設定をする」(→上記)手順 1～7のあと

受信レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 「物理チャンネル選択」を選ぶと現在の受信状況が表示されます。



設定を変更する場合は、下記の操作を行います。

■ アッテネータを切り換える

「アッテネーター」を選び、「入」または「切」を選ぶ

- 受信レベルが大きくなるほうを選択してください。

■ 物理チャンネルを設定する

① 「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押す

② [1] ~ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押す

- 数字の前に「C」を入力する場合は、はじめに[緑]を押す。

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており(13 CH ~ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

🔔お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、「チャンネル設定」の「再スキャン」を行ってください。(→142)
 - ・アッテネータを切り換える
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す

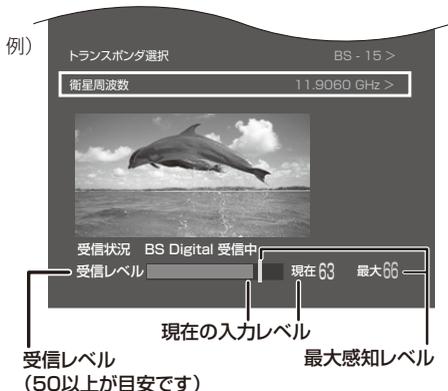
状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

設定を変える (続き)

衛星

「受信アンテナ設定をする」(→141)手順 1～7のあと

- 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ
 - 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
 - テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入(オン)」にしてください。
- 受信レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する
 - 「トランスポンダ選択」または「衛星周波数」を選ぶと現在の受信状況が表示されます。



「アンテナ出力」、「トランスポンダ選択」、「衛星周波数」を設定する場合は対象の項目を選び、画面の指示に従って操作してください。

🔊 「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CSデジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

📢 **お知らせ**

- 「アンテナ出力」は、通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

受信チャンネルを修正する

- を押す
- 「設定・困ったときは」を選び、 を押す
- 「設定」を選び、 を押す
- 「放送設定」を選び、 を押す
- 「放送受信設定」を選び、 を押す
- 「チャンネル設定」を選び、 を押す
- 修正したい放送を選び、 を押す (BS、CSの場合 →143)
- (地上デジタルのみ) 修正する方法を選び、 を押す (→ 下記または 143)

地上デジタル 初期スキャン

引越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

上記手順 1～8のあと

- お住まいの地域を選び、 を押す
- 受信帯域を選び、 を押す
- 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る
 を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

上記手順 1～8のあと

- 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る
 を押す

設定を変える (続き)

地上デジタル
BS、CS

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po: 「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**[▼]**を押してください。

CH: テレビ画面に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

地上デジタルの場合、142ページ手順1～8のあと
BS、CSの場合、142ページ手順1～7のあと

- 修正したい行 (Po) を選び、**[決定]**を押す

- 表示チャンネル (CH) を修正し、

戻る
[戻る]を押す

- 修正が終わったら、**[戻る]**を押す

[A]チャンネルの順番を入れ換えるには

- [緑]**を押す
- 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、**[決定]**を押す
- 入れ換え先の行 (Po) を選び、**[決定]**を押す
- 入れ換えが終わったら**[戻る]**を押す

[A]放送局名が表示されない場合は

再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→138)

[A]お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、サポートサイトの品番別サポート情報でご覧いただけます。
<https://panasonic.jp/diga/support.html>

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

- [ホーム]**を押す
- 「設定・困ったときは」を選び、**[決定]**を押す
- 「設定」を選び、**[決定]**を押す
- 「機器設定」を選び、**[決定]**を押す
- 「リモコン設定」を選び、**[決定]**を押す
- 「リモコンモード」を選び、**[決定]**を押す
- 「リモコン1」～「リモコン6」のいずれかを選び、**[決定]**を押す

リモコン側のモードを設定する

- [1]～[6]**のいずれかを押しながら、**[決定]**を3秒以上押し続けたままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

1. リモコンの数字ボタン**[決定]**と決定ボタンを同時に3秒以上押し続けてください。リモコン側の設定が完了します。

- リモコンを本体に向けて、画面の指示に従って操作する
 - 本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

設定を変える (続き)

本機のリモコンでテレビを操作する

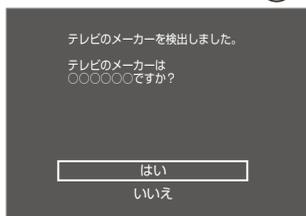
リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-]、[消音] でテレビを操作できます。
また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。
(→145)



- 1 **「ホーム」** を押す
- 2 **「設定・困ったときは」** を選び、**決定** を押す
- 3 **「設定」** を選び、**決定** を押す
- 4 **「機器設定」** を選び、**決定** を押す
- 5 **「リモコン設定」** を選び、**決定** を押す
- 6 **「リモコンのテレビ操作設定」** を選び、**決定** を押す
● 設定を進める場合は、画面の指示に従ってください。
- 7 テレビのメーカー確認画面が表示された場合：
「はい」 または **「いいえ」** を選び、**決定** を押す

例)

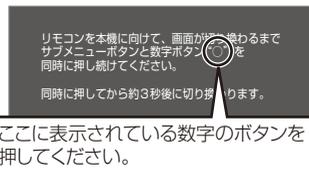


- お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選択画面で正しいメーカー名を選んでください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合：
メーカー名 を選び、**決定** を押す

- 8 **リモコンを本機に向け、**
サブメニュー **5** を押しながら、**1** ~ **12** のいずれかを **3 秒以上** 押したままにする

例)



- 画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
正しく動作しない場合「メーカー番号を入力して設定する場合」(→下記)をお試しください。

- 9 **決定** を押す

■メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(→左記)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る] を押しながら、[1] ~ [10] を使って、2桁のメーカー番号(→下記)を入力してください。

例) 01 の場合…[10] → [1] 10の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1] 12の場合…[1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01、10、22、24、30、31、87、88
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
JVC/ビクター	14
シャープ	02、11、21、33
ソニー	03
TVS REGZA/東芝	04、27、32
パイオニア	13、28
日立	05、20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19、29
三菱	08、12、25、35、36、37
LG	26
ハイセンス	34
TCL	39

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、[テレビ操作] が2回点滅します。

設定を変える (続き)

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / CATV セットトップボックス / スカパー！プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク / スカパー！Link (録画) 設定

- 1  を押す
- 2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す
- 3 「設定」を選び、 を押す
- 4 「ネットワーク設定」を選び、 を押す
- 5 「お部屋ジャンプリンク / スカパー！Link (録画) 設定」を選び、 を押す
- 6 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、 を押す
- 7 「入」を選び、 を押す
 - 「クイックスタート」(→132) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
 - 無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。
- 8 「アクセス許可方法」を選び、 を押す
- 9 「手動」または「自動」を選び、 を押す
 - 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
 - 「手動」の場合 (→右記へ)

■ 左記手順 9 で「手動」を選んだ場合

- ① 「機器一覧」を選び、 を押す
- ② アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す
- ③ 「アクセス許可」を選び、 を押す
 - 最大 16 台まで登録できます。

🔄再生するコンテンツを変更するには [当社製テレビ (ビエラ) やディーガと組み合わせる場合のみ]

- ① 手順 5 のあと「サーバーモード」を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す

🔄登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

- ① 機器一覧で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す
- ② 「アクセス許可取消」を選び、 を押す

🔄「通信 / 映像品質の設定」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「5 倍録画質」、「10 倍録画質」に設定してください。

- ① 手順 5 のあと「通信 / 映像品質の設定」を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す

🔄接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- ① 手順 5 のあと「本機の名称」を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す
 - 一覧から選んで変更
 - 文字入力して変更 (→130)

🔄お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは
手順 7 で「切」を選ぶ

🗨️お知らせ

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガからお引越しダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。機器側の設定は、各機器の説明書をご確認ください。

設定を変える (続き)

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

外出先から、スマートフォンやタブレットで番組を視聴したり、パソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ どこでもディーガ (→4)

ディモラ : <https://dimora.jp/>

宅外リモート接続の動作確認情報は当社ホームページをご確認ください。(→9)

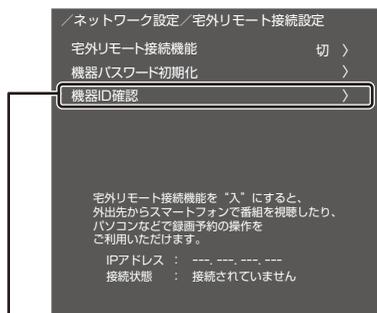
1  を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

5 「宅外リモート接続設定」を選び、 を押す



機器 ID :

パソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

- 「すべての設定リセット」(→139) や 「部分リセット」(→140) をすると機器パスワードは自動で変更されます。

6 「宅外リモート接続機能」を選び、 を押す

7 「入」を選び、 を押す

 「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続 (→20、26)、「IPアドレス / DNS / プロキシサーバー設定」(→136) を確認してください。

 機器パスワードを初期化するには

- ① 手順 5 のあと「機器パスワード初期化」を選び、
[決定] を押す
- ② 「する」を選び、[決定] を押す

 お知らせ

- 外出先から番組を視聴する場合、本機が 2 番組を録画中は放送番組の視聴はできません。
- 外出先から番組を視聴する場合、2 台の機器から同時に視聴することはできません。
- 一部のチャンネルでは、放送局の制限により外出先から視聴することができません。

設定を変える (続き)

言語番号一覧

「再生設定」の言語選択時に使用します。(→133)

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	韓国(朝鮮)語:	7579	タイ:	8472	フェロー:	7079
アイマラ:	6589	カンナダ:	7578	タガログ:	8476	フランス:	7082
アイルランド:	7165	カンボジア:	7577	タジク:	8471	フリジア:	7089
アゼルバイジャン:	6590	キルギス:	7589	タタール:	8484	ブータン:	6890
アッサム:	6583	ギリシャ:	6976	タミル:	8465	ブルガリア:	6671
アファル:	6565	クルド:	7585	チェコ:	6783	ブルターニュ:	6682
アフリカーンス:	6570	クオアチア:	7282	チベット:	6679	ヘブライ:	7387
アプハジア:	6566	グアラニー:	7178	中国語:	9072	ベトナム:	8673
アムハラ:	6577	グジャラト:	7185	ティグリニア:	8473	ベロルシア(白ロシア):	6669
アラビア:	6582	グリーンランド:	7576	テルグ:	8469	ベンガル(バングラ):	6678
アルバニア:	8381	グルジア:	7565	デンマーク:	6865	ペルシャ:	7065
アルメニア:	7289	ケチュア:	8185	トウイ:	8487	ポーランド:	8076
イタリア:	7384	ゲール(スコットランド):	7168	トルクメン:	8475	ポルトガル:	8084
イディッシュ:	7473	コーサ:	8872	トルコ:	8482	マオリ:	7773
インターリングア:	7365	コルシカ:	6779	トンガ:	8479	マケドニア:	7775
インドネシア:	7378	サモア:	8377	ドイツ:	6869	マダガスカル:	7771
ウェールズ:	6789	サンスクリット:	8365	ナウル:	7865	マライ(マレー):	7783
ウォロフ:	8779	ショナ:	8378	日本語:	7465	マラッタ:	7782
ウクライナ:	8575	シンド:	8368	ネパール:	7869	マラヤーラム:	7776
ウズベク:	8590	シンハラ:	8373	ノルウェー:	7879	マルタ:	7784
ウルドゥー:	8582	ジャワ:	7487	ハウサ:	7265	モルダビア:	7779
ヴォラビュック:	8679	スウェーデン:	8386	ハンガリー:	7285	モンゴル:	7778
英語:	6978	スペイン:	6983	バシキール:	6665	ヨルバ:	8979
エストニア:	6984	スロバキア:	8375	バスク:	6985	ラオ:	7679
エスペラント:	6979	スロベニア:	8376	バシュト:	8083	ラテン:	7665
オーリヤ:	7982	スワヒリ:	8387	パンジャブ:	8065	ラトビア(レット):	7686
オランダ:	7876	スダ:	8385	ヒンディー:	7273	リトアニア:	7684
カザフ:	7575	ズールー:	9085	ビハール:	6672	リンガラ:	7678
カシミール:	7583	セルビア:	8382	ビルマ:	7789	ルーマニア:	8279
カタロニア:	6765	セルボクロアチア:	8372	フィジー:	7074	レトロマンズ:	8277
ガリチア:	7176	ソマリ:	8379	フィンランド:	7073	ロシア:	8285

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアダウンロード

電源「切」の状態、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→139「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

(→132「ソフトウェア更新(ネットワーク)」)

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体前面のランプが点滅します。電源ランプ(赤)が点灯に変わるまでお待ちください。

本体前面



📢お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る（本体の電源ランプが赤点灯に変わるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つから）、振動や衝撃を与えないように動かす（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（当社販売 / RP-CL720A は販売店でお求めいただけます）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。当社販売以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用可能かを事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。

- 当社販売のレンズクリーナーでのクリーニング中に音が出ることがありますが、故障ではありません。

個人情報について

本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器 ID や機器パスワードなどの個人情報が記録されます。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

本機の温度上昇について

本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ネットワーク設定」の「デモモード / 使用情報の送信設定」(→137) で機器登録を解除してから、「HDD・USB-HDD・再生記録設定」の「HDD 設定」(→134) からHDDをフォーマットし、「設定リセット」(→139) の「すべての設定リセット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHK や有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないという修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD を録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です。設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

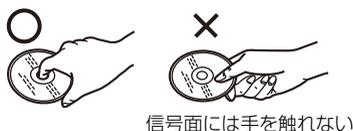
録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…
不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDDやUSB-HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

ディスク

持ち方



信号面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



- ディスククリーナーなどをご使用ください。
- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

取り扱いについて (続き)

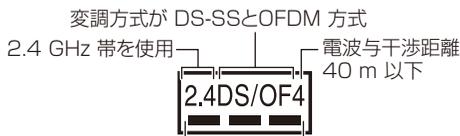
無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。

他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた (本体背面に記載)



2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)、および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、DIGA (ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口 (裏表紙に記載) にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙の DIGA (ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口へお問い合わせください。

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解 / 改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 無線認証 ID 表示について

本機の無線装置の認証 ID は以下の操作で画面に表示することができます。

[ホーム] → 「設定・困ったときは」 → 「設定」 → 「機器設定」 → 「認証 ID について」

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

(○：できる ×：できない)

録画状態			テレビ 放送の 視聴	再生				HDDの 編集 ^{※1}	かんたんダビング	
放送 / 入力	録画先	録画 モード		HDD・ USB- HDD の番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ		ファイ ナライ ズ切	ファイ ナライ ズ入
地上 D BS CS	HDD (1番組録画)	DR 1.5 ~ 15 倍録	○	○	○	○ ^{※2}	○	○	○ ^{※3}	×
	HDD (2番組録画)		○	○ ^{※2}	○ ^{※2}	○ ^{※2}	○ ^{※2}	○ ^{※2}	○ ^{※2}	×
	BD	DR	○	○	×	×	×	○	×	×
		1.5 ~ 15 倍録	○	○ ^{※4}	×	×	×	○	×	×
	DVD	1.5 ~ 15 倍録	○	○ ^{※4}	×	×	×	○	×	×
		XP、SP、 LP、FR	○	○ ^{※4}	×	×	×	○	×	×
	USB- HDD ^{※5}	DR 1.5 ~ 15 倍録	○	○	○	○ ^{※2}	○	○	×	×
スカパー！ プレミアム サービス CATV (無線 LAN 録画)	HDD	—	○	○	○	×	○	○ ^{※6}	×	

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→86 ~ 88) (録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 1.5 ~ 15 倍録で録画中の番組は、DRモードに切り換えて録画を続けます。(→66「DRモード切り換えについて」)

※3 画質変更ダビングは、DRモードに切り換えて録画を続けます。

※4 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。

※5 録画用フォーマットのUSB-HDD使用時のみ予約録画できます。

※6 画質変更ダビングはできません。

同時操作について (続き)

ダビング中の同時操作

(○：できる ×：できない)

ダビングの種類	視聴		再生					HDDの編集 ^{※1}
	放送中の番組	予約録画の実行	HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ	USB-HDD	
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	○
ディスクへ画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○ ^{※3}	○ ^{※4}	×	×	×	×	○ ^{※4}
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集 (→86～88) (録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 HDD 番組を複製中は、再生できません。

※3 スーパー！プレミアムサービスやCATVの番組の予約録画は実行できません。

※4 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。

同時操作について (続き)

本機を操作中のお部屋ジャンプリnkの同時操作

(○：できる ×：できない)

本機の操作	クライアント側の操作	
	ビデオを見る	放送を見る
HDD・録画ディスク再生中	○ ^{*1}	○ ^{*1*2}
DVD ビデオ再生中	○	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○ ^{*3}	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中	○ ^{*4}	○ ^{*5}
HDD へ放送番組を複数番組録画中	○ ^{*5}	×
無線 LAN 経由で録画中	×	×
番組をディスクに高速ダビング中	○ ^{*5}	○ ^{*5}
番組をディスクに画質変更ダビング中	○ ^{*3*5}	×
ネットワーク使用中	×	×

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリnkができない場合があります。

※1 MP4 (4K) を再生中はお部屋ジャンプリnkはできません。

※2 本機側で「1080/60p」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※3 「お部屋ジャンプリnk / スカパー！Link (録画) 設定」(→137) の「通信 / 映像品質の設定」が「オリジナル画質」以外の場合、お部屋ジャンプリnkができない場合があります。また、VGA 変換が必要な機器 (ピエラワンセグなど) がクライアントの場合、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

※4 「お部屋ジャンプリnk / スカパー！Link (録画) 設定」(→137) の「通信 / 映像品質の設定」が「オリジナル画質」以外の場合、本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

※5 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

こんな表示が出たら

本体のランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。



本体ランプの状態	調べるところ・原因・対策
<p>点滅 (赤) 点滅 (赤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オンエアダウンロード、またはネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。電源ランプ (赤) が点灯に変わるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
<p>点滅 2 回 (緑) を 3 回繰り返す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。画面の指示に従ってリモコンモードを合わせてください。本機が「切」(スタンバイ) 状態のときは、本機の [⏻/⏪] を押し、テレビの電源を入れてください。 ● 画面上に 4 ~ 6 の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
<p>※</p> <p>点滅 (赤) 高速点滅 (赤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで (約 30 分間) お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ● 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
<p>※</p> <p>高速点滅 (赤) 高速点滅 (赤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機が正常に動作しません。本体の [⏻/⏪] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>※</p> <p>点滅 (赤) 高速点滅 (緑)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像出力のエラーが発生しています。「テレビに本機の映像が映らない」(→ 下記) をご覧ください。

※ 上記の操作をしてもランプの状態が変わらない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→ 裏表紙) へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、本体ランプの状態をお知らせください。

困ったときには

テレビに本機の映像が映らない

- 本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。
- テレビの入力を確認してください。
- 本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほりこりを取り除き、しっかり接続し直してください。
- 本機およびテレビの主電源を入れ直してください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga707/>



テレビ放送が映らない/映りが悪い

- 地上デジタルと BS・CS のアンテナ端子を逆に接続していないか確認してください。
- 本機および接続機器とのアンテナ端子の入力と出力が間違っていないか確認してください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga705/>



表示マーク一覧

- 本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表



録画予約している番組



「お録りおき録画」や「おまかせ録画」、「カテゴリまとめて予約」などの自動で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合や重複している「お録りおき録画」は、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面



テレビ放送(映像+音声)の番組



二重音声信号で、「主+副」の音声の番組



データ放送の番組



字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組



番組とは別のデータ放送を行っている番組

有料放送の番組
(放送会社との契約が必要です)

番組内容に関連したデータ放送を行っている番組

視聴年齢制限がある番組
(表示される年齢は4~20才まであります)

「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

3D映像の番組
(番組によっては、表示されない場合もあります)

複数の映像または音声(マルチ音声)を含んだ番組



著作権が保護されているため「録画禁止」の番組



モノラル音声の番組

番組の映像信号情報
上:画面の横縦比(16:9、4:3)
下:信号方式
(デジタルハイビジョン放送- 1080i、720p)
(デジタル標準テレビ放送- 480p、480i)

ステレオ放送の番組



5.1chなどのサラウンド放送の番組

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面

	全編の録画が可能な番組		番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに、予約を実行した場合にも表示されます。
	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組		番組表を使って予約した番組
	時間変更追従を実行中 (時間確認中)		HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。[決定]を押して、予約内容を確認してください。
	時間指定予約で予約した番組		予約時間が重なっている番組
	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示		毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
			引越などをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
	毎日・毎週予約の番組		「お録りおき録画」で自動的に予約された番組
			「お録りおき録画」で優先お録りおきに設定した番組
			「カテゴリまとめて予約」で自動的に予約された番組
			注目番組一覧から予約した番組
	毎日・毎週予約で自動更新をする番組 (前回録画した内容に上書きして録画します)		「注目まとめ予約」で予約した番組
			宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組
			無線 LAN 接続したスカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV から録画予約した番組
	「ニュース録画」で自動的に予約された番組		1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画している番組
	「おまかせ録画」で自動的に予約された番組		

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面 (続き)

**探して
毎回★** テレビ (ピエラ) 側から「探して毎回予約」で予約した番組

**番組数
FULL** HDD の番組数がいっぱいでは録画できない番組

**予約
実行切** 予約の実行が「切」になっている番組

未実行 予約録画が実行されなかった番組

**一部
未実行** 予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

**FULL
中断** HDD の残量不足で録画が中断された番組、または番組数がいっぱいでは録画できなかった番組

**残量
不足** HDD の残量不足で録画できない番組

**COPY X
中断** 録画禁止信号により録画が中断された番組

代替 ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組

お知らせ
1 か月より先の番組予約です。
1 か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。

 録画中の番組

録画一覧・ダビング画面

まとめ
● 2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
● 「お録りおき録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組

ニュース ニュース録画で録画された番組がまとめられた、まとめ番組

10
(数字は10~2) 録画したコピー制限のある番組
数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。

1
(赤) 録画したコピー制限のある番組
ダビングするとダビング元の番組は消去されます。

**1080
60p** 1080/60p (1920×1080/60 プログレッシブ) 記録の番組

おまかせ 「おまかせ録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組

 書き込み禁止 (プロテクト) の設定をした番組

X  ダビングできない番組

表示マーク一覧 (続き)

録画一覧・ダビング画面 (続き)

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。

	録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されます。		「おまかせ録画」で録画された番組
	宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組		「ニュース録画」で録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組		HDD に録画中の番組
	HDD にダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組		HDD にダビング中の番組
	録画中の番組		HDD に録画・ダビングが終了した番組 (番組の画像は電源「切」時に作成されます)
	HDD に代替録画された番組		●保存の予約をした番組 ●保存した番組

以下はダビング画面でのみ表示されます。

	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)		静止画を含むもの (HDD に静止画部分はダビングされません)
	ダビング登録した番組 (かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。 (数字は 1~99)		

保存一覧画面

	保存先の残量不足などで、 HDD や USB-HDD に代替で保存された番組		保存先の残量不足で、保存が実行できない番組
	保存先の番組数がいっぱいで、保存が実行できない番組		保存前に番組が消去されたなどで、保存が実行できなかった番組
	ディスクが未挿入などで、保存が実行できない場合があるときに表示されます。 【決定】を押して、内容を確認してください。		

スマホ転送番組の消去画面

	スマホ転送番組の画質情報 上：情報量 (ビットレート) 下：解像度		録画したコピー制限のある番組 転送すると HDD の番組は消去されます。
--	---	---	---

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?’の内容は、当社ホームページ (→9) も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音 (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切/入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中
 - ・ 録画モード変換時、スマホ転送番組作成時
 - ・ スマートフォンの写真や動画を受信中
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(→137) の「自動更新」の「入」時
 - ・ 「宅外リモート接続機能」(→136) の「入」時
 - ・ 「お部屋ジャンプリンク機能」(→137) の「入」時
 - ・ インターネット接続時
 - ・ 予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に1回程度)の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押し続けたままにすると強制的に切れます。



[⏻/⏻] を
3秒以上押す

(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

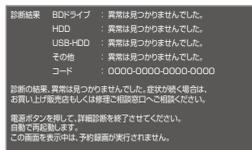
- ② 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。
(→163)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- 【ホーム】 ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「機器設定」→「診断コード」→【黄】 ボタンを5秒以上押しで詳細診断を行ってください。

例)



診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

録画できない / 録画に失敗する / 再生できない / 操作できない / フリーズする

- 以下の場合、録画できません。録画ランプ (赤) が点滅します。
 - ・ アンテナが抜けている、または電波が弱い
 - ・ B-CAS カードが抜けている
 - ・ HDD の残量がない
- ディスクやUSB-HDDには【ワンタッチ予約録画 ●】を押ししても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に乗せている場合、録画できないことがあります。
- 本体機器を設定リセット (→139) にて初期化することで改善する場合があります。
ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報 (メールやデータ放送のポイントなど) や録画・予約内容も消去されますので、ご注意ください。

故障かな!?(続き)

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差し直した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【**o/I**】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- どこでもディーガから本機の設定を行うと、設定完了時に本機の電源が切れます。
- 「自動電源オフ」(→131) やピエラリンク (HDMI) の電源オフ連動 (→120)、ピエラの「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- どこでもディーガから本機の設定の変更を行うと、自動的に電源が入ります。
- ピエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

USB-HDD の電源が切れない

- 番組表データを受信中や録画モード変換時など本機が内部で動作しているときは、電源を「切」にしてもUSB-HDDの電源が切れない場合があります。

ピエラリンクが動かなくなった

- 本体の【**o/I**】を約3秒間押し続けて電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMIケーブルを抜き差ししてください。

本体

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の【**o/I**】を3秒以上押し
 - ・ 本体の電源が切れます。
 - ② 【**決定**】と【**青**】と【**黄**】を同時に5秒以上押し
 - ・ 録画ランプ (赤) が点滅を始めます。
 - ③ 【**▶**】(リモコンの右ボタン) を押し
 - ・ 録画ランプ (赤) が点滅中に、電源ランプ (赤) が高速点滅を始めます。
 - ④ 【**決定**】を押し
 - ・ ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約30秒)
 (ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

B-CAS カードが認識されない

- 本体の【**o/I**】を3秒以上押し続けてリセットしたあと、B-CASカードを抜き差ししてください。

USB 機器が認識されない

- USB機器が正しく認識されない (USB機器画面が表示されない) 場合は、USB機器を抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。

故障かな!?(続き)

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- [R] 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DR モード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。
- 選択している録画モードによって、残量表示が異なります。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード (→143) が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がでてくる場合があります。テレビ画面に表示される指示に従ってリモコンモードを設定してください。
- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などありませんか。
- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・ [テレビ操作] が点灯していますか。
 - ・ テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がでてくる場合があります。(→144)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→143)

ディスプレイ開閉ボタンが働かない

- 「かんたん設置設定」(→138) が完了しないと、ディスプレイの開閉はできません。

故障かな!?(続き)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される

- 本体の [⏻/⏪] を押し、電源を入れてください。
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナケーブルの接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 「アンテナ電源」(→138) を「入」にしているときはテレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
- 「アンテナ出力」(→138) を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(→141) の設定を切り換えてみてください。
- 「節電待機」(→36) で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなることがあります。本機を経由させずにアンテナケーブルをテレビに接続すると、改善することができます。(→19)

本機を 4K8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続したら、4K8K 放送の映像がテレビに映らなくなった

- アンテナケーブルの接続を確認してください。(→17)

アンテナレベルが改善して、テレビの映りが良くなったも、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(→138) をやり直してください。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→132) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(→84) の各項目を「0」にしてください。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→15～24)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・ 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・ BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
 - ・ HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器 (パソコンのディスプレイなど) によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・ 以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→135) が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
- 「Deep Color 出力」(→135) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→135) を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。

映像が途切れたり、停止する

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「お部屋ジャンプリンク/スカパー! Link (録画) 設定」(→137) の「通信/映像品質の設定」を、「オート」または「5 倍録画質」や「10 倍録画質」にすると、番組の画質が調整され、問題が改善される場合があります。

故障かな!?(続き)

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(➔141) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試ください。
 - ・ 「アッテネーター」(➔141) の設定を切り換える。
 - ・ ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- チャンネル設定を行っていますか。「かんたん設置設定」(➔138) もしくは「チャンネル設定」(➔142) を行ってください。

BS・110度CSデジタル放送が受信できない
映像や音声がでない、または映りが悪くなった

- BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナケーブル、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
- 「受信アンテナ設定」(➔142) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・ 「アンテナ電源」(➔142) を「入」にしてください。
 - ・ 分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

音声

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
 - ・ マルチ音声の番組を [R VR] [RW VR] に XP、SP、LP、FR モードで予約録画する
- テレビやアンプの音声ボタンでは、二カ国語音声などの音声の切り換えができない場合があります。その場合は、本機の音声ボタンで切り換えてください。
- [MP4] 音声の切り換えはできません。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- [R] 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー(別売)でレンズをクリーニングしてください。(➔150)

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。(➔29)
- ディスクによってはファイナライズが必要です。(➔30、129)

故障かな!?(続き)

録画

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(→57)

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・ **[BD-RE]** **[BD-R]** に XP、SP、LP、FR モードで予約
 - ・ **[R AVCREC]** に DR、XP、SP、LP、FR モードで予約
 - ・ **[R VR]** **[RW VR]** に DR、1.5～15 倍録モードで予約
 - ・ DVD ディスク
 - ・ 未フォーマットのディスク
 - ・ CPRM 非対応の DVD
 - ・ 誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に3時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- 無線 LAN 経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。また、「節電待機」(→36)で電源を「切」にしているときも、正しく働かない場合があります。

予約をしていない番組が録画される

- 「おまかせ録画」(→58)や「お録りおき録画」(→62)の設定をしていると、本機は自動的に番組の録画をします。

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送で契約が有効な B-CAS カードが挿入されているか確認してください。
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういった放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

スカパー!プレミアムサービス対応チューナーやCATVから予約録画ができない

- ネットワークの接続や設定を確認し、接続されていない場合はネットワーク設定を行ってください。(→26)
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→137)が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、再生できないことがあります。

ディスクが再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- **[BD-V]** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー(別売)でレンズをクリーニングしてください。(→150)

故障かな!?(続き)

BDビデオやDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
 - ① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す (テレビ画面に “OO RET” が表示されます)
 - ② テレビ画面に “O3 VL” が表示されるまで **[▶]** (リモコンの右ボタン) を数回押す
 - ③ **[決定]** を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- **[MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2倍速対応以下のDVDに記録された高画質(転送レート約 18 Mbps 以上)の動画は正しく再生されません。

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- **[R-V]** **[RW-V]** へのダビング時、HDDの残量が少なくなるときはダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDDの残量が5倍録モードで最大4時間必要な場合があります)
- 高画質(転送レート約 18 Mbps 以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。
- 4時間以上の番組をDVDにダビングする場合、4時間未満に番組分割(→88)してダビングしてください。

HDDにダビングできない

- **[BD-RE]** **[BD-R]** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→133)を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声乱れる場合があります。
- 以下の番組は、**[BD-RE]** **[BD-R]** からHDDにダビングできません。
 - ・ディスク内で番組分割した番組
 - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
 - ・ファイナライズしたディスクの番組
 - ・録画時間が8時間を超える番組
- 市販やレンタルのDVDなどコピー禁止処理された映像はダビングできません。

スカパー!プレミアムサービス対応チューナーやCATV、ビエラ、他のディーガからダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→137)が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

お引越しダビングができない

- お引越しダビング対応機器については、当社ホームページ(→9)をご確認ください。
- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器を同じネットワークに接続する必要があります。ネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

どこでもディーガ

設定ができない

- どこでもディーガの設定方法やよくあるご質問は当社ホームページをご確認ください。(→4)

故障かな!?(続き)

ビデオカメラ

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- ビデオカメラが、本機で対応している機器が確認してください。対応機器については、当社ホームページ(→9)をご覧ください。
- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識されない(USB機器画面が表示されない)場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中に、USB接続された場合、認識されないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- [MP4]撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG-2動画はダビングできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)のリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、当社ホームページ(→9)もご覧ください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- USB-HDDを使用すると通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。USB-HDDの設置については「USB-HDDの録画について」(→33)のお知らせをご覧ください。

お部屋ジャンプリンク

再生できない

- 別室のテレビなどで見る(本機をサーバーとして使用する)場合:
 - ・接続や設定を確認してください。
 - ・「機器一覧」(→146)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - ・再生する機器によっては、録画中の番組や1.5~15倍録モードの番組、スカパー!プレミアムサービスの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
 - ・「節電待機」(→36)で電源を「切」にしているときは、再生できません。
- 別室の機器の映像を見る(本機をクライアントとして使用する)場合:
 - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
 - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- 他社製DLNA対応機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる

- 802.11acまたは802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5GHzでのご使用をお勧めします。2.4GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 無線設定(→136)の画面で「電波状態」のインジケータが4つ以上(受信レベル30以上)点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：**2W203** 約 18 W

2W103 約 17 W

待機時(クイックスタート「切」/節電待機「モード2」)：

電源ランプ表示消灯時・約 0.15 W^{※1※2}

待機時(クイックスタート「入」省エネ)：

電源ランプ表示消灯時・約 3.0 W^{※1}

待機時(クイックスタート「入」標準)：

電源ランプ表示点灯時・約 4.5 W^{※1※3}

※1・地上デジタルアッテネーター：「入」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ電源：「切」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ出力：「切」

・USB 端子：未接続

・無線 LAN：未接続

※2・節電待機「モード1」の数値は、お客様の設定により変わります。

※3・HDMI 出力解像度：1080i

待機時(電源「切」時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量

(表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です)

2W203 18.1 kWh/年

2W103 17.4 kWh/年

■本体

寸法：

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行き 179 mm
(突起部を含まず)

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行き 189 mm
(突起部を含む)

質量：

2W203 約 2.1 kg

2W103 約 1.7 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80% RH (結露なきこと)

■HDD 容量

●**2W203**：2 TB

●**2W103**：1 TB

■予約可能番組数

128 (予約可能期間：1年間)

■テレビジョン方式

放送方式：

デジタルハイビジョン：

地上デジタル放送方式 (日本)

衛星デジタル放送方式 (日本)

アンテナ受信入力：

地上デジタル、BS・110度CS デジタル-IF 各1系統

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω(VHF:1～12 CH、

UHF:13～62 CH、CATV:C13～C63 CH)

BS・110度CSデジタル-IF入力：

1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数)

75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大4 W

アンテナ出力：

地上デジタル、BS・110度CS デジタル-IF 各1系統

■入出力端子 (映像・音声を除く)

USB 端子 [ハイスピード USB (USB2.0) 対応]：

前面 1 系統

■映像

記録圧縮方式：

MPEG-2 (Hybrid VBR)、MPEG-4 AVC/H.264

HDMI 映像・音声出力：

出力端子：1 系統 (19 ピン type A 端子)

480/60p、1080/60i・60p・24p

4K/30p・24p

(4Kの解像度は3840×2160まで)

■音声

記録方式 (放送フォーマットで記録します)：

MPEG-2 AAC (最大 5.1ch 記録)、

Dolby Digital (2ch 記録)

音声出力：

HDMI 映像・音声出力端子：1 系統

PCM (最大 7.1ch)

Dolby Digital、Dolby Digital EX、

Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、

Dolby Atmos

DTS® Digital Surround™、

DTS® Digital Surround™ | ES、DTS® 96/24、

DTS-HD® High Resolution Audio、

DTS-HD® Master Audio、DTS:X®

MPEG-2 AAC

●PCM 以外は対応アンプに接続し、bitstream

で出力した場合のみ

■USB 機器

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD (録画用フォーマット)：

USB2.0 (160 GB 以上 4 TB 以下)

●登録可能台数：最大 8 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)

USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)：

USB2.0 (160 GB 以上 4 TB 以下)

●同時接続台数は 1 台のみ

仕様 (続き)

■写真

画素数：

34×34 ～ 8192×8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault
フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器

再生のみ可能メディア：

DVD-R^{*1}、DVD-R DL^{*1}、DVD-RW^{*1}、+R^{*1}、+R
DL^{*1}、+RW^{*1}、CD-R、CD-RW

※1 JPEG のみ記録されたディスク

記録された機器でファイナライズ必要

再生画像：

- JPEG：ベースライン方式
(DCF 準拠 Design rule for Camera File
system)
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれ
たファイル (半角英数字のみ)
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット
(MPF 準拠 Multi Picture Format)
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれ
たファイル (半角英数字のみ)

最大枚数：

- HDD：40000 枚 [写真、動画 (MP4)、音楽の
合計の数]
- USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音
楽用フォーマット)：40000 枚 [写真、動画
(MP4)、音楽の合計の数]
- BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL、
+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、USB 機器：
10000 枚

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

対応フォーマット：ISO9660 level1 と 2 (拡張
フォーマットは除く)、Joliet 対応

マルチセッション：対応

パケットライト方式：非対応

DCF 準拠 (デジタルカメラなどで記録したもの) した
フォーマットが使用できます。DCF：Design rule for Camera File system [電子情報技
術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]

■動画

録画番組

映像圧縮方式：

放送画質 (DR モード) 記録時は放送フォーマットで
記録します。

- MPEG-4 AVC/H.264
- MPEG-2 (Hybrid VBR)

音声記録方式：

- MPEG-2 AAC (最大 5.1 ch)
放送フォーマットで記録します。
- Dolby Digital (2ch)

ハイビジョンムービー (AVCHD) 動画：

ファイル形式：AVCHD 規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

ハイビジョンムービー (MP4) 動画：

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット (.MP4)

圧縮方式

ビデオ

MPEG-4 AVC/H.264 High profile 5.1 以下
ビットレート：100Mbps 以下
解像度 / フレームレート：

- 1920×1080/120p まで
- 3840×2160/30p まで
- 4096×2160/24p まで

音声

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

-ファイルの内容によっては、再生、ダビングが
できない場合があります。-音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声
が出力できない場合があります。

対応メディア

- 記録 / 再生^{*2} / 取り込み対応メディア：
BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault
フォーマット、写真・音楽用フォーマット)
- 取り込みのみ対応メディア：USB 機器

※2 メディアの状態や読み出し速度によって
正しく再生できないときは、内蔵 HDD に
ダビングすると安定して再生することが
できる場合があります。

スマホ転送番組

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

記録画質：

150 kbps (180p)、400 kbps (180p)、
650 kbps (360p)、1.5 Mbps (720p)、
3.5 Mbps (720p)

仕様 (続き)

■音楽

音楽 CD

- 再生対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW
再生可能なファイル形式：CD-DA

音楽ファイル

対応メディア：

- 取り込み・バックアップ対応メディア：
BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器
- 取り込みのみ対応メディア：
CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：

対応しているデータ形式や周波数であっても、データによっては再生できないことがあります。

- ・ WAV (.wav)：最大 192 kHz、32 bit、2ch
- ・ FLAC (.flac)：最大 192 kHz、24 bit、2ch/5.1ch
- ・ AAC (.m4a)：最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ MP3 (.mp3)：最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ DSD (.dsf/.dff)：2.8 MHz (2ch/5.1ch)、5.6 MHz (2chのみ)
- ・ AIFF (.aif/.aiff)：最大 192 kHz、32 bit、2ch
- ・ ALAC (.m4a)：最大 192 kHz、32 bit、2ch/5.1ch

音楽 CD 取り込みファイル形式：

- WAV (44.1 kHz、16 bit、1.4 Mbps)
FLAC (44.1 kHz、16 bit、1.1 Mbps)
- ・ スマホ持ち出し用変換ファイル
 - AAC(44.1 kHz、128 kbps)
 - ・ ハイレゾ転送用変換ファイル
 - アップサンプリング 2 倍設定時
 - WAV(88.2 kHz、24 bit、4.2 Mbps)
 - FLAC(88.2 kHz、24 bit、3.2 Mbps)
 - アップサンプリング 4 倍設定時
 - WAV(176.4 kHz、24 bit、8.5 Mbps)
 - FLAC(176.4 kHz、24 bit、6.4 Mbps)

■無線 LAN

規格：

- IEEE802.11a/n/ac：5 GHz 帯
IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz 帯
・ 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。
ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、
ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)
(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

- WPA2-PSK (TKIP/AES)
WPA-PSK (TKIP/AES)
WEP (64 bit/128 bit)

■クイックスタート時間

約 1 秒 (テレビの状態によっては、表示時間が多少のびる場合があります)

- クイックスタート設定「入」の場合
電源 OFF 状態から番組表出画までの時間
電源 OFF 状態から録画一覧出画までの時間
電源 OFF 状態からトレイオープンするまでの時間

仕様 (続き)

録画モードと記録時間の目安

録画モード			ディスク		内蔵HDD		BD-RE、BD-R			
					[2W203] ^{※4} (2 TB)	[2W103] ^{※4} (1 TB)	128 GB	100 GB	50 GB	25 GB
放送 画質	DR ※1 ※2	BS デジタル	HD放送 (≤24 Mbps)	約 180 時間	約 90 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	
		CS デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 360 時間	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	
	地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 254 時間	約 127 時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間		
ハイビジョン 画質	1.5 倍録			約 270 時間	約 135 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	
	1.6 倍録			約 288 時間	約 144 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分	
	1.8 倍録			約 324 時間	約 162 時間	約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間	
	2 倍録			約 360 時間	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	
	2.3 倍録			約 414 時間	約 207 時間	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間	
	2.5 倍録			約 450 時間	約 225 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分	
	2.7 倍録			約 486 時間	約 243 時間	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間	
	3 倍録			約 540 時間	約 270 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分	
	3.5 倍録			約 630 時間	約 315 時間	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分	
	4 倍録			約 720 時間	約 360 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	
	4.5 倍録			約 810 時間	約 405 時間	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分	
	5 倍録			約 900 時間	約 450 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	
	5.5 倍録			約 990 時間	約 495 時間	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間	
	6 倍録			約 1080 時間	約 540 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間	
	7 倍録			約 1260 時間	約 630 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	
8 倍録			約 1440 時間	約 720 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分		
9 倍録			約 1620 時間	約 810 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分		
10 倍録			約 1800 時間	約 900 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分		
11 倍録			約 1980 時間	約 990 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分		
12 倍録			約 2160 時間	約 1080 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間		
15 倍録 ^{※3}			約 2700 時間	約 1350 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分		

● 128 GB (片面4層) はBD-Rのみ。

● 本機では、内蔵HDDやBD-RE、BD-RにDVD画質(XP、SP、LP)で録画できません。

※1 録画時間は放送(転送レート)により異なります。

※2 転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。

※3 記録時間は、記録音声 AAC 2ch 1本の場合です。記録音声 AAC のマルチ ch、または2本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

※4 スマホ転送番組を記録した場合、録画時間は少なくなります。

仕様 (続き)

ディスク		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面 2 層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	録画モード			
	1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約 1 時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約 1 時間 21 分	
	2 倍録	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約 1 時間 43 分	
	2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	2.7 倍録	約 1 時間 5 分	約 2 時間 1 分	
	3 倍録	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	3.5 倍録	約 1 時間 24 分	約 2 時間 37 分	
	4 倍録	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	4.5 倍録	約 1 時間 48 分	約 3 時間 22 分	
	5 倍録	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	5.5 倍録	約 2 時間 12 分	約 4 時間 7 分	
	6 倍録	約 2 時間 24 分	約 4 時間 30 分	
	7 倍録	約 2 時間 48 分	約 5 時間 15 分	
	8 倍録	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
9 倍録	約 3 時間 36 分	約 6 時間 45 分		
10 倍録	約 4 時間	約 7 時間 30 分		
11 倍録	約 4 時間 24 分	約 8 時間 15 分		
12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間		
15 倍録 ^{※1}	約 6 時間	約 11 時間 15 分		
DVD画質	XP	約 1 時間	約 1 時間 45 分	約 1 時間
	SP	約 2 時間	約 3 時間 35 分	約 2 時間
	LP	約 4 時間	約 7 時間 10 分	約 4 時間

※1 記録時間は、記録音声 AAC 2ch 1 本の場合です。記録音声 AAC のマルチ ch、または 2 本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

- **[HDD]** スマホ転送番組や写真を記録している場合は、記録できる時間は少なくなります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなる場合があります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DR モード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なる場合があります。
（**[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]** では、特にその差が著しくなります）
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものと計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいには記録することができない場合があります。

仕様 (続き)

■記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD** : 3000 (スマホ転送番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- **BD-RE**^{※1} **BD-R**^{※1} **-R AVCREC** : 200
- **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V** : 99
- **USB-HDD** (録画用フォーマット) : 3000 (撮影ビデオは記録できません)
- **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット) : 10000
※1 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■最大チャプターマーク数 (記録状態により少なくなる場合があります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- **HDD** **USB-HDD** (録画用フォーマット) : 1番組当たり約 999 個
- **BD-RE**^{※2} **BD-R**^{※2} **-R AVCREC** : 1 ディスク当たり約 1000 個
- **-R VR** **-RW VR** : 1 ディスク当たり約 999 個
- **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット) : 1番組当たり約 100 個
※2 BDXL 以外のディスクのみ

■スマホ転送番組の記録可能時間の目安

画質 容量	150 kbps (180p)	400 kbps (180p)	650 kbps (360p)	1.5 Mbps (720p)	3.5 Mbps (720p)
8 GB	約 106 時間	約 40 時間	約 24 時間	約 10 時間	約 4 時間
16 GB	約 213 時間	約 80 時間	約 49 時間	約 21 時間	約 9 時間
32 GB	約 426 時間	約 160 時間	約 98 時間	約 42 時間	約 18 時間
64 GB	約 853 時間	約 320 時間	約 196 時間	約 85 時間	約 36 時間

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

仕様 (続き)

■記録方式

BD-RE :

Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠

BD-R :

Blu-ray Disc Recordable Format 準拠

DVD-R、DVD-R DL (片面2層) :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠

DVD-RW :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠

■記録/再生可能なディスク

(◎ : 記録/再生 ○ : 再生のみ × : 記録/再生不可)

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	BD ビデオ	AVCHD 規格準拠	写真/動画 (MP4)	音楽
BD-RE	片面1層 (25 GB) / 片面2層 (50 GB) Ver.2.1/2.2 に準拠の2X SPEED まで (1X SPEED Ver1.0 は非対応)	◎	×	×	◎	◎
	片面3層 (100 GB) Ver.3.0/3.1 に準拠の2X SPEED まで					
BD-R	片面1層 (25 GB) LTH type Ver.1.2/1.3/1.4 に準拠の6X SPEED まで					
	片面1層 (25 GB) / 片面2層 (50 GB) Ver.1.1/1.2/1.3/1.4 に準拠の6X SPEED まで	◎	×	×	◎	◎
	片面3層 (100 GB) / 片面4層 (128 GB) Ver.2.0/2.2 に準拠の4X SPEED まで					

ディスクの種類		コンテンツ					
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽
		DVD ビデオ レコーディング 規格準拠	AVCREC 規格準拠				
DVD-R	片面1層 Ver.2.0/2.1 に準拠の16X SPEED まで	◎*3	◎*1	◎*1	○*1*3	○*2	×
	片面2層 Ver.3.0 に準拠の8X SPEED まで						
DVD-RW	Ver.1.1/1.2 に準拠の6X SPEED まで	◎	×	◎*1	○*1*3	○*2	×

*1 他機で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

*2 JPEGのみ記録されたディスク。記録された機器でファイナライズ必要

*3 他機で記録されたディスクは、再生のみ可能

仕様 (続き)

■再生のみ可能なディスク

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	BD ビデオ ^{※1}	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
BD ビデオ	×	○	×	×	×

※1 BD-LIVE に準拠

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD ビデオ	×	○	×	×	×
+R/+R DL/+RW	○ ^{※2}	×	○	○	×
CD-Audio	×	×	×	×	○
CD-R/CD-RW	×	×	×	○	○

※2 他機で記録した番組

仕様 (続き)

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

「HDMI 出力」の設定		オート ^{*1}		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定 ^{*2}		入 ^{*3}	切	入	切
再生 コン テン ツの 種 類	Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM	
	Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
	DTS [®] Digital Surround [™] DTS [®] Digital Surround [™] ES	DTS [®] Digital Surround [™]			
	DTS-HD [®] High Resolution Audio				
	DTS-HD [®] Master Audio				
	7.1ch LPCM	7.1ch PCM			

※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS[®] Digital Surround[™] の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。

※2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→134) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD[®] に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

※3 **BD-V** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→134) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

仕様 (続き)

■4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、本機の再生設定を下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。(4K アップコンバート出力)

接続するテレビの種類	映像コンテンツ		本機のお勧め設定		本機から出力される映像信号	
			設定／リモコン設定 ^{*1} 「24p 出力」 (→135)	再生設定 「24p / 30p 変換出力」 (→84)	解像度	フレームレート
4K 対応テレビ	BD-V ^{*2}	24p	オート	—	4K	24p
	BD-V / 録画番組	60i	—	24p ^{*3}		30p
			—	30p ^{*4}		
	放送視聴映像		4K 出力はできません			

※1 その他の設定値 (お買い上げ時の設定)

- ・「出力解像度」(→135) : 「オート」
- ・「カラースペース」(→135) : 「YCbCr (4:4:4)」

※2 MGVC 対応ディスクは再生できません。

※3 1 秒当たり 24 コマの映画素材以外の場合、映像の動きが滑らかではなくなることがあります。

※4 1 秒当たり 30 コマの素材以外の場合、映像の動きが滑らかではなくなることがあります。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国 Xperi Inc. および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2025
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。

- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[ホーム] ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→[青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- AURO-3D® は NewAuro の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー (ダビング) が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、

<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

著作権など (続き)

- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「ホーム」ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→[青]ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能(かな漢字変換や番組の検索等を含む)の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2025年1月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン/見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン/見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン/見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因したまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン/見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン/見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。



著作権など (続き)

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口： oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

(1) MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2) MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にとともに、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性があります。③また、いずれの場合も表示部上またはサポートサイト (<https://panasonic.jp/support/av/diga601/>) 上にて事前に周知されます。④当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用規約に同意いただけない場合は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権など (続き)

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

本アプリケーションまたは本製品は、Gracenote の提供者が所有するコンテンツを含む場合があります。その場合、ここに説明する Gracenote データに関する全ての制限は、該当するコンテンツにも適用され、また該当する提供者は、ここに説明する Gracenote が享受可能な全ての利益および保護を享受する権利を保有します。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、

Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でない保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイダーに帰属します。



Gracenote、Gracenote のロゴおよびロゴタイプ、「Powered by Gracenote」のロゴは、アメリカ合衆国および/または他国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標のいずれかです。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表示や、1 か月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 宅外リモート接続機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- 番組ニュース機能
- その他の放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日
B-CASカード番号	

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(→161 ~ 168) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

- 品 番 DMR-2W203
 DMR-2W103

- ✍️ お買い上げの品番に記入してください。

- 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→161)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字	ページ		ページ
■ AVCHD			
再生する	107	■ 30秒送り	80
取り込む	102	■ 4K アップコンバート出力	178
■ B-CASカード		■ 4K 出力	135、178
挿入する	23	■ 4K 動画 (MP4)	
番号を見る	139	再生	107
■ BD-Live	79	保存	102
BD-Live インターネット接続	133		
■ CATV		あ 行	
接続する	18	■ 暗証番号	
録画する	68	BD-Video の視聴可能年齢	133
■ DIGA Drive 機能	124	DVD-Video の視聴制限	133
■ DNS-IP 自動取得	136	HDD 番組の視聴制限	134
■ DR モード切り換えについて	66	視聴制限 (番組)	138
■ ECO スタンバイ	135	■ アンテナ	
■ HDD		アンテナ電源	142
取り扱い	151	アンテナの調整 (受信レベル)	141
フォーマット	134	接続する	14
■ HDMI		■ 一括ダビング	100
アンプと接続	22	■ 枝番号	42
設定する (「HDMI接続設定」)	135	■ オートサウンド連携	120
テレビと接続	15	■ お好みチャンネル	41
■ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定	136	■ 追っかけ再生	73
■ MP4		■ お手入れ	150
書き出す	110	■ お録りおき	
再生する	107	再生する	77
取り込む	102	消去する	77
■ SeeQVault	32	設定する	62
■ USB-HDD		保存する	77
接続する	33	■ お引越シダビング	100
フォーマットする	33	■ お部屋ジャンプリンク	
■ USB 機器	35	設定する	146
■ 10 秒戻し	80	操作する	122
■ 24p 出力	135	■ おまかせ録画	58
		■ 音楽	
		再生する (CD)	112
		■ 音質効果	85
		■ 音声	
		音質効果を設定する	85
		音声言語を切り換える (音声情報)	83
		音声を切り換える (再生時)	81
		音声を切り換える (受信時)	41
		記録する音声 (主/副) を選ぶ	
		(「二重音声記録時の音声選択」)	133
		■ 音声ガイドの設定	131

さくいん (続き)

か 行	ページ
■ 画質変更ダビング	92
■ カテゴリーまとめて予約	60
■ かんたんダビング	25
■ かんたんダビング	93
■ 機器パスワード初期化	136
■ 記録方式	29
■ クイックスタート	132
■ ケーブルテレビ (CATV)	
接続する	18
録画する	68
■ 検索する	51、52
■ コマ送り/コマ戻し	80

さ 行	ページ
■ サーチ	80
■ 最新ニュース	63
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ (市販またはレンタル)	79
音楽 (CD)	112
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	107
写真	107
番組	73
プレイリスト	73
■ 再生設定	83
■ 再生中番組の保存	98
■ 探して毎回予約	119
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	107
取り込む	102

■ サブメニュー	
かんたんダビング	94
写真/動画一覧	108
スマホ転送番組の消去	118
番組表	45
録画一覧 (再生)	74
録画一覧 (編集)	86
■ シーン一覧	75
■ 次エピソード自動再生	76
■ 時間指定予約	56
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する	133
DVD-Video の視聴制限を設定する	133
番組の視聴制限を設定する	138
■ 自動更新録画	47
■ 字幕	
切り換える (再生時)	81
切り換える (受信時)	42
字幕設定 (再生設定)	83
字幕設定 (放送設定)	138
録画モードによる記録の違い	69
■ 写真	
書き出す	110
再生する	107
取り込む	106
■ 受信アンテナ設定	141
■ 仕様	169
■ 消去する	
写真	108
スマホ転送番組	118
番組	86
録画一覧の全番組消去 (HDD)	134
録画一覧の全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD)	128
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	95
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする	97
■ 信号切換	
再生時	83
放送受信時	42
■ 信号設定	48
■ 診断コード	161

さくいん (続き)

- 新番組／特番おしらせ 55
- スカパー！プレミアムサービス
 - 接続する 20
 - 設定する 146
 - 録画予約する 67
- スキップ 80
- すべての設定リセット 139
- スマホ転送番組
 - 記録時間の目安 174
 - 作成する 116
 - 転送する 118
- スロー再生 80
- 設定 131
- 節電待機 36
- 選局対象 139
- 操作状態の表示 (情報表示)
 - 再生時 82
 - 受信時 41

た 行

ページ

- 代替録画 64
- ダウンミックス 135
- ダウンロード
 - ソフトウェア更新 149
- 他機器での再生について 29
- 宅外リモート 147
- ダビング
 - お引越しダビング 100
 - かんたんダビング 93
 - 再生中番組の保存 98
 - 詳細ダビング 95
 - セットトップボックスから 101
 - ディーガから 100
 - ビエラから 101
 - ビデオカメラから 102
- チャプター 90
 - 自動チャプター 133
- チャプターマーク 90
- チャンネル設定 142
- 重複について 65
- 通信による G ガイド受信 138
- 続き再生メモリー機能 80
- ディスク
 - 記録できるディスク 29
 - 再生のみできるディスク 31
 - ディスクの再生方法 (再生設定) 83
 - 名前を付ける 128
 - フォーマット 127
 - プロテクト 128

- デイモアラ 28
- データ放送 40
- 同時録画再生 73
- 同時録画について 70
- どこでもディーガ 4、147

な 行

ページ

- 名前を付ける
 - ディスク 128
 - 番組 86
 - 予約録画 56
- 日時設定 131
- ニューストピックス 63
- ニュース録画設定 63
- ネットワーク
 - 接続する 20
 - 設定する 136
 - ネットワーク設定 26

は 行

ページ

- ハイビジョン画質 69
- ハイビジョン動画 (AVCHD)
 - 再生する 107
 - 取り込む 102
- ハイレゾ音源 (音楽ファイル)
 - 再生 113
 - 保存 (取り込み) 115
- ハイレゾリマスター 85
- はっきり効果 85
- 早送り / 早戻し (サーチ) 80
- 早見再生 (1.3倍速 / 1.6倍速 / 2.0倍速) 80
- 番組
 - 再生する 73
 - 消去する 86
 - 名前を付ける 86
 - プロテクト 86
 - 編集する 86
- 番組キープ 120
- 番組結合 87
- 番組追従機能 64
- 番組転送 116
- 番組内容 41、81
- 番組ニュース 54

さくいん (続き)

- 番組表
 - 枝番号表示を非表示にする (選局対象) 139
 - 画面の見方 44
 - 検索 (フリーワード、ジャンル) 51
 - 設定を確認する 138
 - 表示チャンネル数を変更する 45
 - 予約録画する 46
- 番組分割 88
- ビエラリンク (HDMI) 119
- ファイナライズ
 - ファイナライズ解除 129
 - 他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ) 129
- フォーマット (初期化) 127
- 副映像 79
- 部分消去 87
- 部分リセット 140
- プレイリスト 73
- プレビューサーチ 81
- プロキシサーバー設定 136
- プロテクト (書き込み禁止)
 - ディスク 128
 - 番組 86
- 編集する
 - 番組 86
- 放送設定 138
- 放送メール 139
- ホーム画面 37
- ポップアップメニュー 79

ま 行

ページ

- 毎日・毎週予約 47
 - 設定する 48
 - 毎日・毎週予約で録画した番組の再生
(まとめ番組の再生) 76
- マイラベル
 - 設定する (予約時) 49
 - 設定する (録画一覧で) 88
- まとめ番組 76
- ムーブバック (詳細ダビング) 92、95
- 無線 LAN
 - 接続する 20
 - 設定する 26
- メール・情報 139
- 文字入力 130

や 行

ページ

- 野球延長対応 (番組追従) 64
- ゆっくり再生 80
- 予約確認 57
- 予約録画
 - 重複について 65
 - 番組表を使って 46
 - 予約内容の確認・取り消し・修正 57
 - 録画日時を指定して (時間指定予約) 56

ら 行

ページ

- リージョンコード / リージョン番号 31
- リピート再生 83
- リモコン
 - 各部の働き 11
 - 他機器が同時に動作するのを防ぐ
(リモコンモード) 143
 - 本機のリモコンでテレビを操作する
(リモコンのテレビ操作設定) 144
- 録画中に再生する
(追っかけ再生 / 同時録画再生) 73
- 録画中の同時操作 153
- 録画モード 69
 - 変換する 89
 - 録画モードを選ぶ (かんたんダビング時) 94
 - 録画モードを選ぶ (詳細ダビング時) 95
 - 録画モードを選ぶ (予約時) 47
 - 録画モードを選ぶ (録画時) 43
- 録画モードと記録時間の目安 172

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!？」(→161)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



? DIGA (ディーガ)・オーディオ
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル パナは キュウハチニ
0120-878-982 受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)

🔧 修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル パナは イイヨ
0120-878-554

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。

(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

本機の使用で、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容 (データ) の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

DVQP3375ZA/J1

F0125KY0